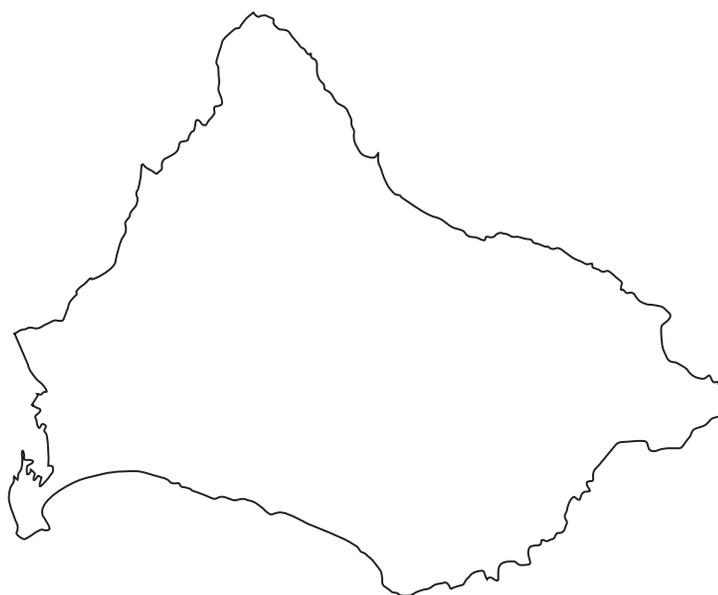


**公共交通の利用ならびに  
通勤，通学に関するアンケート  
調査報告書**



**平成 25 年 5 月**  

---

**函館市企画部**



# 目 次

アンケート調査実施の背景・目的	1
アンケート調査の種別	1
<b>I 公共交通の利用に関するアンケート</b>	
公共交通の利用に関するアンケートの概要	
1 目的	2
2 調査項目	2
3 調査方法	2
4 回収結果	2
5 回収状況	2
地区区分図	3
公共交通の利用に関するアンケートの集計結果	
1 属性	4
2 外出状況	9
3 路線バスや市電の利用状況	12
4 交通施策に対する意識	24
5 公共交通に関する意見（自由記載）	29
アンケート調査票	32
<b>II 通勤に関するアンケート</b>	
通勤に関するアンケートの概要	
1 目的	36
2 調査項目	36
3 調査方法	36
4 回収結果	36
5 回収状況	36
調査対象地区	37
通勤に関するアンケートの集計結果	
1 属性	38
2 路線バス・市電での通勤状況	47
3 路線バス・市電以外での通勤状況	52
4 交通施策に対する意識	58
5 公共交通に関する意見（自由記載）	63
アンケート調査票	65



### Ⅲ 通学に関するアンケート

#### 通学に関するアンケートの概要

1 目的	69
2 調査項目	69
3 調査方法	69
4 回収結果	69
5 回収状況	69

調査対象高校	70
--------	----

#### 通勤に関するアンケートの集計結果

1 属性	71
2 通学状況	73
3 路線バスや市電の利用状況	83
4 交通施策に対する意識	89
5 公共交通に関する意見（自由記載）	94

アンケート調査票	96
----------	----



## アンケート調査実施の背景・目的

電車・バス・タクシー・鉄道といった公共交通は、人口減少や市街地の拡散、モータリゼーションの進展などにより利用者の減少が続き、交通事業者の経営を圧迫している状況にあるが、公共交通は、通勤や通学、通院、買い物など、市民が日常生活を営むうえで、欠かすことのできない交通手段である。

また、今後さらに高齢化が進展することが予想されるなか、交通弱者の足の確保といった視点はもとより大量輸送機関としての効率性や環境面への配慮といった観点からも、電車・バスの重要性は、ますます高まっていくものと考えられる。

このようなことから、市民はもとより、観光客にとっても魅力があり、利用しやすい、効率的で持続可能な公共交通のあり方を検討していくため、市民等を対象に公共交通の利用に関するアンケート調査を行ったものである。

## アンケート調査の種別

今回の調査では、無作為抽出した市民へのアンケートのほか、移動目的が特定され、かつ、毎日移動する必要性があり、その動向が今後の公共交通のあり方を検討するうえで大きな影響がある通勤と通学に関するアンケートを併せて行った。

- I 公共交通の利用に関するアンケート
- II 通勤に関するアンケート
- III 通学に関するアンケート



# I 公共交通の利用に関するアンケート



# 公共交通の利用に関するアンケートの概要

## 1 目的

本調査は、市民の日頃の外出状況や路線バスや市電の利用状況のほか、路線バスや市電の改善点や今後の運行等に対する意識やニーズを把握し、本市の今後の公共交通のあり方を検討することを目的として実施した。

## 2 調査項目

- (1) 属性
- (2) 外出状況
- (3) 路線バスや市電の利用状況
- (4) 交通施策に対する意識
- (5) 公共交通に関する意見（自由記載）

## 3 調査方法

- (1) 調査地域 函館市全域
- (2) 調査対象 平成 24 年 12 月末現在の住民基本台帳に登録されている満 15 歳以上の市民
- (3) 標本数 247,805 人
- (4) 抽出方法 無作為抽出（1.0%）
- (5) 調査方法 郵送による配付・回収
- (6) 調査期間 平成 25 年 1 月 15 日～平成 25 年 2 月 15 日

## 4 回収結果

調査対象者数 2,225 人に対して、回収数は 942 人で、回収率は 42.3%であった。

## 5 回収状況

区分	対象者数	配布数	回収数	回収率(%)
15～19 歳	12,329	122	46	37.7
20～29 歳	24,511	245	48	19.6
30～39 歳	32,892	327	102	31.2
40～49 歳	35,633	353	137	38.8
50～59 歳	36,890	367	166	45.2
60～69 歳	46,862	464	243	52.4
70 歳以上	58,688	347	198	57.1
不明	-	-	2	-
	247,805	2,225	942	42.3



# 地区区分図



地区区分	町名
(1) 西部地区	入舟町, 船見町, 弥生町, 弁天町, 大町, 末広町, 元町, 青柳町, 谷地頭町, 住吉町, 宝来町, 東川町, 豊川町, 大手町, 栄町, 旭町, 東雲町, 大森町, 松風町, 若松町
(2) 中央部地区	千歳町, 新川町, 上新川町, 海岸町, 大縄町, 松川町, 万代町, 亀田町, 大川町, 田家町, 白鳥町, 八幡町, 宮前町, 中島町, 千代台町, 堀川町, 高盛町, 宇賀浦町, 日乃出町, 的場町, 時任町, 杉並町, 本町, 梁川町, 五稜郭町, 柳町, 松陰町, 人見町, 金堀町, 乃木町, 柏木町
(3) 東中央部地区	川原町, 深堀町, 駒場町, 広野町, 湯浜町, 湯川町 1丁目, 湯川町 2丁目, 湯川町 3丁目, 戸倉町, 榎本町, 花園町, 日吉町 1丁目, 日吉町 2丁目, 日吉町 3丁目, 日吉町 4丁目, 上野町, 高丘町, 滝沢町, 見晴町, 鈴蘭丘町, 上湯川町, 銅山町, 旭岡町, 西旭岡町 1丁目, 西旭岡町 2丁目, 西旭岡町 3丁目, 鱒川町, 寅沢町, 三森町, 紅葉山町, 庵原町, 亀尾町, 米原町, 東畑町, 鉄山町, 蛾眉野町, 根崎町, 高松町, 志海苔町, 瀬戸川町, 赤坂町, 銭亀町, 中野町, 新湊町, 石倉町, 古川町, 豊原町, 石崎町, 鶴野町, 白石町
(4) 北東部地区	富岡町 1丁目, 富岡町 2丁目, 富岡町 3丁目, 中道 1丁目, 中道 2丁目, 山の手 1丁目, 山の手 2丁目, 山の手 3丁目, 本通 1丁目, 本通 2丁目, 本通 3丁目, 本通 4丁目, 鍛冶 1丁目, 鍛冶 2丁目, 陣川町, 陣川 1丁目, 陣川 2丁目, 神山町, 神山 1丁目, 神山 2丁目, 神山 3丁目, 東山町, 東山 1丁目, 東山 2丁目, 東山 3丁目, 美原 1丁目, 美原 2丁目, 美原 3丁目, 美原 4丁目, 美原 5丁目, 赤川町, 赤川 1丁目, 亀田中野町, 北美原 1丁目, 北美原 2丁目, 北美原 3丁目, 水元町, 亀田大森町, 石川町, 昭和 1丁目, 昭和 2丁目, 昭和 3丁目, 昭和 4丁目, 亀田本町
(5) 北部地区	浅野町, 吉川町, 北浜町, 港町 1丁目, 港町 2丁目, 港町 3丁目, 追分町, 桔梗町, 桔梗 1丁目, 桔梗 2丁目, 桔梗 3丁目, 桔梗 4丁目, 桔梗 5丁目, 西桔梗町, 昭和町, 亀田港町
(6) 東部地区	
戸井地区	小安町, 小安山町, 釜谷町, 汐首町, 瀬田来町, 弁才町, 泊町, 館町, 浜町, 新二見町, 原木町, 丸山町
恵山地区	日浦町, 吉畑町, 豊浦町, 大潤町, 中浜町, 女那川町, 川上町, 日和山町, 高岱町, 日ノ浜町, 古武井町, 恵山町, 柏野町, 御崎町
樞法華地区	恵山岬町, 元村町, 富浦町, 島泊町, 新恵山町, 絵紙山町, 新八幡町, 新浜町, 銚子町
南茅部地区	古部町, 木直町, 尾札部町, 川汲町, 安浦町, 臼尻町, 豊崎町, 大船町, 双見町, 岩戸町

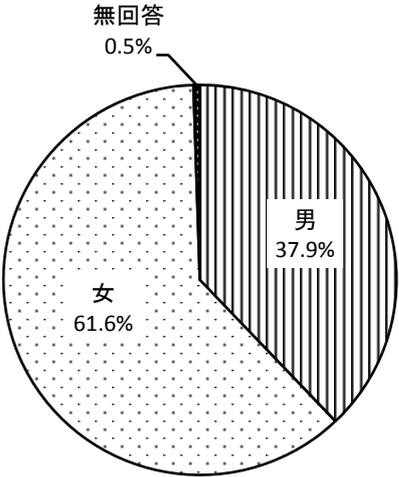


# 公共交通の利用に関するアンケートの集計結果

## 1 属性

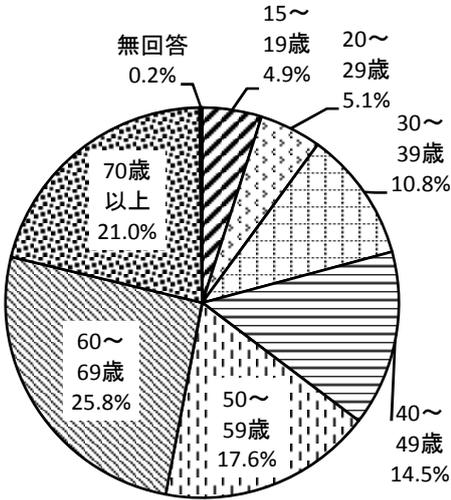
問1 あなた自身のことについて教えてください。

問1-1 性別 (n=942)



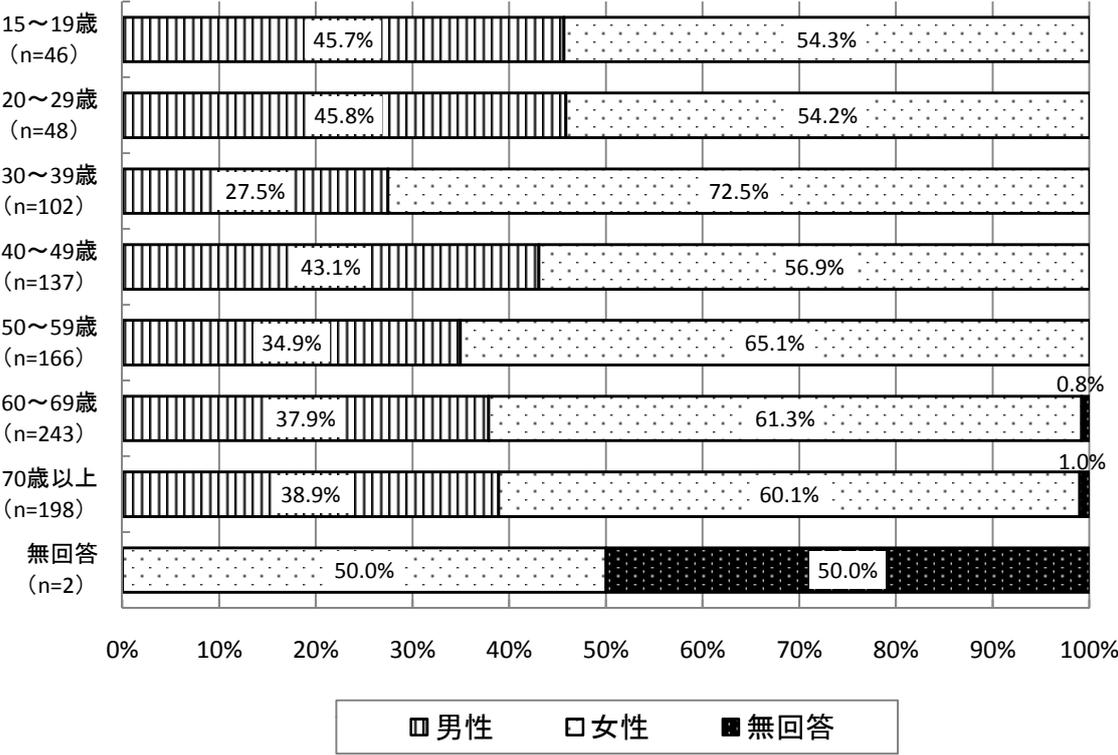
男性が37.9%，女性が61.6%となっている。

問1-2 年齢 (n=942)

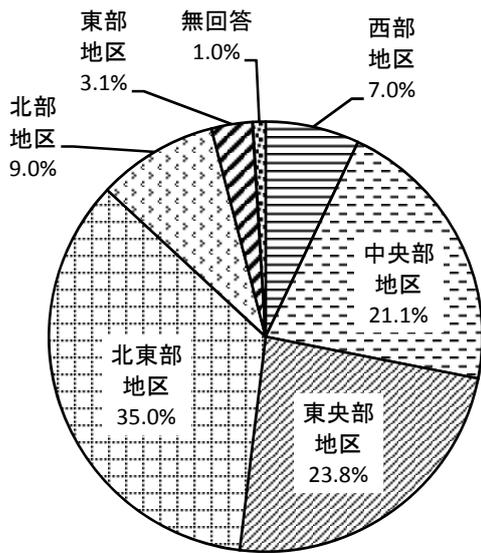


60歳代が25.8%と最も高く、60歳代と70歳代を合わせると約半数を占めている。

### <年代別>

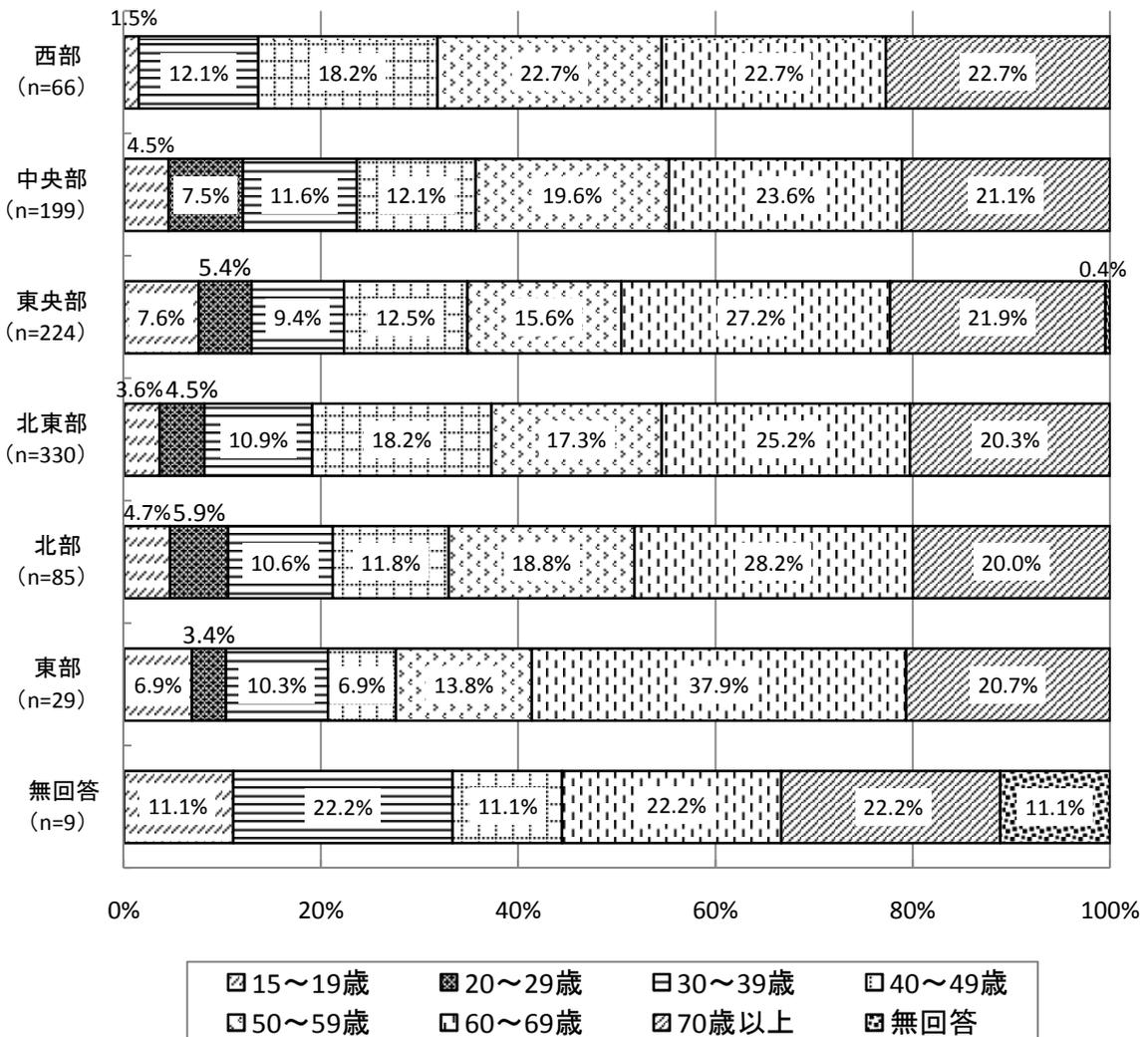


問1-3 居住地 (n=942)

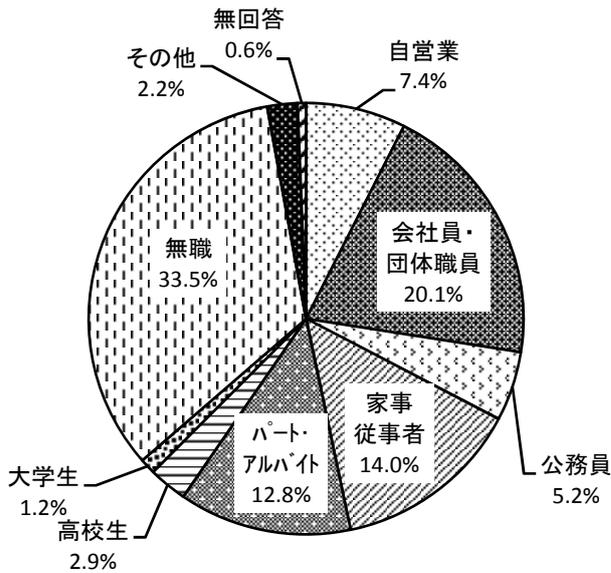


北東部地区が35.0%と最も高く、次いで東央部地区が23.8%となっており、本市の地域別の人口構成に近似した結果となっている。

<居住地別>



問1-4 職業 (n=942)



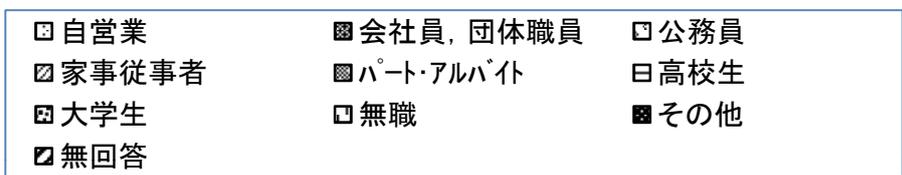
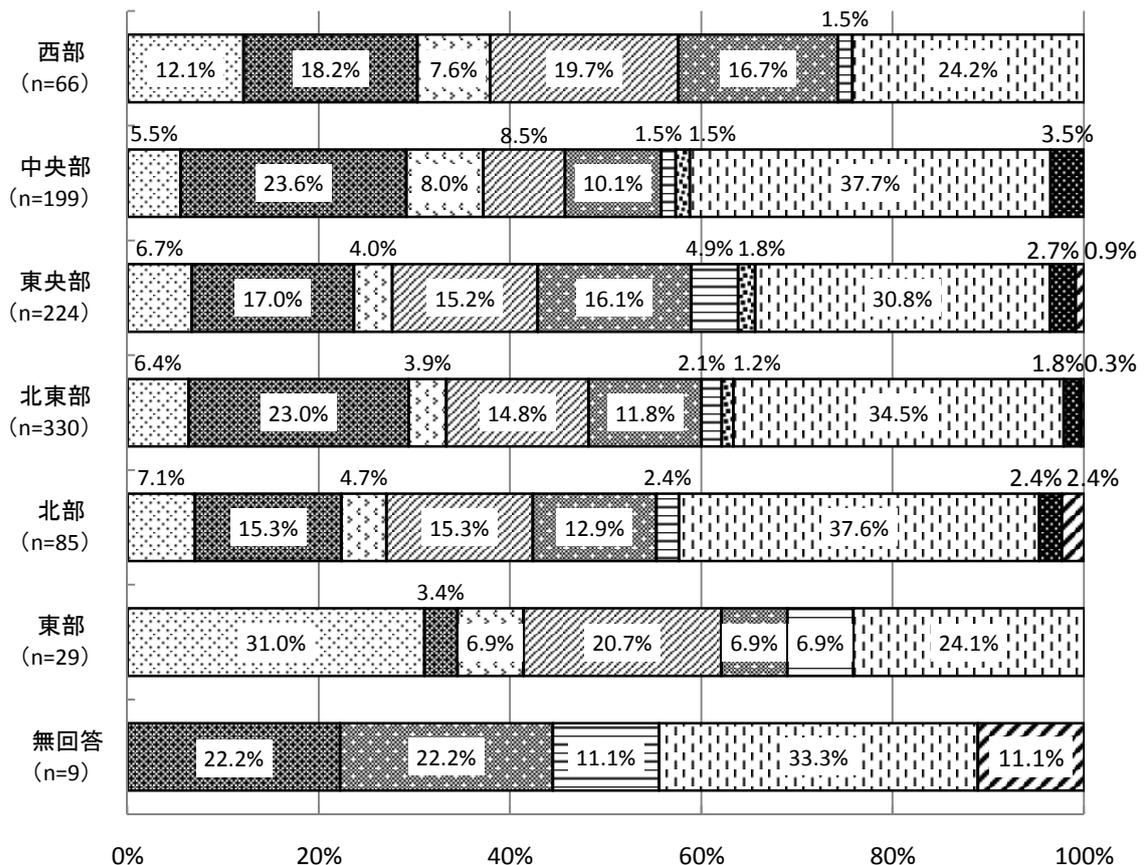
「無職」の割合が33.5%と最も高く、次いで「会社員・団体職員」が20.1%となっている。

有職者の合計は、45.5%と約半数を占め、学生は4.1%となっている。

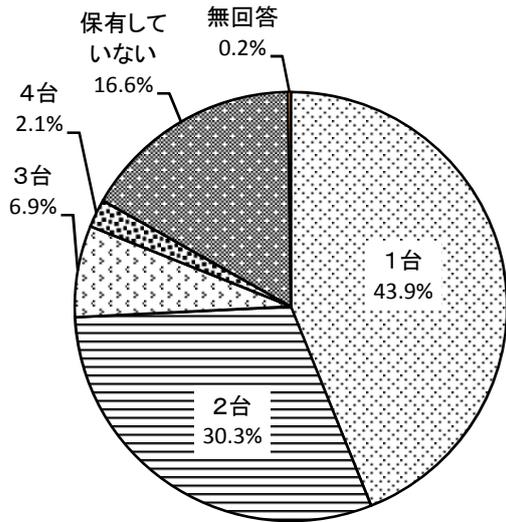
※その他の内容

中学生(8), 予備校生(1), 船員(1), 記載なし(11)

<居住地別>



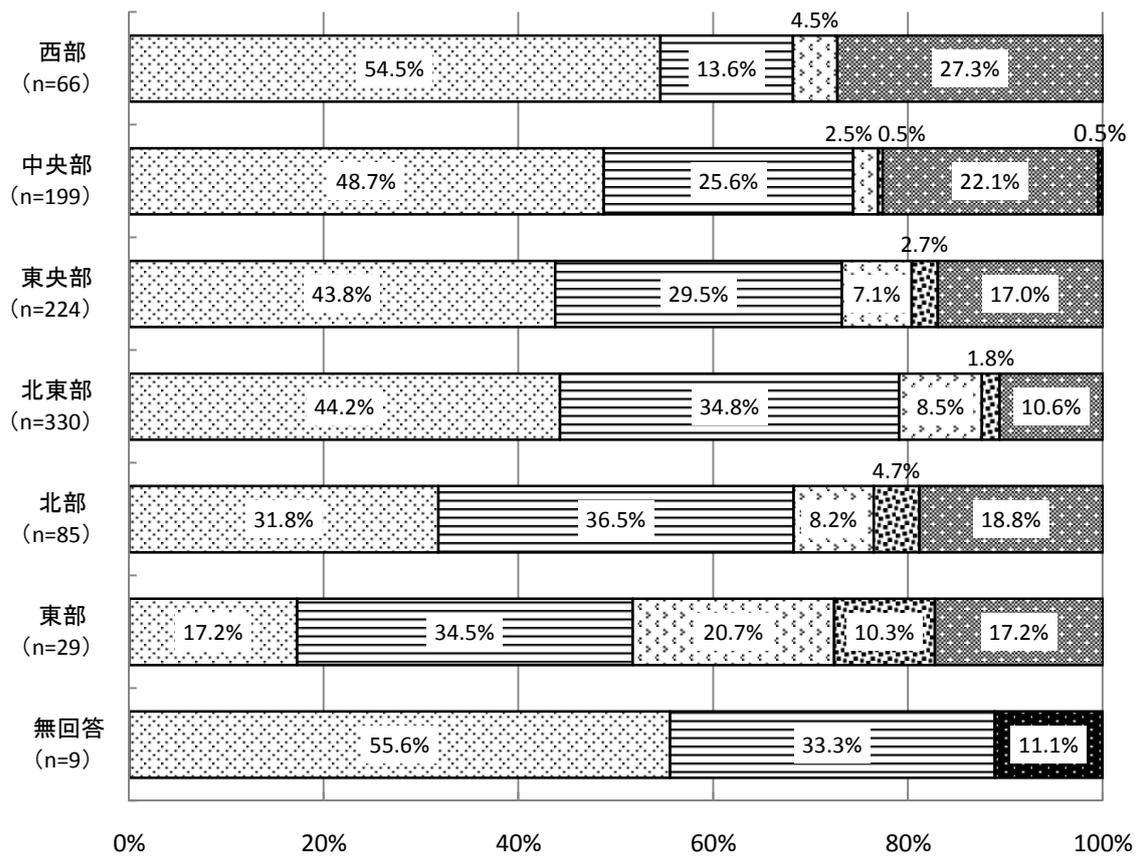
問1-5 自家用車の保有台数 (n=942)



自家用車の保有率は83.2%と非常に高く、複数台の保有も39.3%と高い結果となっている。

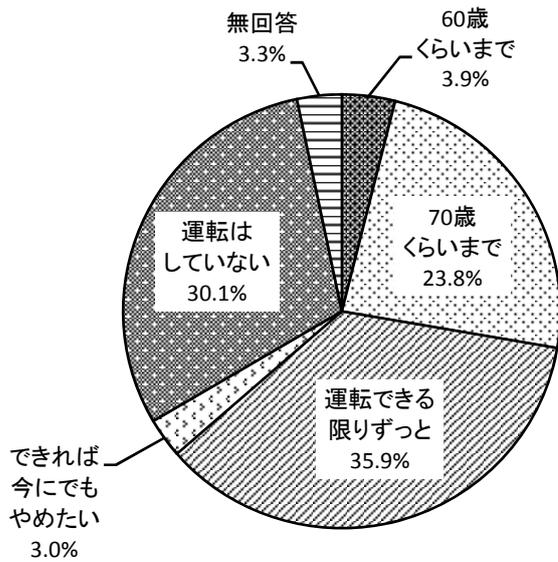
居住地別でみると、複数台の保有が東部地区で65.5%と他地区と比較して高くなっている。

<居住地別>



□ 1台   □ 2台   □ 3台   □ 4台   ■ 保有していない   ■ 無回答

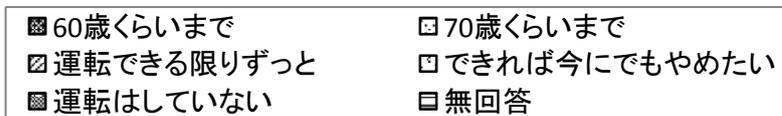
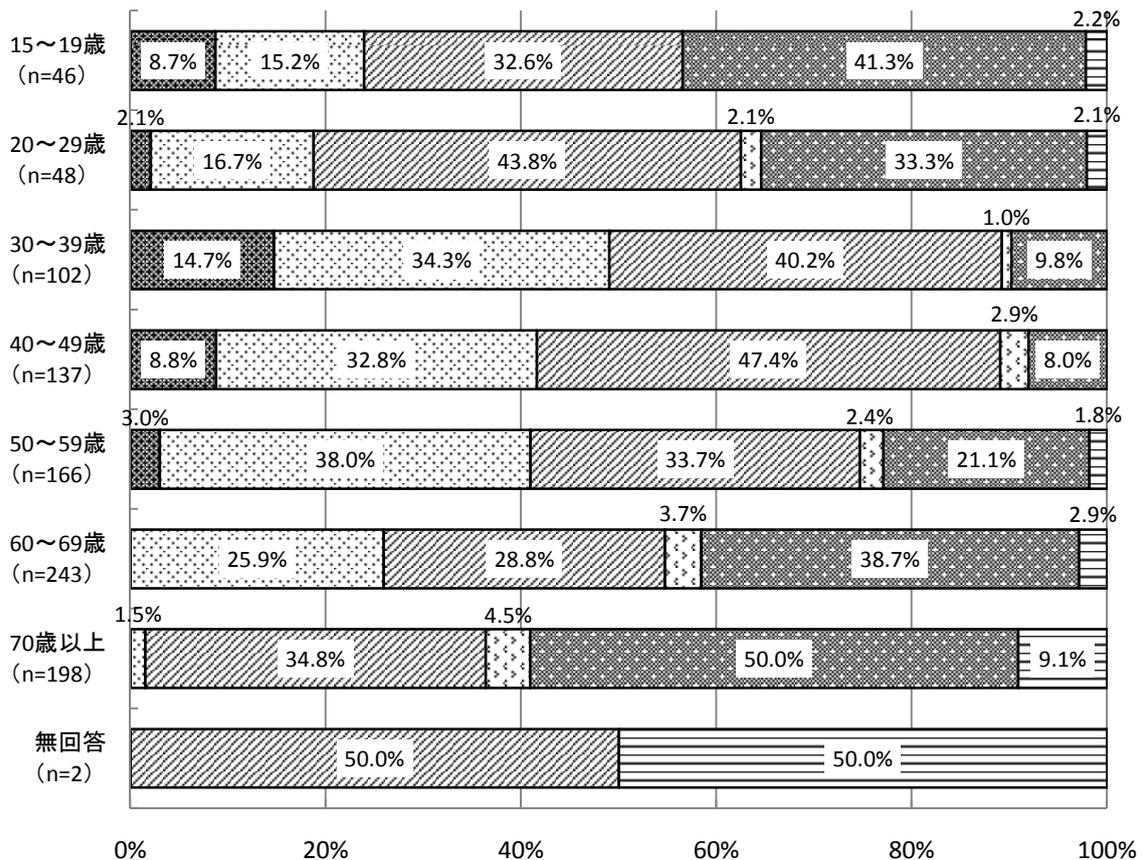
問1-6 いつまで運転を続けたいか (n=942)



「運転できる限りずっと」が35.9%と最も高いが、次いで「運転はしていない」が30.1%となっている。

年代別でみると、「運転できる限りずっと」は40歳代で47.4%と最も高く、年齢が進むにつれて、その率も減少していくが、70歳以上で、再度、その率が高くなっている。

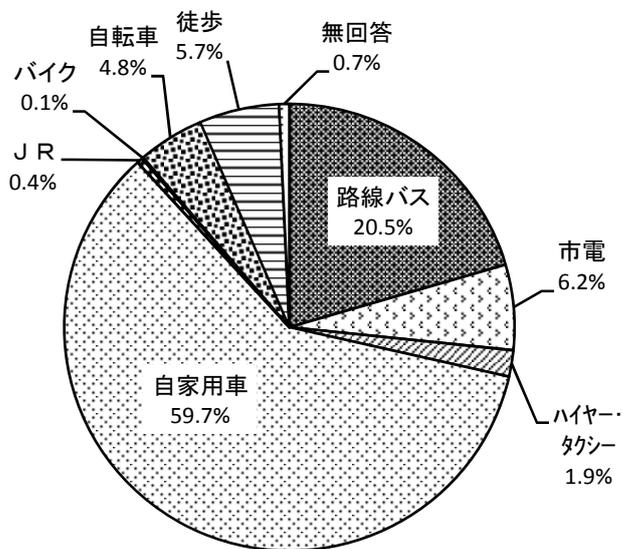
<年代別>



## 2 外出状況

問2 外出される際の状況についてお聞かせください。

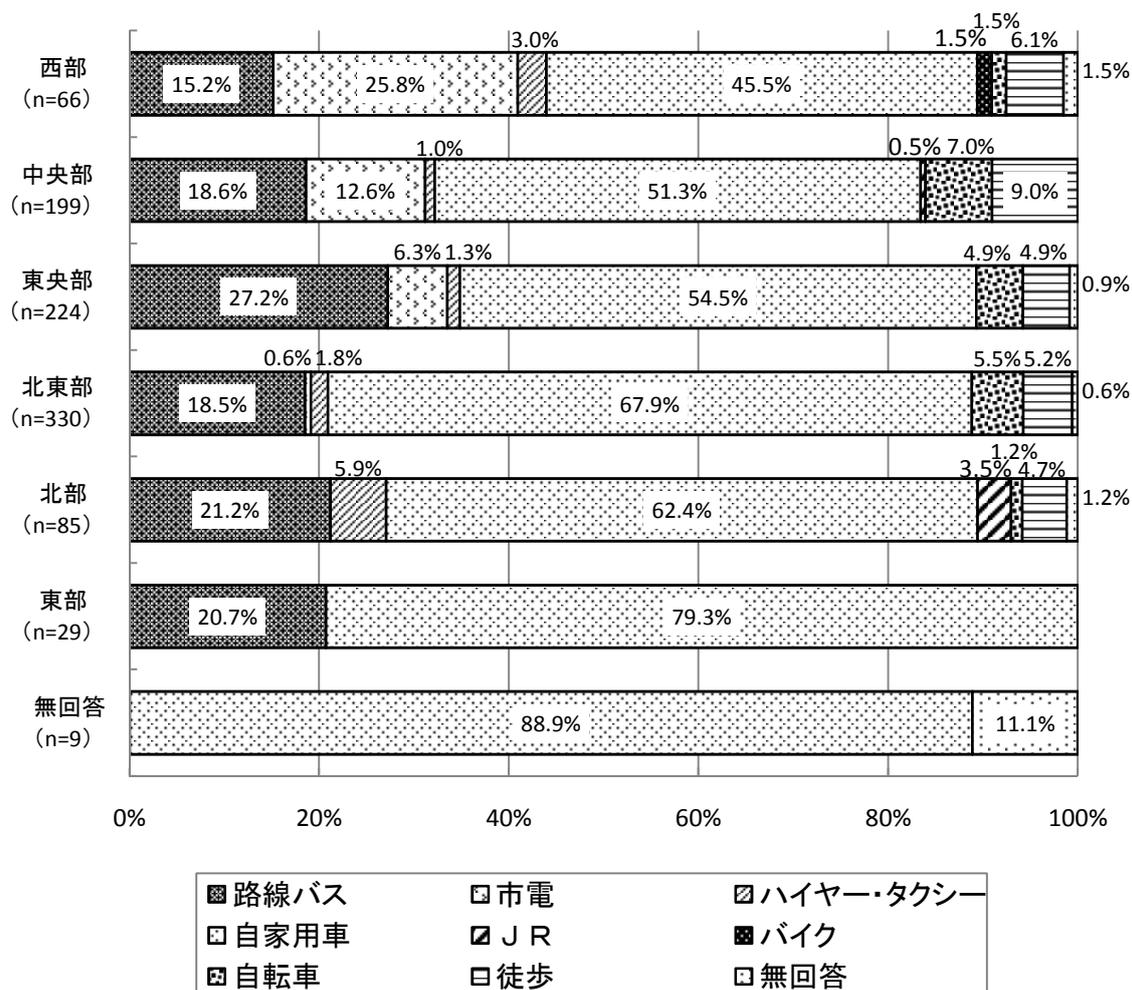
問2-1 あなたが普段もっともよく利用する移動手段は何ですか (n=942)



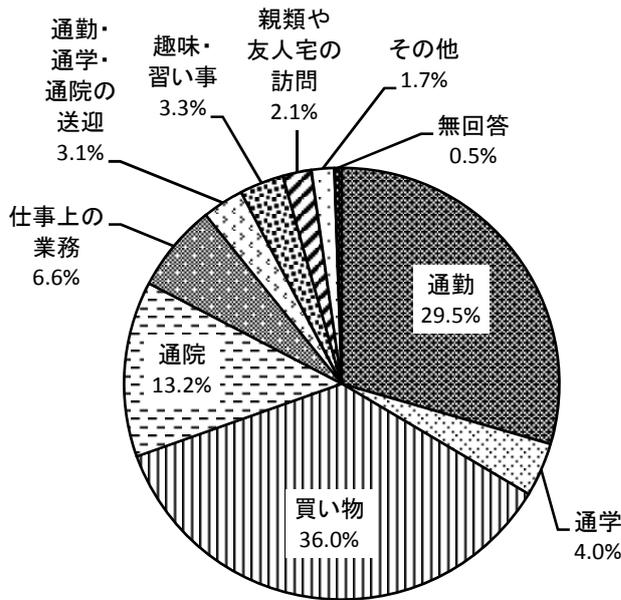
自家用車が59.7%と最も高く、路線バス、市電、ハイヤー・タクシー、JRを合わせた公共交通利用者は29.0%と自家用車の半以下となっている。

居住地別でみると、西部地区で公共交通利用者が44.0%と最も高くなっている。また、東部地区では自家用車が79.3%と最も高くなっている。

### <居住地別>



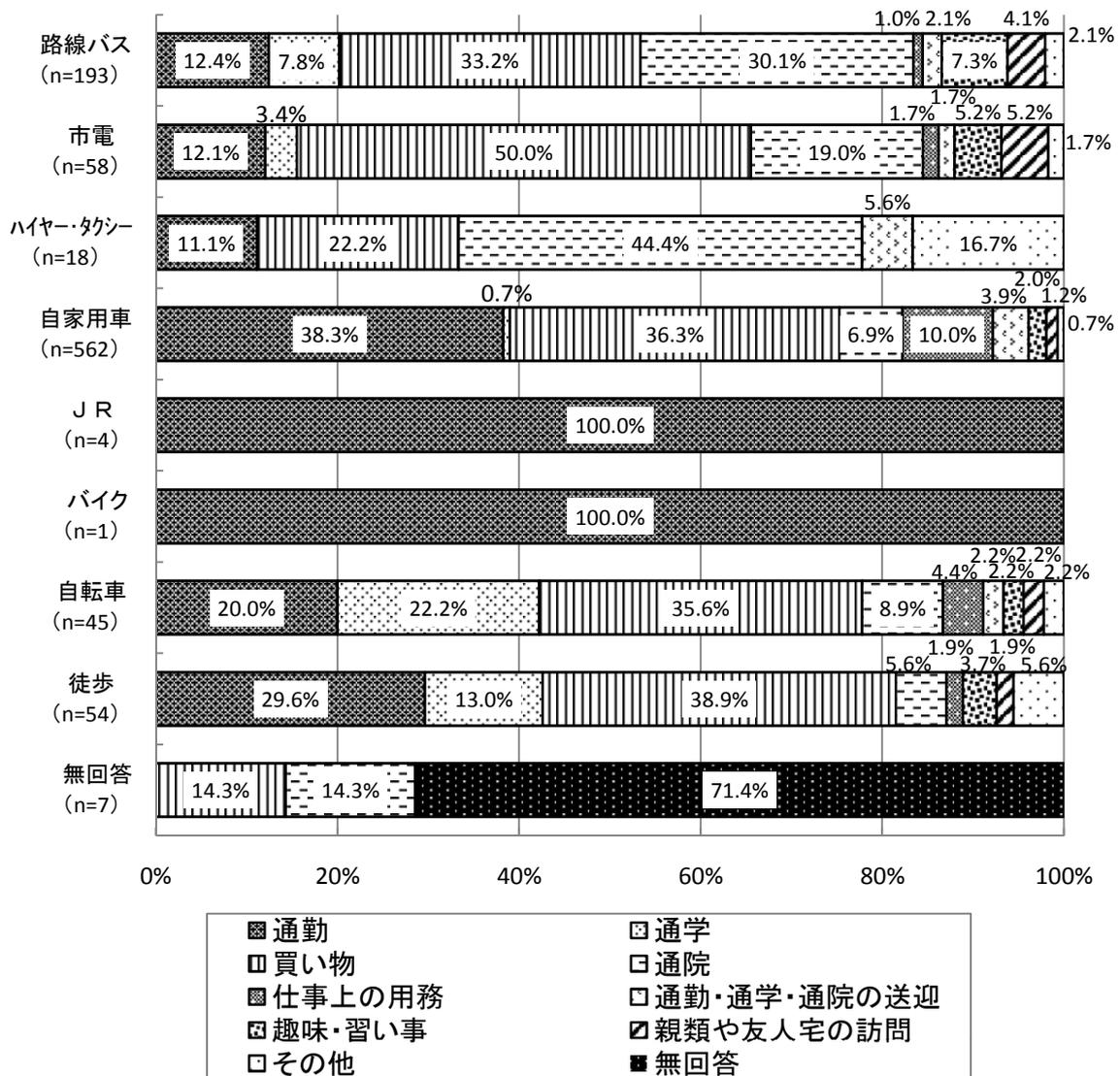
問2-2 前問で選んだ移動手段で外出する主な目的は何ですか。(n=942)



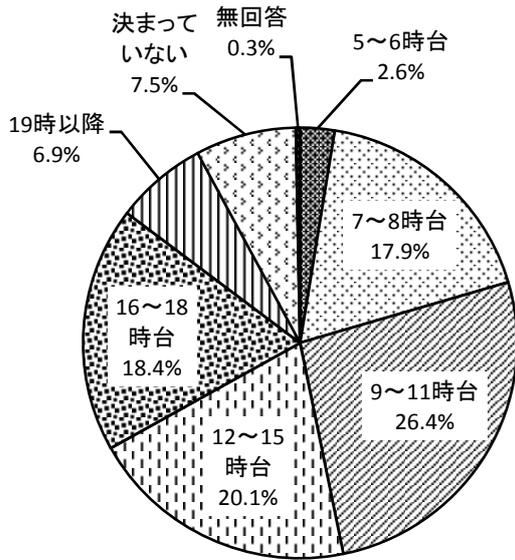
買い物が36.0%と最も高く、次いで通勤29.5%、通院13.2%となっている。

移動手段別でみると、路線バス・市電とも、買い物が最も高く、次いで、通院、通勤の順となっている。また、自家用車では、通勤が最も高くなっている。

<移動手段別>



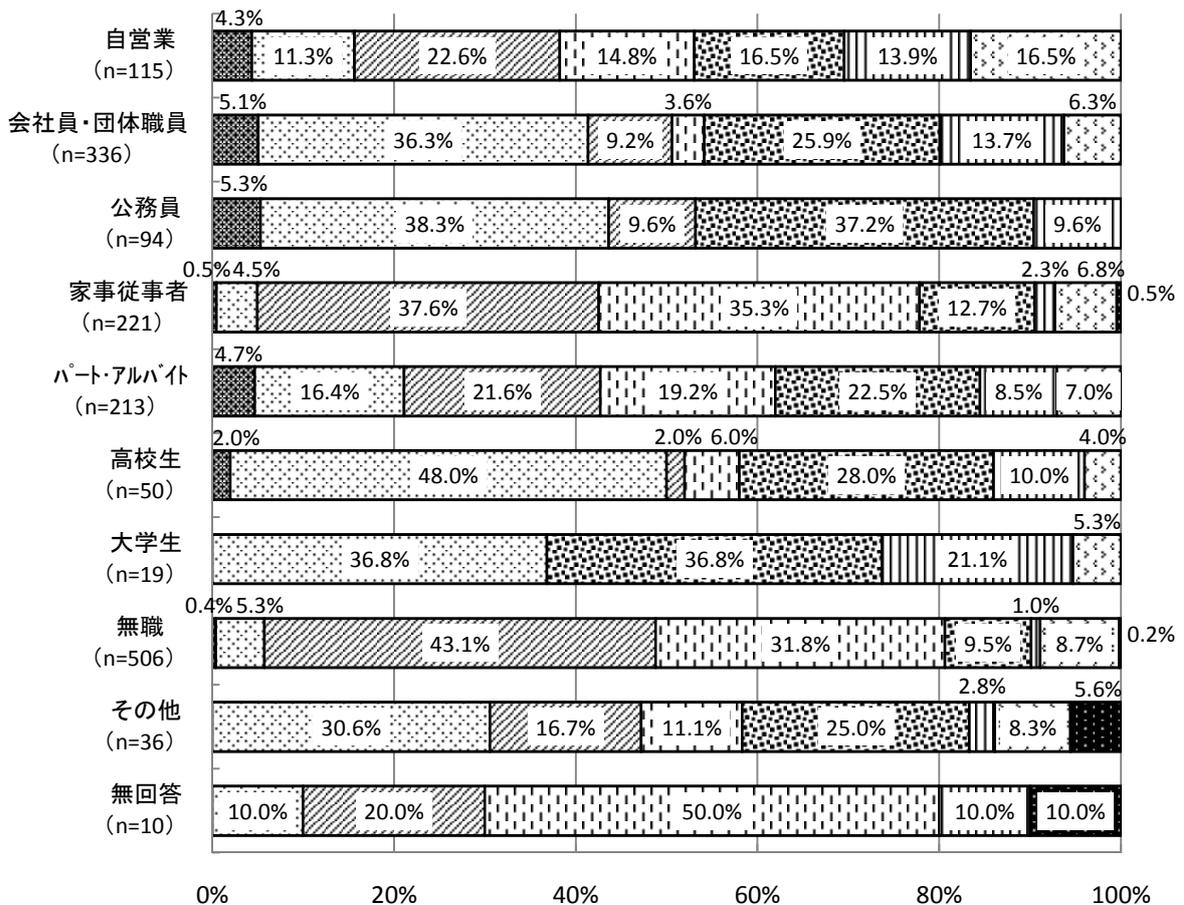
問2-3 あなたが普段外出する際の主な時間帯はいつですか。(2つ)(n=1,600)



7~8時台が1時間あたりに換算すると最も高く、次いで9~11時台となっている。

職業別でみると、会社員・団体職員、公務員では7~8時台が最も高くなっている。一方、無職では9~11時台が最も高くなっている。

<職業別>

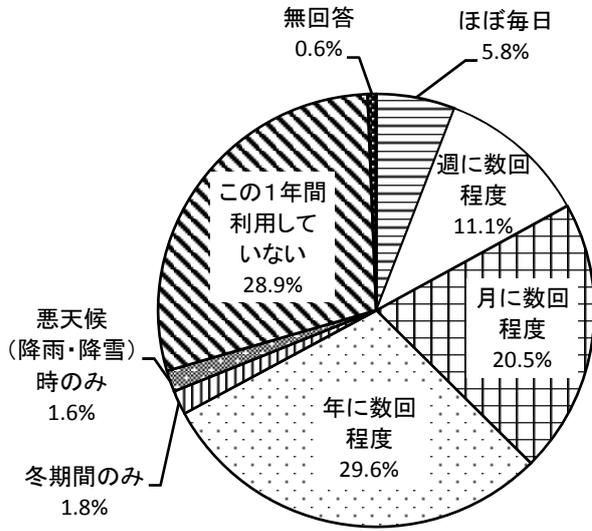


5~6時台   
  7~8時台   
  9~11時台   
  12~15時台  
 16~18時台   
  19時以降   
  決めていない   
  無回答

### 3 路線バスや市電の利用状況

問3 路線バスや市電の利用についてお聞かせください。

問3-1 あなたは路線バスや市電をどの程度利用していますか。 (n=942)

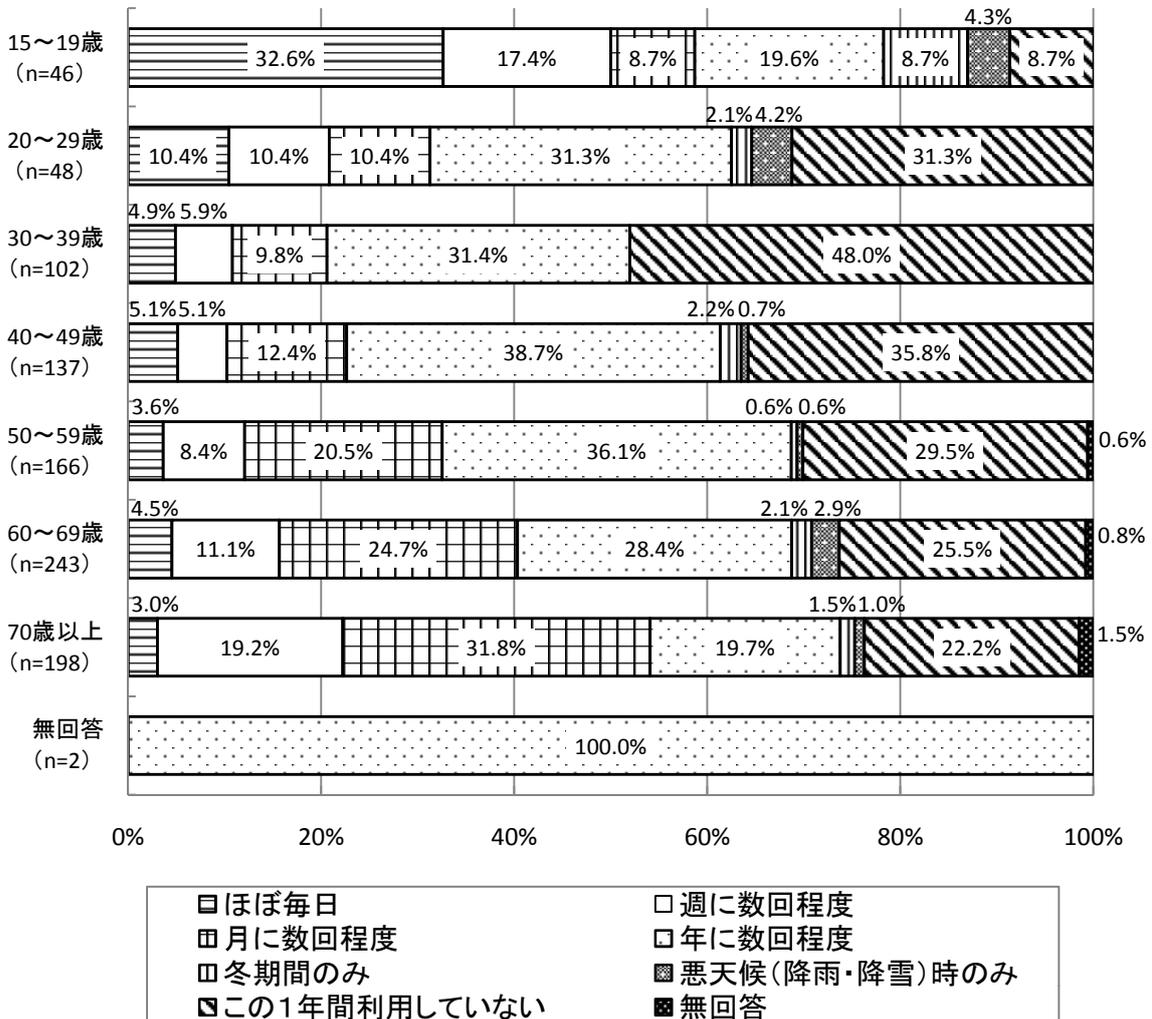


「ほぼ毎日」, 「週に数回程度」を合わせると16.9%となっている。一方で, 「この1年間利用していない」と「年に数回程度」を合わせると58.5%と高くなっている。

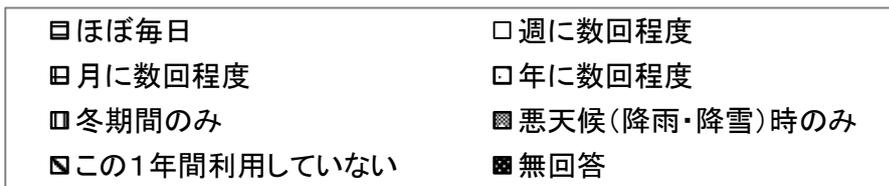
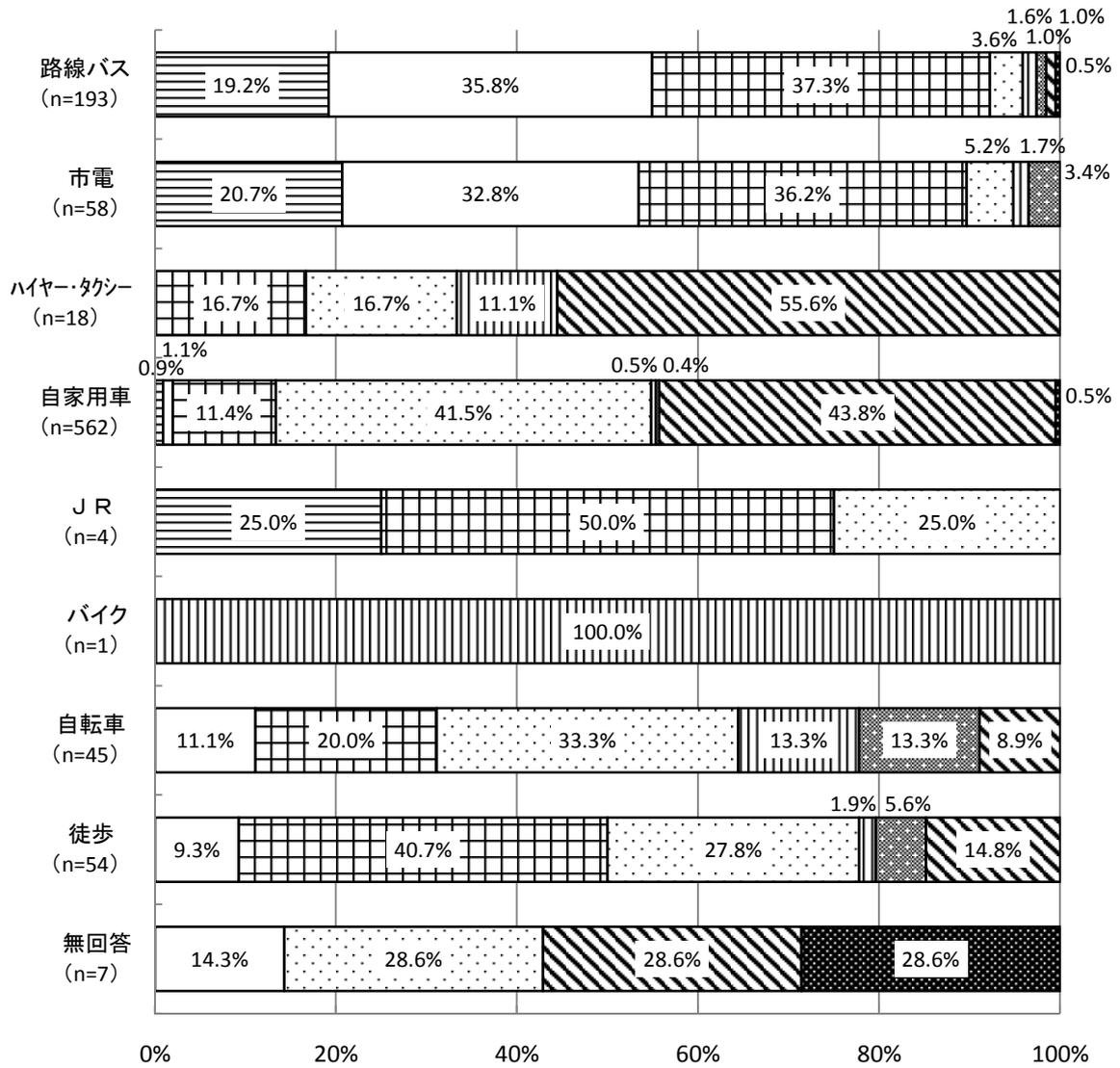
年代別でみると, 「ほぼ毎日」, 「週に数回程度」の合計が, 30~69歳で全体よりも低い割合となっている。

移動手段別でみると, 自家用車で「この1年間利用していない」と「年に数回程度」の合計が85.3%と高くなっている。

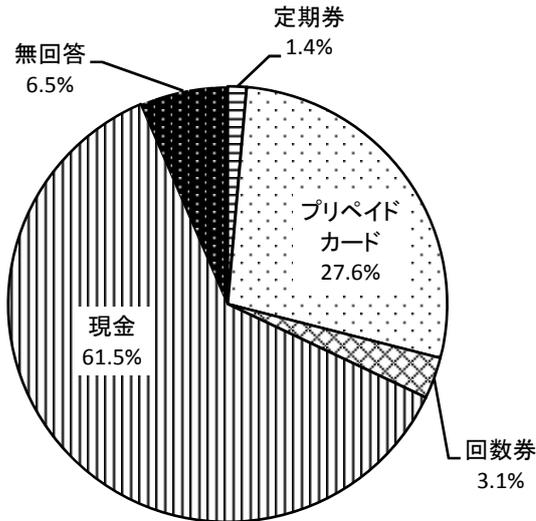
<年代別>



<移動手段別>



問3-2 路線バスや市電を利用する際の運賃の支払い方法は何ですか。(n=942)

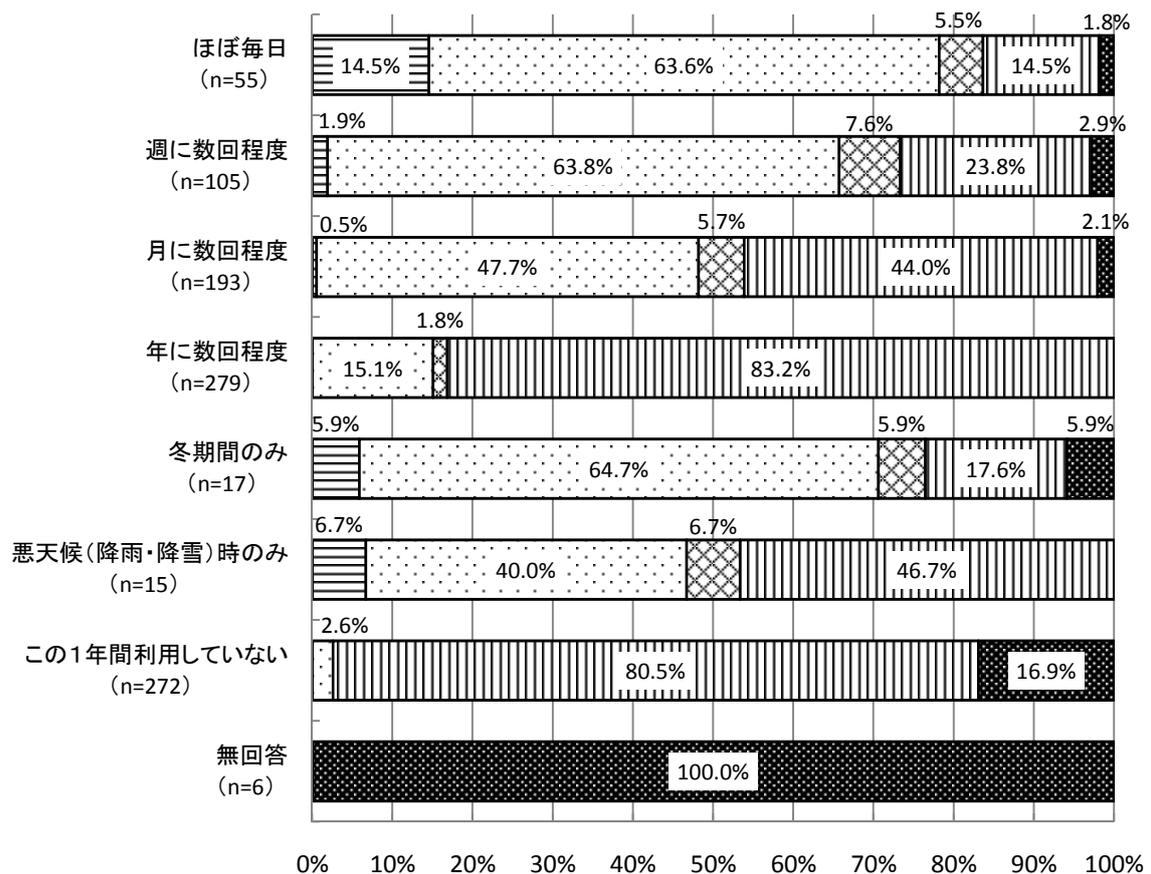


現金が61.5%と最も高く、次いでプリペイドカードが27.6%となっている。定期券は1.4%となっている。

利用状況別でみると、「ほぼ毎日」では、プリペイドカードが63.6%と高く、定期券は14.5%となっている。

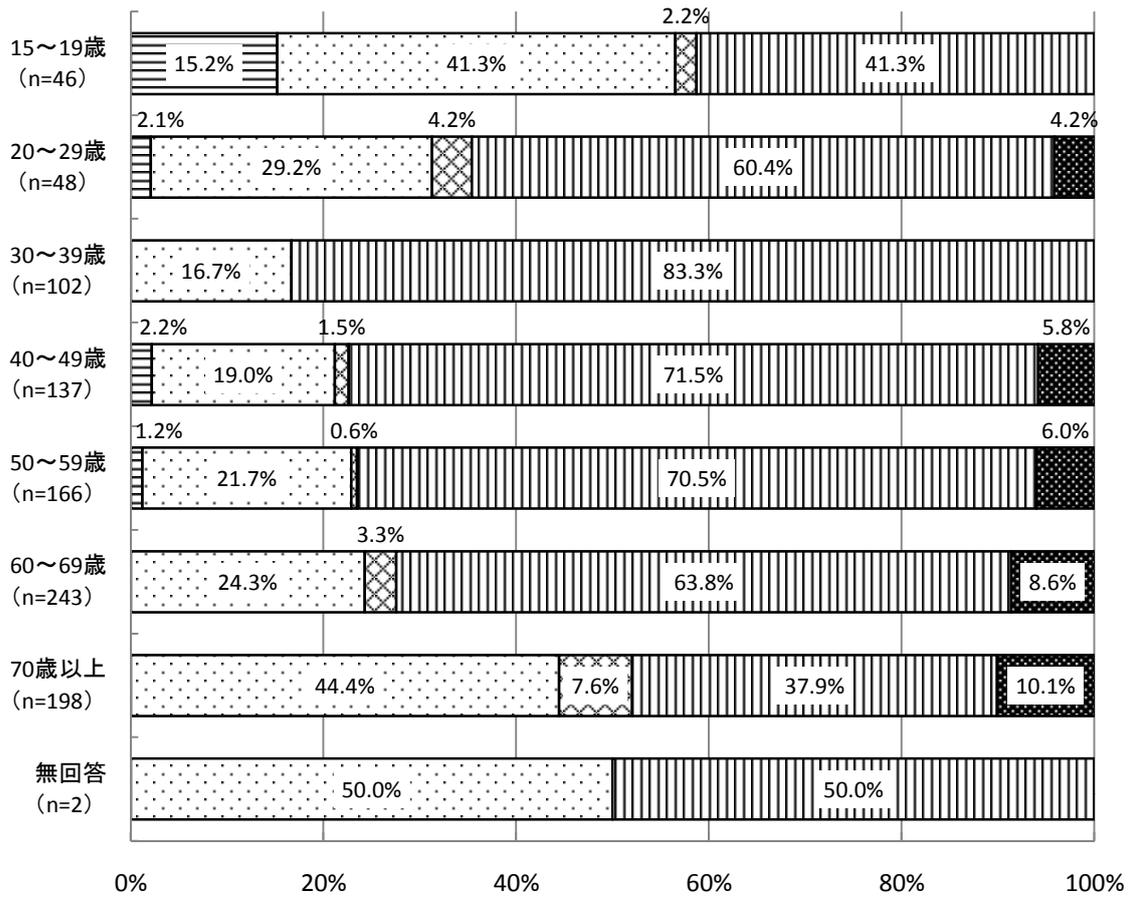
年代別でみると、20～69歳までは現金が最も高いが、70歳以上ではプリペイドカードが最も高くなっている。

<利用状況別>



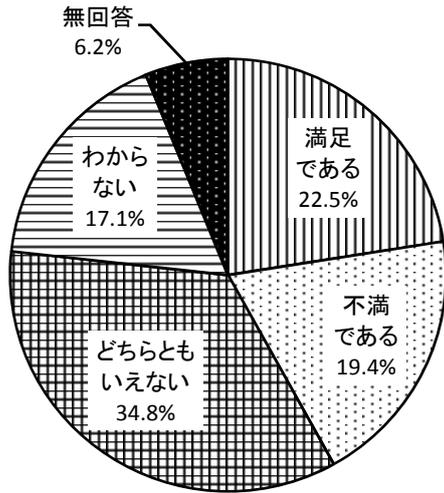
■定期券 □プリペイドカード ▣回数券 □現金 ■無回答

<年代別>



日定期券   ロプリペイドカード   回数券   現金   無回答

問3-3 あなたは路線バスや市電についてどのように感じていますか。(n=942)



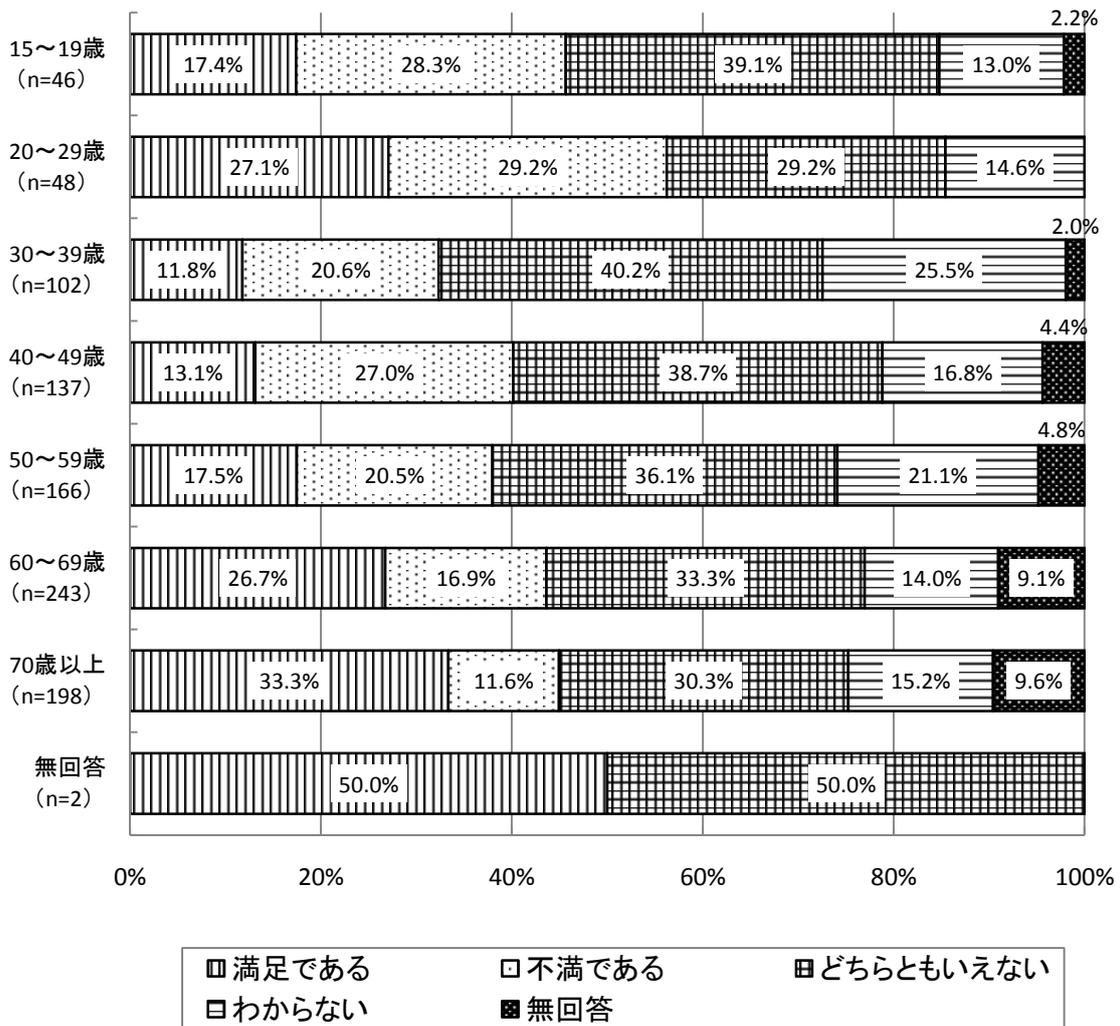
「満足である」が22.5%で、「不満である」が19.4%でほぼ均衡している。

年代別で見ると、59歳までは「不満である」が高くなっているが、60歳以上から逆転し、「満足である」が高くなっている。

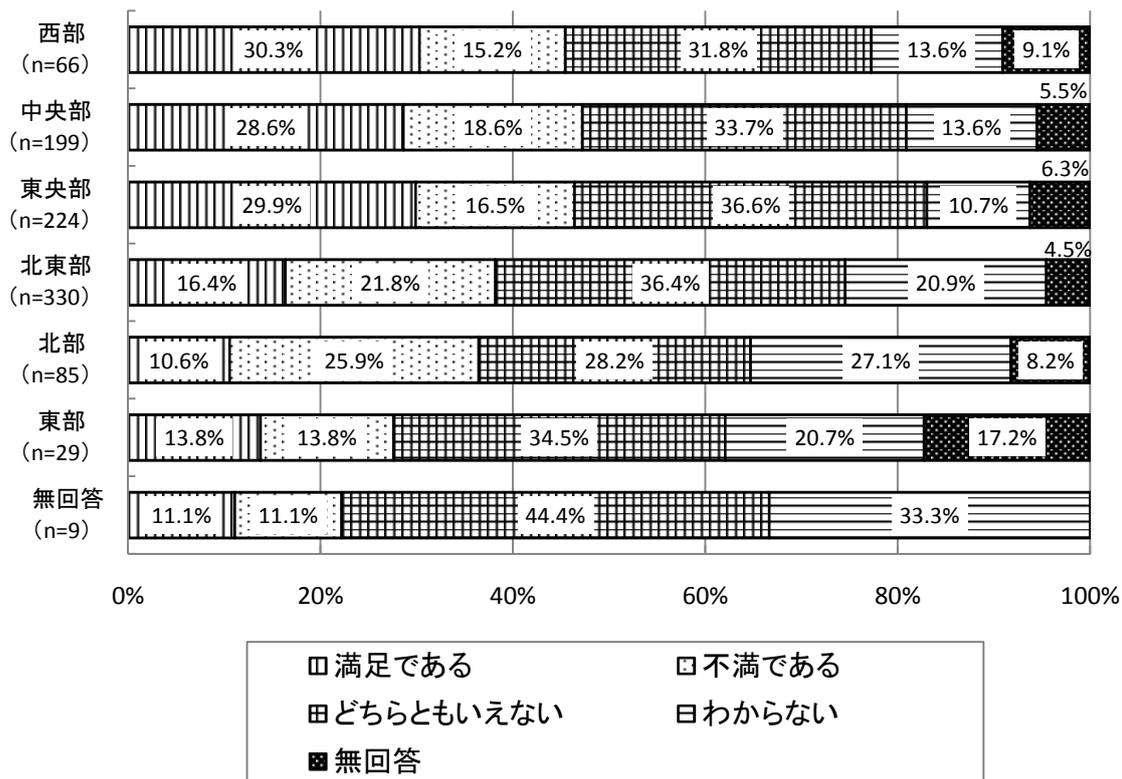
居住地別で見ると、西部地区、中央部地区、東中部地区では「満足である」が高くなっている。一方、北東部地区、北部地区では、「不満である」が高くなっている。

利用状況別で見ると、「ほぼ毎日」では「不満である」が高くなっている。

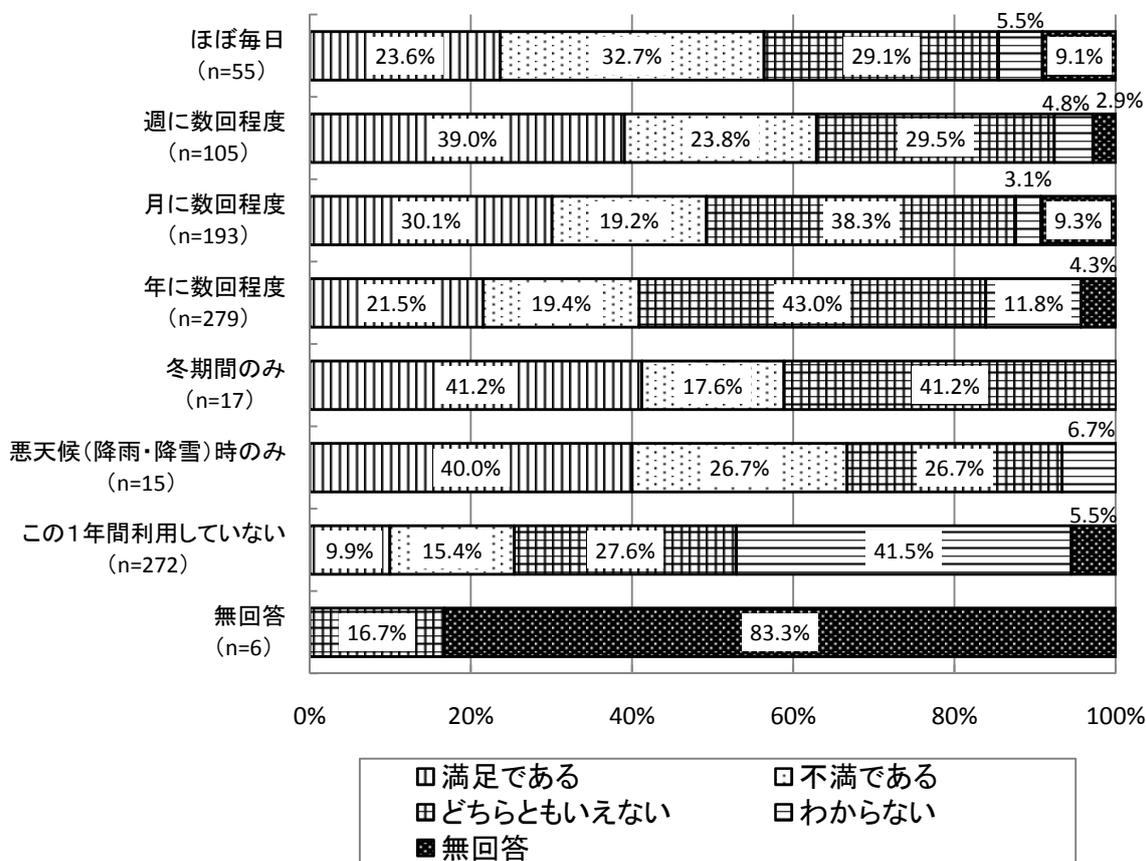
<年代別>



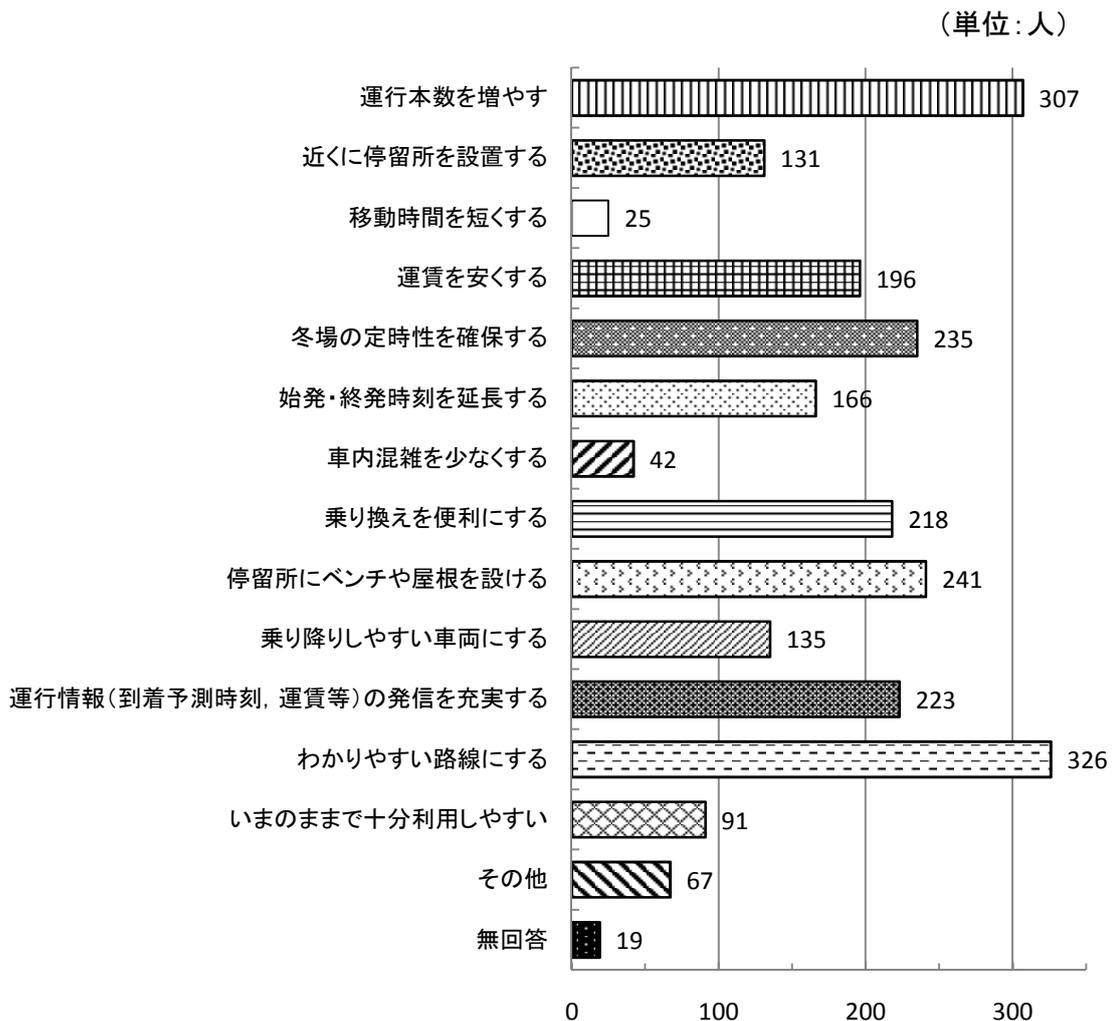
<居住地別>



<利用状況別>



問3-4 路線バスや市電をもっと利用しやすくするために改善が必要だと思うのは何ですか。(3つまで) (n=2,422)



「わかりやすい路線にする」が最も多く、次いで「運行本数を増やす」、「停留所にベンチや屋根を設ける」となっている。

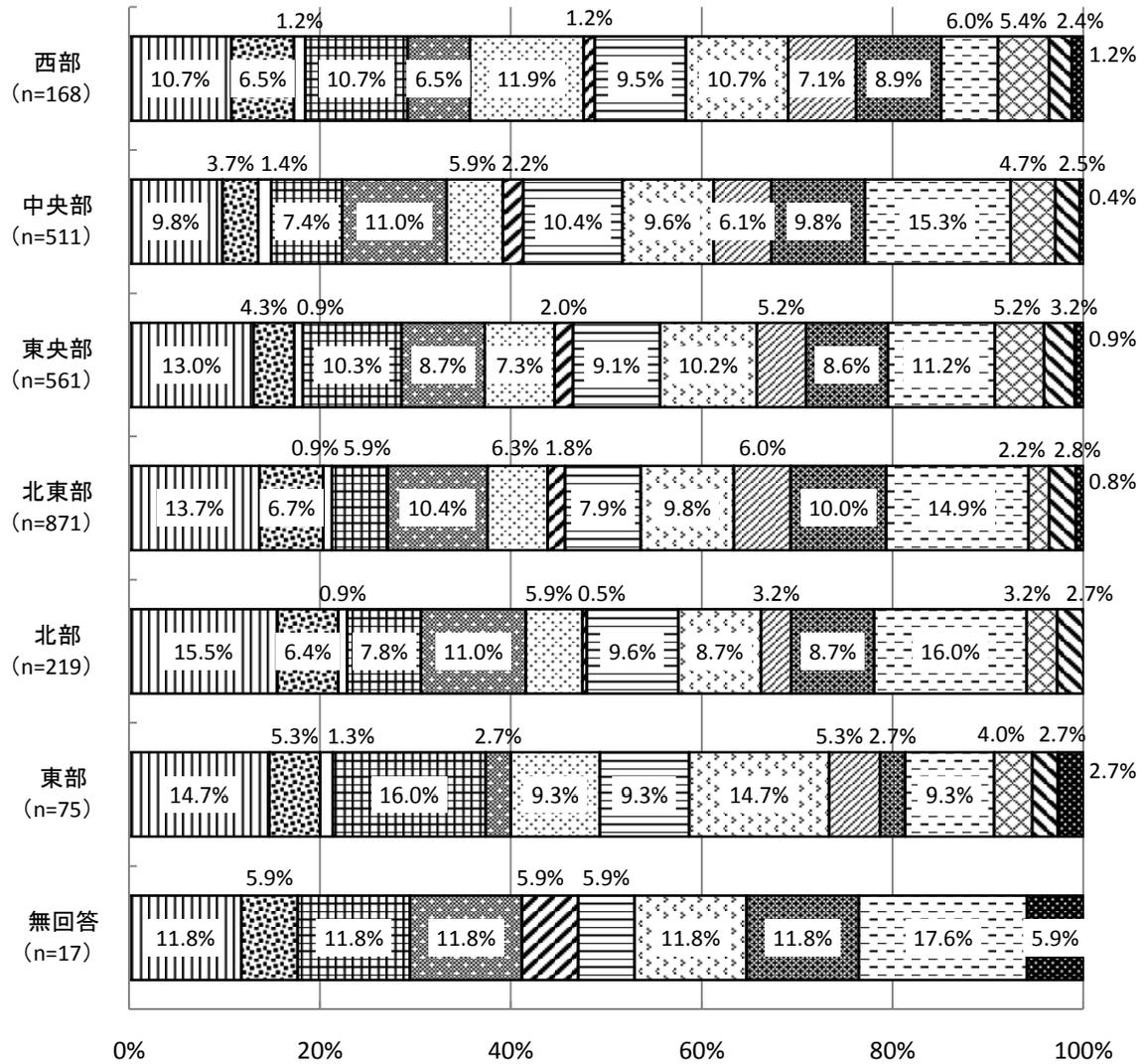
居住地別でみると、西部地区では、「始発・終発時刻を延長する」が最も高く、「わかりやすい路線にする」は10番目となっている。また、東部地区では、「運賃を安くする」が最も高くなっている。

利用状況別でみると、ほぼ毎日で「運行本数を増やす」が最も高く、次いで「冬場の定時性を確保する」、「始発・終発時刻を延長する」の順になっており、「わかりやすい路線にする」は10番目となっている。

※その他の内容

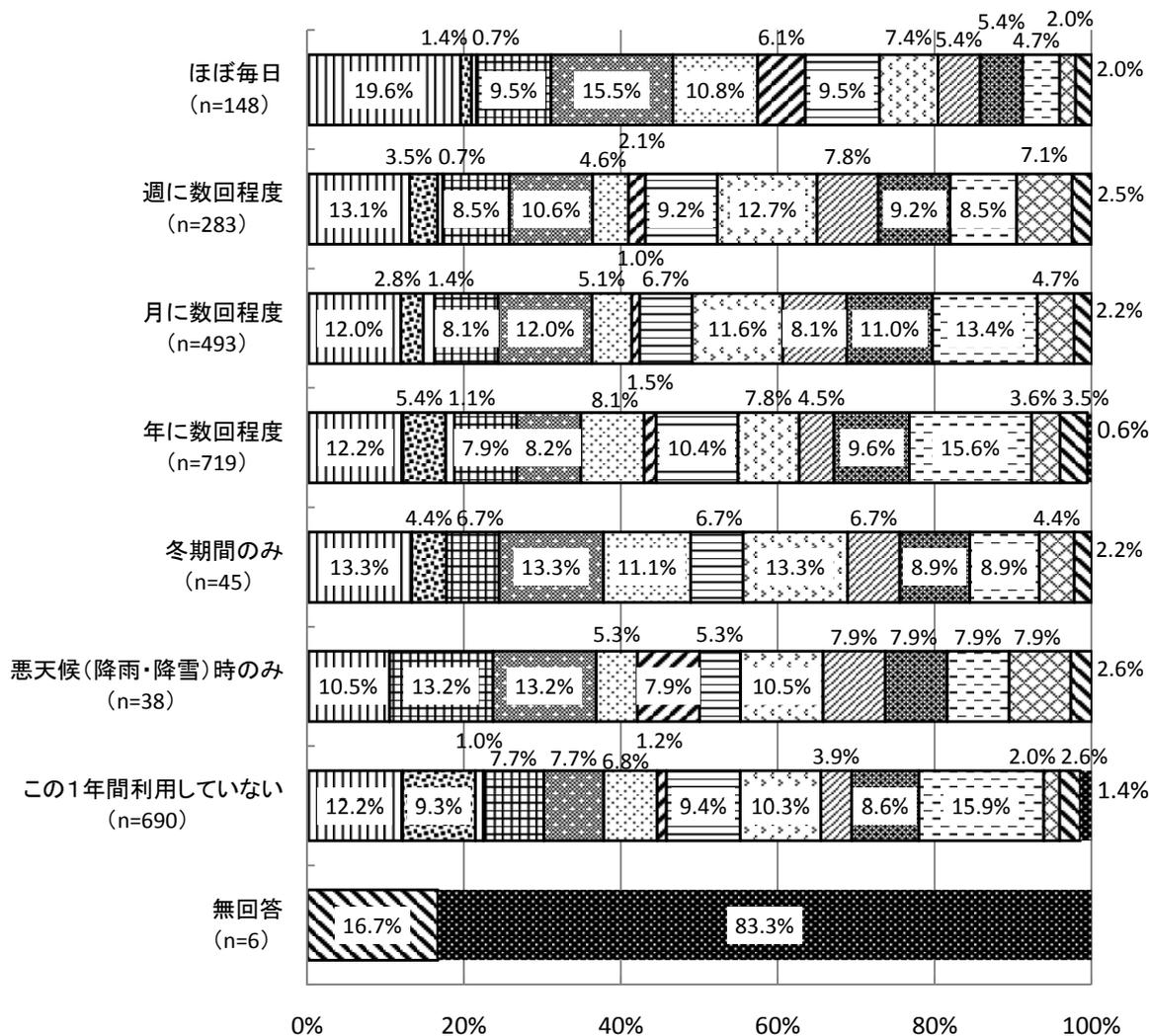
- ・市電を延伸する(15)
- ・利用しないのでわからない(12)
- ・利用しやすい路線をつくる(10)
- ・均一料金にする(4)
- ・バス, 市電の重複運行を解消する(2)
- ・小型バスを導入して効率性を高める(2)
- ・タクシーの便利性を兼ね備える(2)
- ・バスの乗り方に関するガイドブックを作成する(2)
- ・交通料金助成制度を見直して欲しい(2)
- ・停留所の間隔を短くする(1)
- ・冬場の停留所の除雪をする(1)
- ・市電の停留場を安全のため広くして欲しい(1)
- ・同じバス停名が複数あってわかりづらい(1)
- ・座席数を増やして欲しい(1)
- ・イベント時に増便する(1)
- ・運転手の教育を徹底する(1)
- ・車両をきれいにする(1)
- ・市電は必要ない(1) ほか(7)

<居住地別>



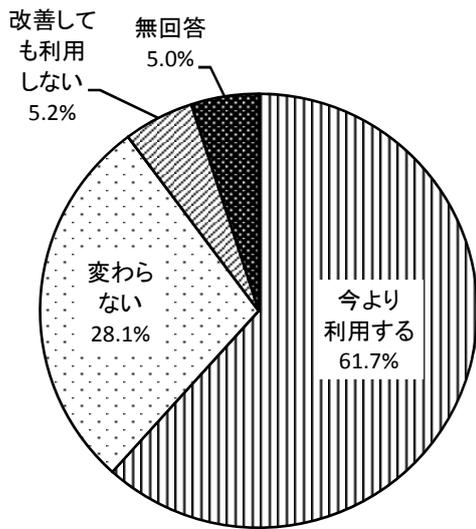
- 運行本数を増やす
- 近くに停留所を設置する
- 移動時間を短くする
- 運賃を安くする
- 冬場の定時性を確保する
- 始発・終発時刻を延長する
- 車内混雑を少なくする
- 乗り換えを便利にする
- 停留所にベンチや屋根を設ける
- 乗り降りしやすい車両にする
- 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の発信を充実する
- わかりやすい路線にする
- いまのままで十分利用しやすい
- その他
- 無回答

<利用状況別>



- 運行本数を増やす
- 近くに停留所を設置する
- 移動時間を短くする
- 運賃を安くする
- 冬場の定時性を確保する
- 始発・終発時刻を延長する
- 車内混雑を少なくする
- 乗り換えを便利にする
- 停留所にベンチや屋根を設ける
- 乗り降りしやすい車両にする
- 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の発信を充実する
- わかりやすい路線にする
- いまのままで十分利用しやすい
- その他
- 無回答

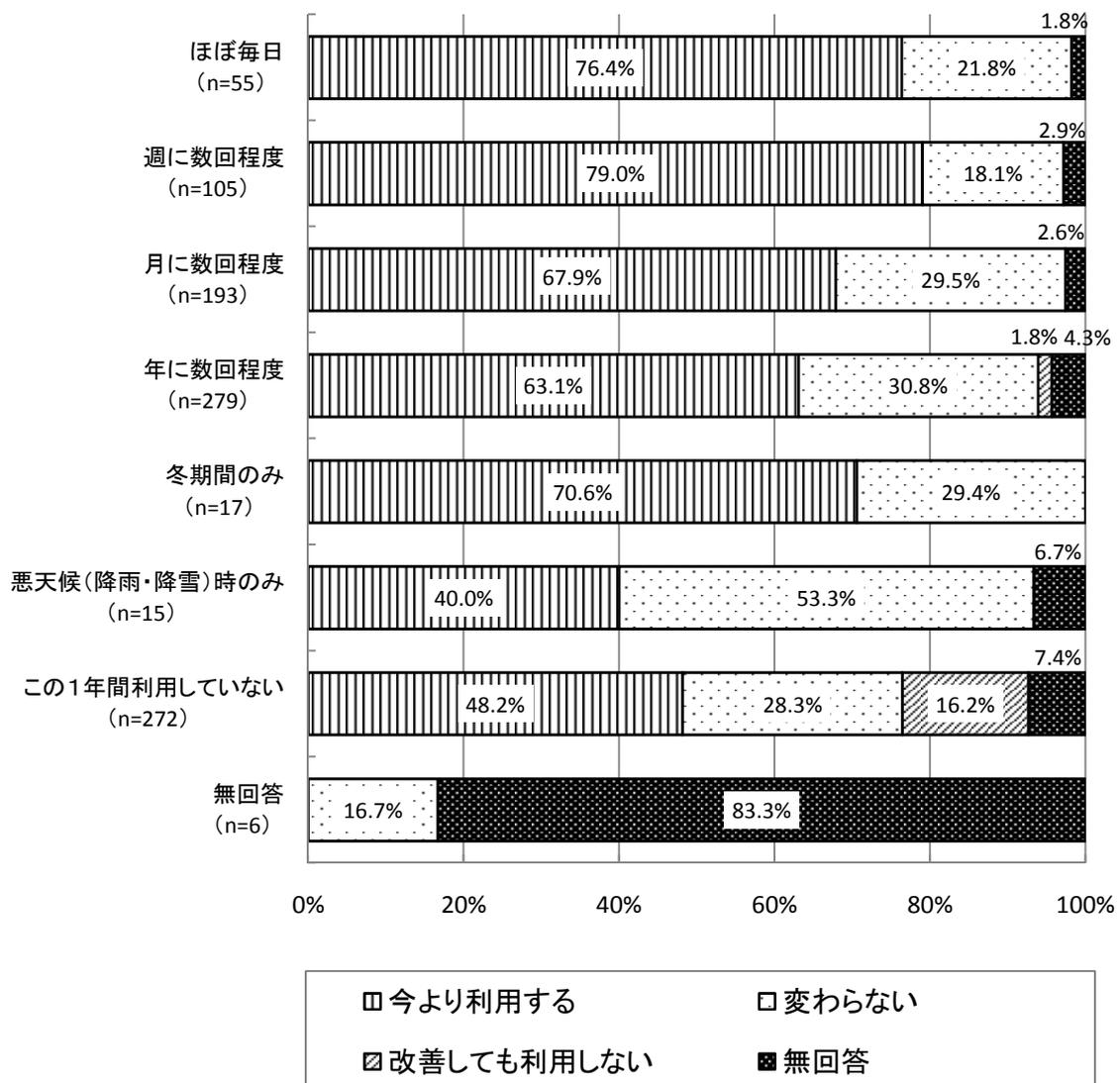
問3-5 前問で選択した点が改善されたら、今より路線バスや市電を利用しますか。(n=942)



「今より利用する」が61.7%となっており、「改善しても利用しない」は5.2%となっている。

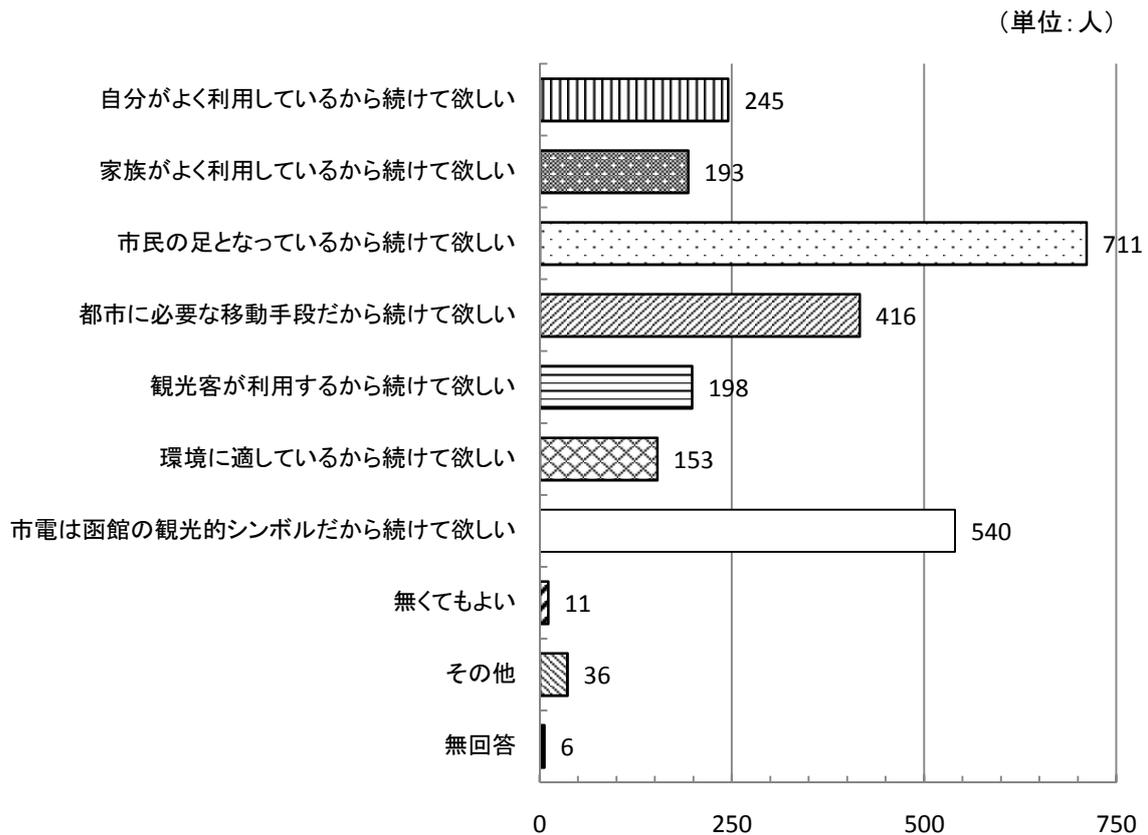
利用状況別でみると、「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「月に数回程度」、「年に数回程度」、「冬期間のみ」で、「今より利用する」が60%を超えている。

<利用状況別>



問3-6

あなたは路線バスや市電の今後の運行についてどのように思いますか。  
(3つまで) (n=2,509)

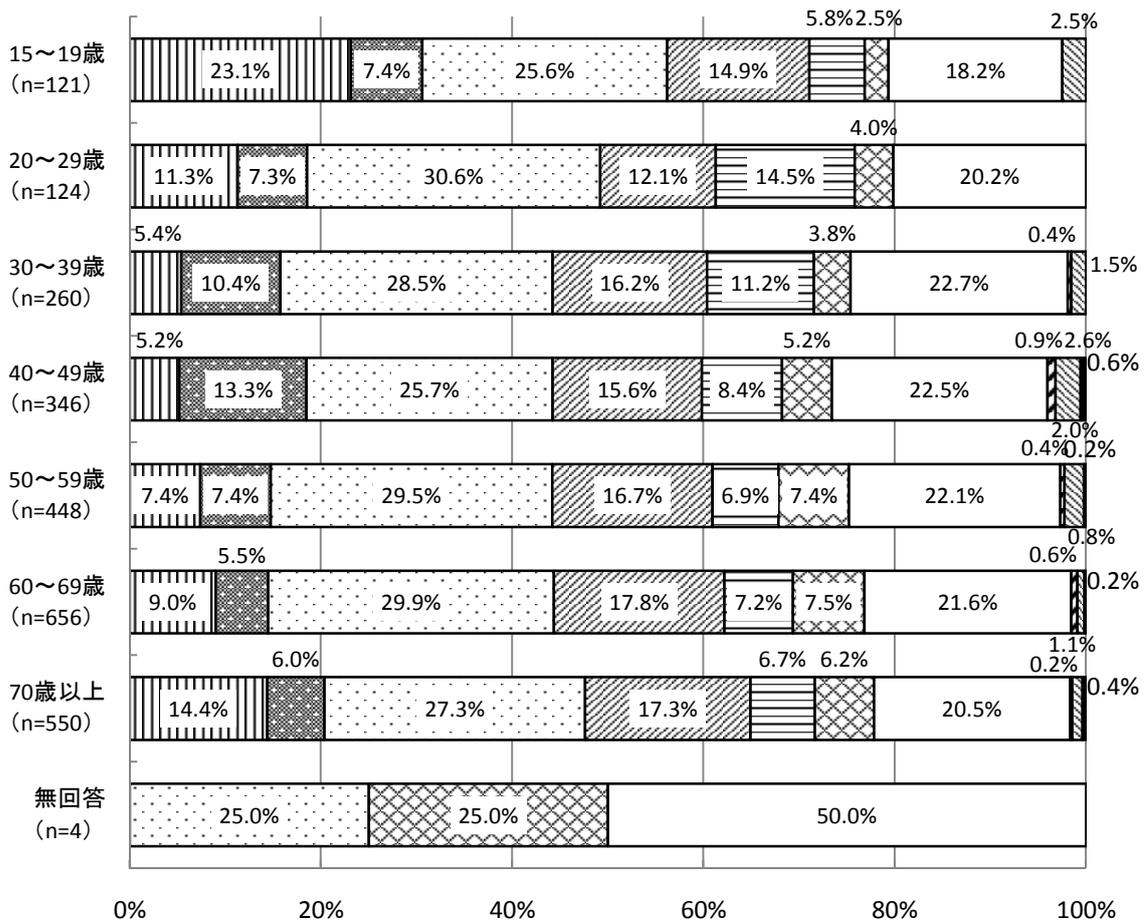


「市民の足となっているから続けて欲しい」が最も多く、次いで「市電は函館の観光的シンボルだから続けて欲しい」、 「都市に必要な移動手段だから続けて欲しい」となっている。また、「無くてよい」は非常に少なくなっている。

※その他の内容

- ・今後または将来利用するので続けてほしい(8)
- ・市電を延伸してほしい(4)
- ・利用しやすい(乗り換えがない等)路線を増やしてほしい(4)
- ・わかりやすい路線にしてほしい(2)
- ・運行時刻の見直し, 延長してほしい(2)
- ・市電を基幹として乗り継ぎと工夫・路線をわかりやすくブロックに分けて小型バスを走らせる(1)
- ・運転手の接客態度を改善してほしい(1)
- ・老人や障害者が利用しやすいようにしてほしい(無料バスなど)(1)
- ・イベント時に必要(1)
- ・時刻表を配布してほしい(1)
- ・冬場の道路除雪, 排雪による道幅確保が課題(1)
- ・市電は赤字なので必要ない(1)
- ・利用しない(2) ほか7件

<年代別>

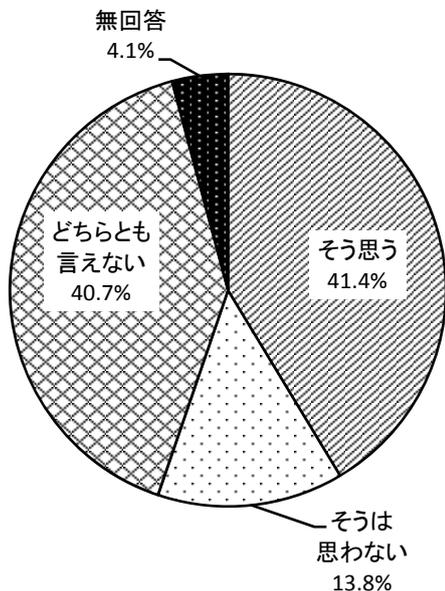


- ▣ 自分がよく利用しているから続けて欲しい
- 家族がよく利用しているから続けて欲しい
- 市民の足となっているから続けて欲しい
- ▣ 都市に必要な移動手段だから続けて欲しい
- ▣ 観光客が利用するから続けて欲しい
- ▣ 環境に適しているから続けて欲しい
- 市電は函館の観光的シンボルだから続けて欲しい
- ▣ 無くてよい
- ▣ その他
- 無回答

## 4 交通施策に対する意識

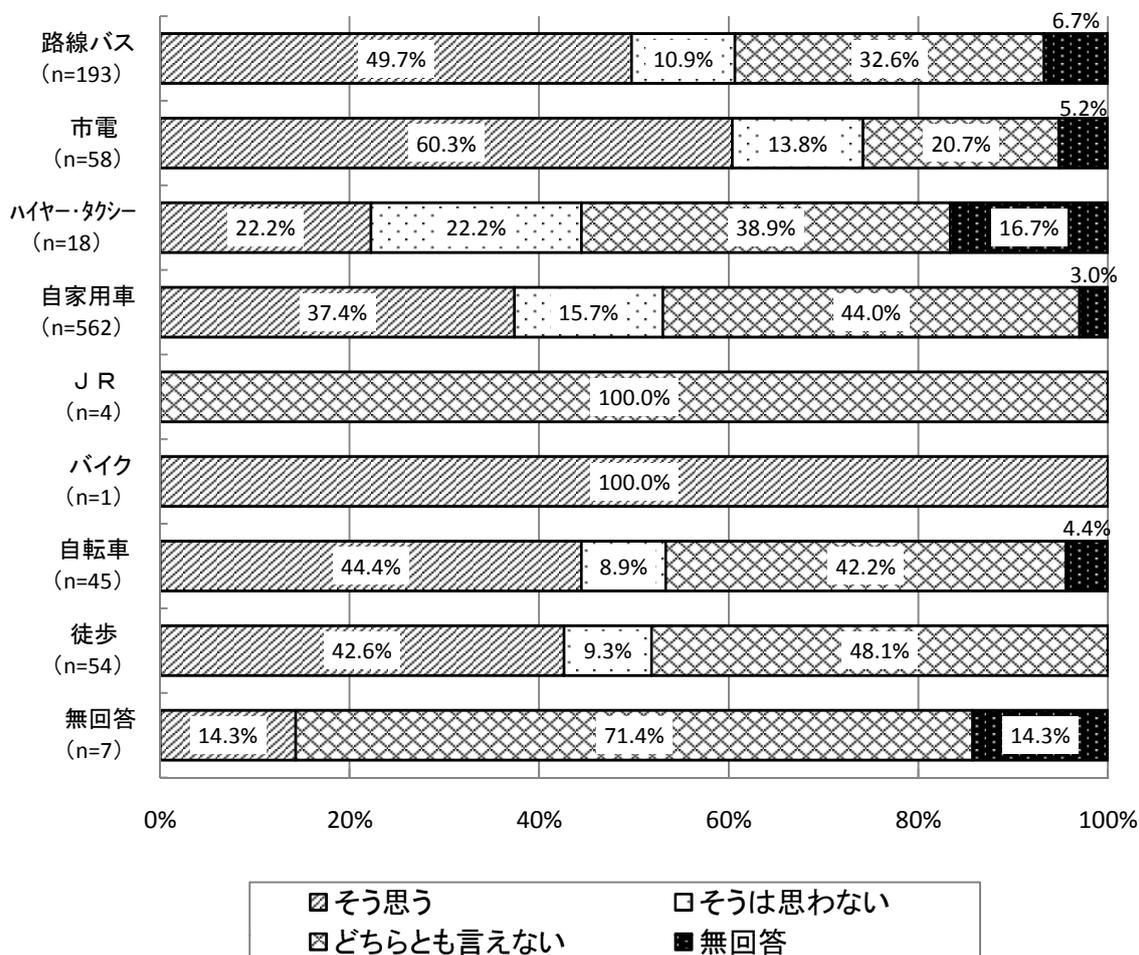
問4 交通問題等に対するお考えをお聞かせください。

問4-1 自動車による騒音や二酸化炭素の排出などの環境問題が生じているため、自家用車利用の自粛や公共交通への利用転換のための施策を積極的に進めるべきである。(n=942)



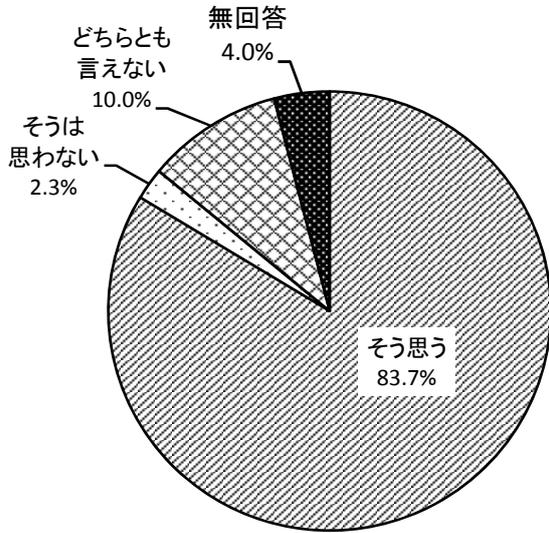
「そう思う」が41.4%となっており、「そうは思わない」の13.8%と比べて高くなっている。移動手段別でみると、自家用車でも、「そう思う」が37.4%と高くなっている。

### <移動手段別>



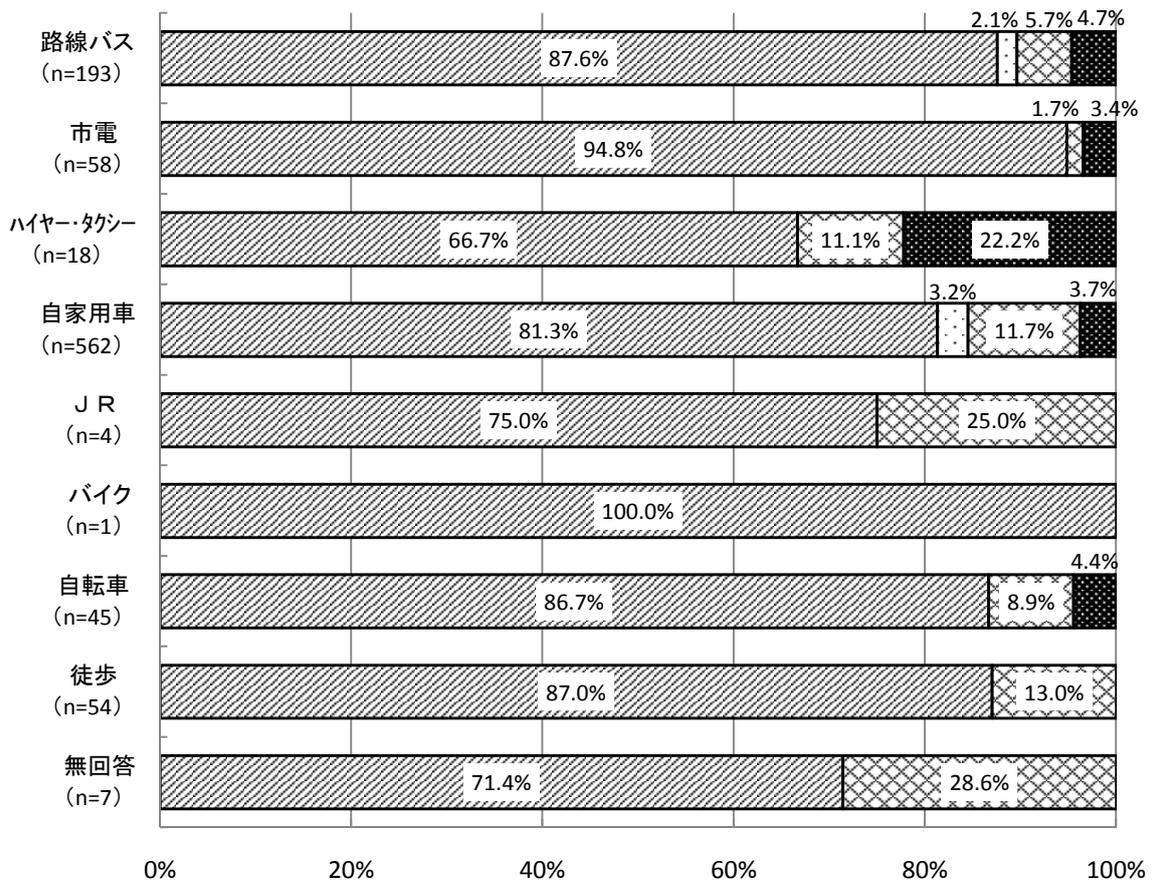
問4-2

今後、さらなる高齢化の進展により公共交通の重要性が高まると考えられることから、公共交通を将来にわたって維持するため、利便性向上のための基盤整備や利用促進の施策に対し、必要な予算措置を行い、それら施策を積極的に進めるべきである。(n=942)



「そう思う」が83.7%となっていて非常に高い。  
 移動手段別でも、その傾向は変わらない。

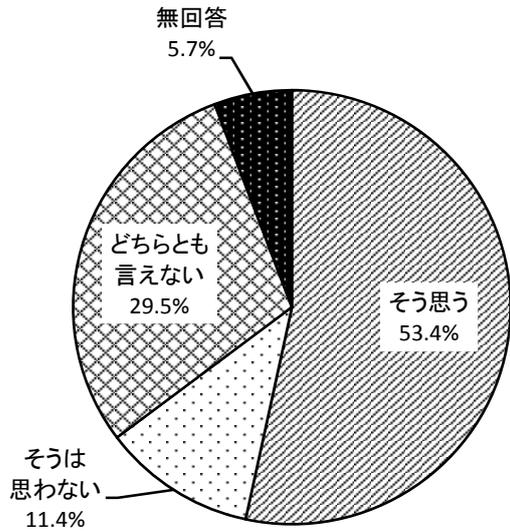
<移動手段別>



〇そう思う □そうは思わない ▨どちらとも言えない ■無回答

問4-3

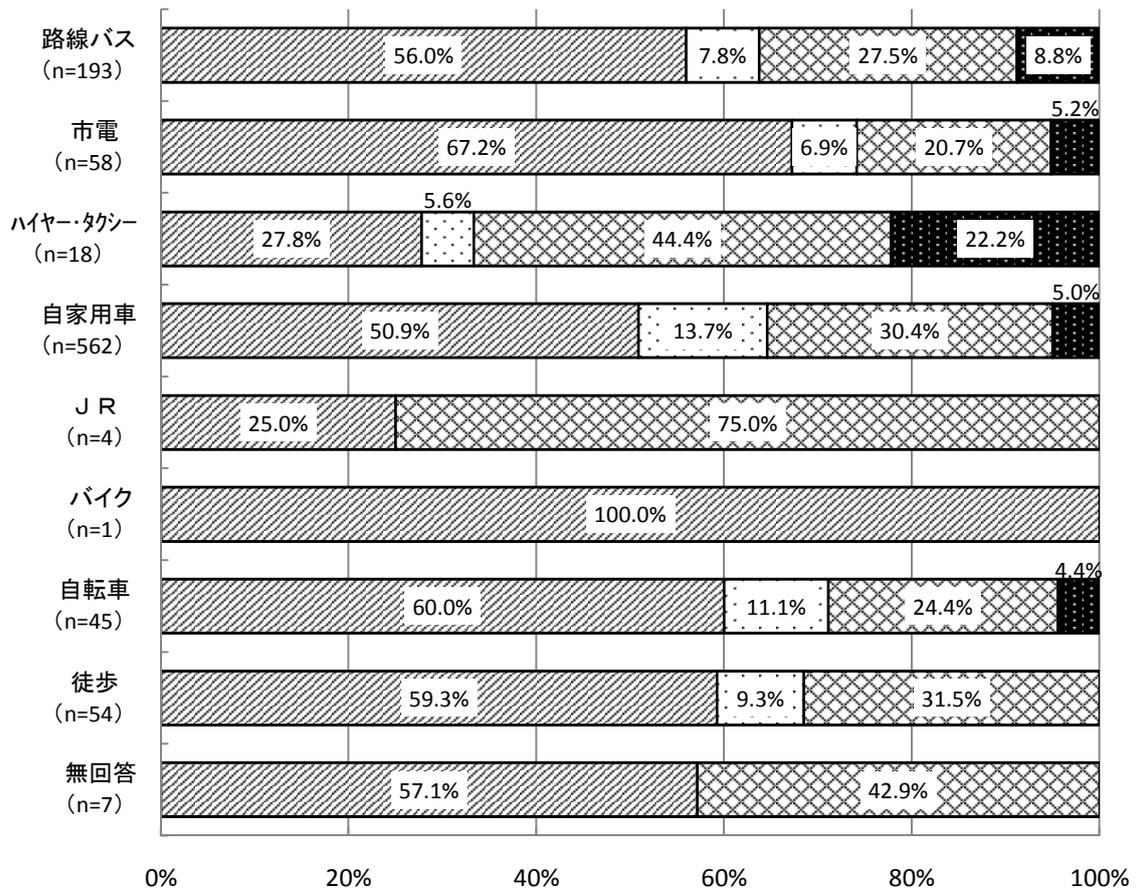
公共交通の利便性を向上させるため、自家用車利用の自粛やバス専用レーン設置など、自家用車利用の制約のための施策を積極的に進めるべきである。(n=942)



「そう思う」が53.4%と、「そうは思わない」の11.4%と比べて高くなっている。

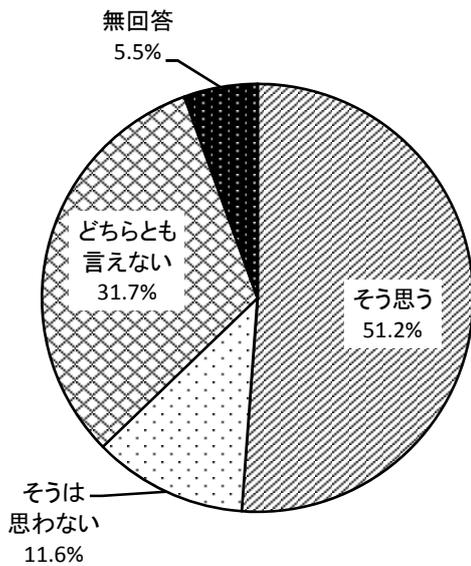
移動手段別でみると、自家用車でも、「そう思う」が50.9%と高くなっている。

<移動手段別>



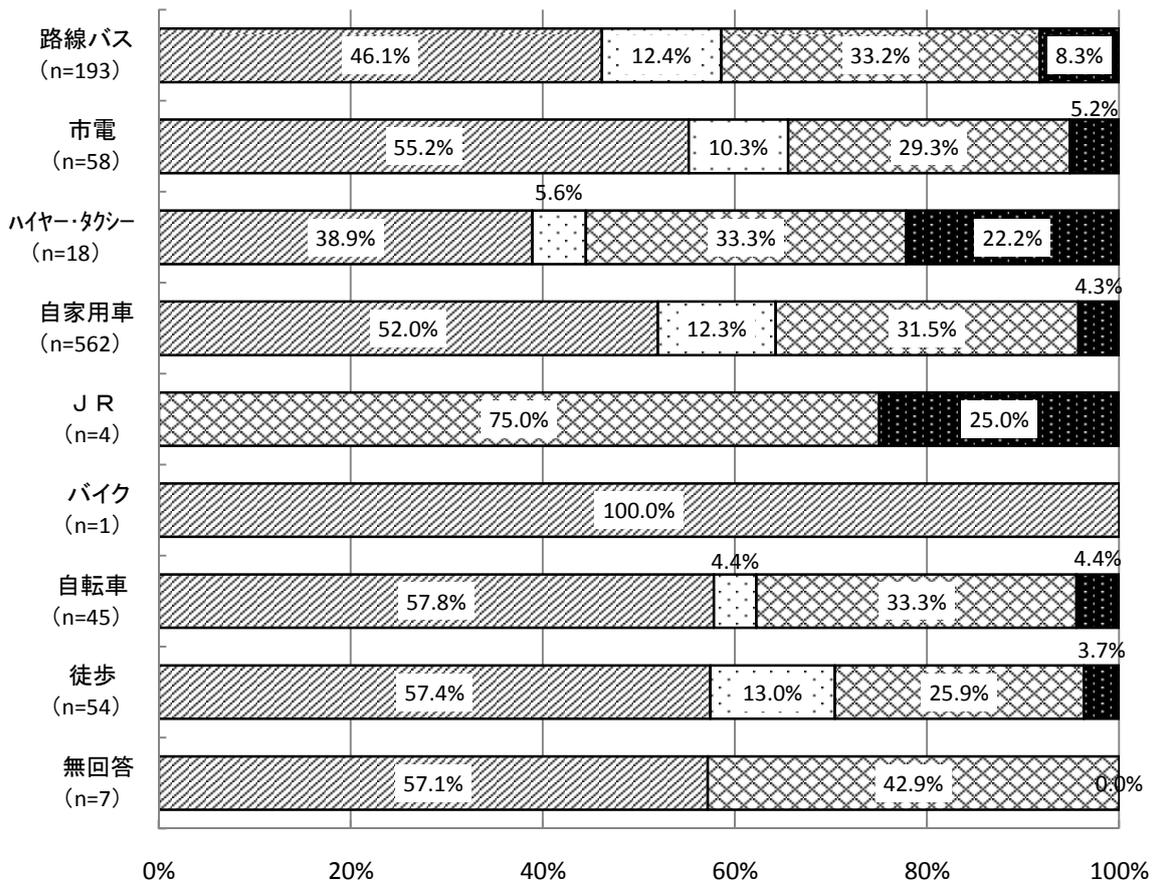
■ そう思う □ そうは思わない ▨ どちらとも言えない ■ 無回答

**問4-4** 公共交通の利便性や運行効率の向上のためには、駅前や五稜郭などの拠点に、路線バスや市電などの公共交通機関が乗り入れる交通ターミナルなどの整備が必要である。(n=942)



「そう思う」が51.2%となっており、「そうは思わない」の11.6%と比べて高くなっている。  
 移動手段別でみると、自家用車でも、「そう思う」が52.0%と高くなっている。

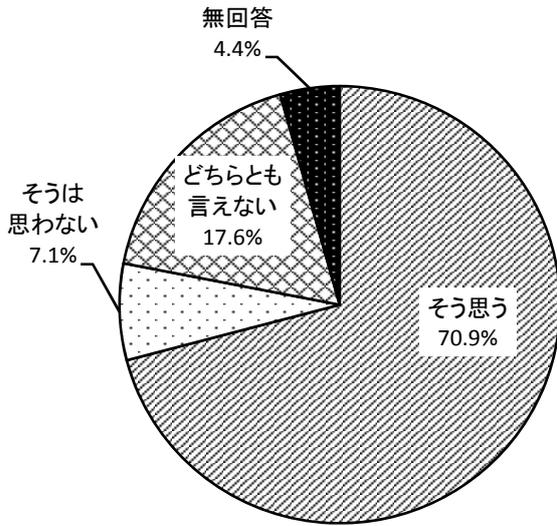
<移動手段別>



■ そう思う □ そうは思わない ▨ どちらとも言えない ■ 無回答

問4-5

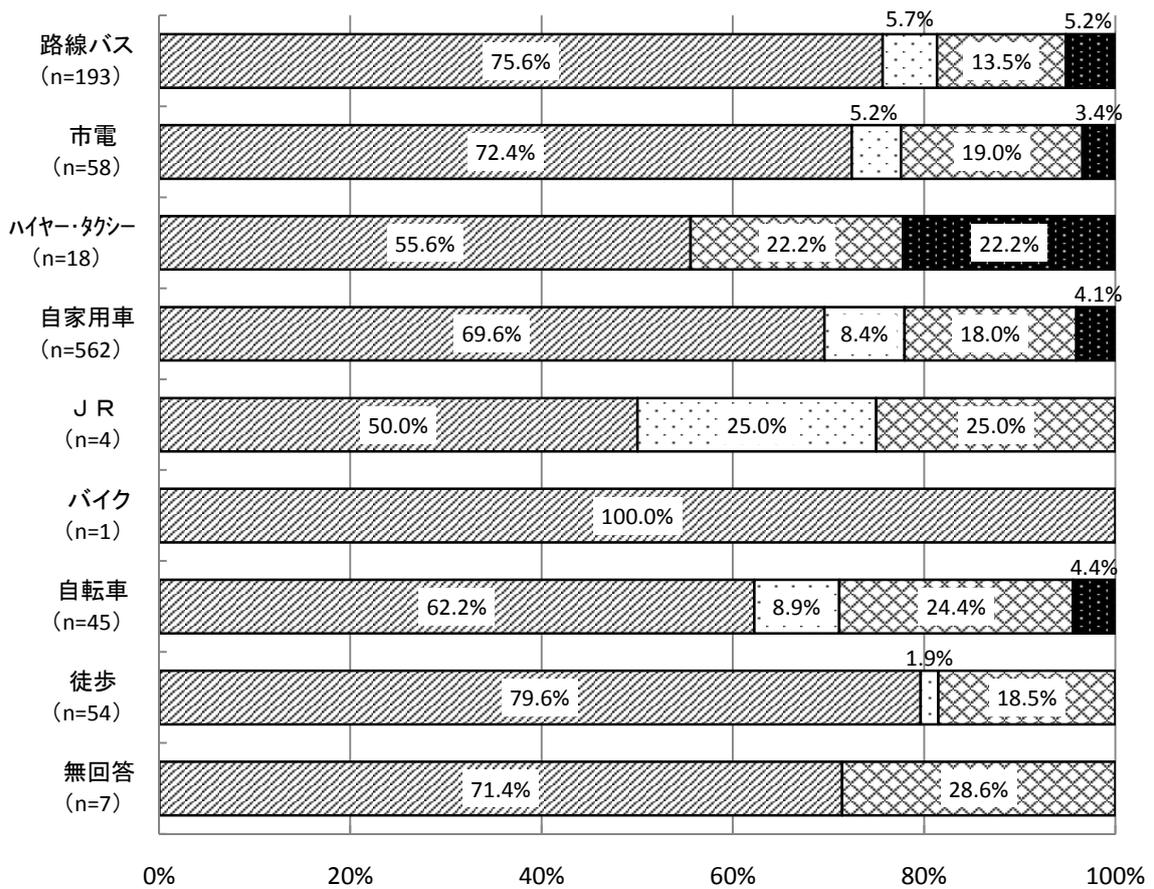
乗り換え環境（快適な待合施設の整備，乗り換えに連動した接続便の設定，乗り換え割引の充実など）が整っていれば，公共交通の乗り換えに対する抵抗感はない。（n=942）



「そう思う」が70.9%となっており、「そうは思わない」の7.1%と比べて非常に高くなっている。

移動手段別でみると，路線バス，市電で，「そう思う」が70%を超えている。

<移動手段別>



■ そう思う □ そうは思わない ▨ どちらとも言えない ■ 無回答



## 5 公共交通に関する意見(自由記載) (n=406)

### ○ダイヤに関すること

- ・もう少し、朝早く、夜遅い市電・路線バスがあれば良いと思います。
- ・学生や通勤者が利用する時間帯、朝(7:00~8:00)夕方(4:00~8:00)くらいの本数を増やしてほしい。特に冬期間。
- ・公共交通の運行本数を増やし、利用者がいつでも乗りたい時に乗れるようにし、行き先によっては市電からバスへと乗り継ぎを出来るようにする。
- ・バスの本数が少なすぎると思います。終わる時間も早すぎます。23時~1時あたりにせめて1本でも走らせてくればと思います。

### ○路線に関すること

- ・市電と路線バスが同一の道路を運行するのは客数が分散すると思います。
- ・冊子の時刻表などで停留所名や時刻を知ることができませんが、停留所の位置が解らず、バスに乗れないことがありました。
- ・路線もわかりにくく、バスに乗車するためには沢山調べなければならないことが多く、面倒に感じてしまう。
- ・路線の本数増、コースをもっと単純にして欲しい。
- ・もっと解りやすいバス路線図、時刻表を作って欲しい。
- ・バス路線が複雑すぎます。小型バスで住宅地の中まで入るような路線があったら便利です。

### ○市電の延伸に関すること

- ・市電の美原地区延伸を希望します。
- ・市電ガス会社回りを復活して欲しいです。
- ・市電を空港まで延伸する。
- ・市電を新幹線駅まで延伸する。

### ○運賃に関すること

- ・市電、市バスは均一料金の方が利用しやすい。
- ・函館市も高齢者も多くなったと思うので、運賃を安くして欲しい。
- ・車の免許証を高齢者が返還すると、無料で市電に乗れるカードをくれると良い。
- ・100円バスや100円電車にすれば利用者が増えると思う。
- ・磁気カードに乗車日や残金等が裏に記入されるようにして欲しい。
- ・ICカードが使えるようになれば、利用者も増えるのではないかな。

### ○定時性に関すること

- ・冬場のバスの遅れに対する対策を考えてほしい(20分~30分遅れる)
- ・バスの到着時間を守ってほしい。
- ・発着の時刻が遅れがちなので、出来るだけ定時に運行してほしい。

### ○利用環境に関すること

- ・冬期間除雪の事が毎年気になります。バス停での乗り降りに足の置き場がなく、早朝、登校する学生や高齢者の方々はとてもお気の毒に思います。
- ・冬場停留所が寒いです。(雪が降っても待てるようにしてほしい)
- ・駅前と湯の川温泉の電停は、利用者が多い時は、停留場からはみ出ているのはとても危

険です。改修工事の際はぜひ大型化をして欲しい。

- ・子どもがいるとバスの待ち時間が大変です。通院や買い物などバス、市電を利用したいが、停留所に屋根があったら雨、雪が防げるのにと考えたことが何度もあります。

### ○車両に関すること

- ・市電のステップが高すぎる。高齢者には乗り降りが大変です。
- ・バス路線で朝夕のラッシュ時は大型で良いに思いますが、日中時にガラガラに空いているのが目立つので小型でも良いと思います。
- ・おしゃれなバスを、元町方面など観光地の方に台数を増やして走らせた方が良いと思います。
- ・バスに終点の表示だけでなく、このバスが運行する通りを解りやすく表示して欲しい。

### ○乗り換えに関すること

- ・バスターミナルを増やし、利用しやすくして欲しい。
- ・乗り継ぎする時の支払い方法が面倒です。
- ・人口の推移が美原方面に移動しているので、特にバス路線の整備は美原地区に交通ターミナルを整備し、利便性を上げ、乗客の増加をめざすべき。
- ・函館バスと市電の重複区間はバス路線に一本化し、道路の混雑、効率化を図るべき。
- ・次のバスに乗り換えるまでに数十分の時間がかかり、乗りかえが不便です。

### ○情報提供に関すること

- ・停留所に設置してあるバスの路線図を解りやすいものにして欲しい。
- ・目的地までの乗り換えなど、インターネットなどで気軽に調べることができると助かります。
- ・バス停の時刻表が毎年変更になった時は、印刷された時刻表を新聞に入れていただきたいと思います。
- ・バス停に電光掲示板ができ、あと何分で到着の表示が出るようになって待つ時間が解るので助かっている。これをもう少し増やして欲しい。
- ・電話でのバス時間の問合せでは、親切に教えて頂きありがとうございます。

### ○サービスに関すること

- ・市電、バスの運転手は、利用者の立場を考え（特に高齢者）優しく対応をして欲しい。
- ・運転手の対応が以前より、良くなったと思う。
- ・バスの運転手の中には、交通マナーを守らない運転手もいると思う。
- ・運転手の方は親切な人が多いのですが、たまに愛想の悪い人がいます。

### ○走行環境・道路整備に関すること

- ・冬場は、バスを待つ時間が長く遅れる傾向にあるので、除雪をしっかりと行って欲しい。
- ・バス専用車線が必要だと思う。
- ・路上駐車をしている車の排除（特に主要幹線道路）を徹底し、停留所周辺のスペースを確保すべきであると思う。

### ○交通料金助成に関すること

- ・お年寄りの方は割と混雑していない時間帯を利用しているので、70歳以上の人の運賃を前のように半額にすべきである。
- ・助成券を頂いて本当に助かっております。もう少し割引券を頂ければ大変助かり嬉しく

思います。

- ・昨年から半額補助券に変わったが、財政厳しい中では、今の制度を継続することで充分だと思っています。

### ○存続・廃止に関すること

- ・市電は函館の場合、観光にも寄与しているし、クリーンエネルギーで公害もない安全で静かな乗り物として無くせるものではない。
- ・市電、市バスを必要としている人が少なくなっているの、廃止等も考えるべきである。
- ・高齢のため自家用車の運転を、近い将来、止めなければならないので、電車・バスの、より一層の充実をして欲しい。
- ・今後、観光客のため、高齢化が進むので、ぜひ公共交通（電車、バス）を維持して欲しいと思います。
- ・市電は絶対存続してほしい。できれば古い車両を残しながら存続してほしい。函館の街のすばらしさの一因となっています。

### ○アイデア

- ・公務員の自家用車通勤を禁止し、その上で民間企業にも、自家用車通勤を自粛していく。
- ・電車の運行時間がかかるので、快速や特急便など創設する。
- ・ポイントカードを導入し、市電、市バスを利用するとポイントが増えて、特典がつくと良いのではないかな。

### ○その他

- ・自家用車が無かったのでどこに行くにもバス、電車ばかりでした。不自由でもなかったです。今のままだも、楽しくバスを利用しています。本当に助かります。
- ・お年寄りが便利に使える公共交通になれば良いと思います。
- ・私を含め高齢者の自家用車運転は危険である。自家用車運転を止めて公共交通利用をPRするのも一つの方策とも思われます。



## 公共交通の利用に関するアンケート

### アンケート調査へのご協力をお願い

平素より函館市の交通行政にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、バスや市電などの公共交通は市民の日常生活を支える重要な役割を担っておりますが、利用者数は年々減少しており、路線の維持や利便性の確保など様々な問題を抱えています。

本市においては、平成13年に学識経験者や交通事業者、地域住民等で構成する函館市生活交通協議会を設置し、バス生活路線の確保方策や公共交通を中心とした交通体系について、協議・検討を行っておりますが、今後においては、さらなる人口減少や高齢化の進行に伴い、公共交通の重要性がさらに高まると考えられることから、公共交通の利便性の確保や利用促進を図り、将来にわたって持続可能な公共交通のあり方について検討することとしております。

今回のアンケート調査は、函館市の公共交通の将来を考えるうえでの参考とするため、市民の方々の公共交通の利用状況や、公共交通に対する要望・意見を調査するものです。

アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

平成25年1月

### 記入方法について

- ◆ このアンケートは、あなたご自身がお答えください。都合により代筆していただいてもかまいません。
- ◆ 回答方法は、該当する番号に○を付けるか、具体的な内容を（ ）内に記入して、ご回答ください。質問ごとに「1つ」「3つまで」など、選び方が指定されていますので、ご注意ください。
- ◆ 回答いただきました調査票は、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）にて **2月15日(金)まで** にポストに投函してください。

※ ご記入いただいた内容は、本調査の分析以外の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人が特定されることはございません。

### 問い合わせ先

函館市企画部計画推進室政策推進課 担当：長谷山，中釜  
電話 21-3625 / E-mail seisaku@city.hakodate.hokkaido.jp

**問1 あなた自身のことについて教えてください。**

問1-1 あなたの性別はどちらですか。

- ① 男性                      ② 女性

問1-2 あなたの年齢はいくつですか。

- ① 15～19歳      ② 20～29歳      ③ 30～39歳      ④ 40～49歳  
⑤ 50～59歳      ⑥ 60～69歳      ⑦ 70歳以上

問1-3 あなたのお住まいはどちらですか。

函館市(                      )町 (                      )丁目

問1-4 あなたの職業は何ですか。

- ① 自営業                      ② 会社員, 団体職員                      ③ 公務員  
④ 家事従事者                      ⑤ パート・アルバイト                      ⑥ 高校生  
⑦ 大学生                      ⑧ 無職                      ⑨ その他(                      )

問1-5 あなたのご家庭では自家用車を何台保有していますか。

- ① 1台      ② 2台      ③ 3台      ④ 4台以上      ⑤ 保有していない

問1-6 あなたは将来何歳くらいまで運転を続けたいですか。

- ① 60歳くらいまで      ② 70歳くらいまで      ③ 運転できる限りずっと  
④ できれば今にでもやめたい      ⑤ 運転はしていない

**問2 外出される際の状況についてお聞かせください。**

問2-1 あなたが普段もっともよく利用する移動手段は何ですか。1つ選んでください。

- ① 路線バス      ② 市電      ③ ハイヤー・タクシー  
④ 自家用車      ⑤ JR      ⑥ バイク      ⑦ 自転車      ⑧ 徒歩

問2-2 前問で選んだ移動手段で外出する主な目的は何ですか。1つ選んでください。

- ① 通勤      ② 通学      ③ 買い物      ④ 通院      ⑤ 仕事上の用務  
⑥ 通勤・通学・通院の送迎      ⑦ 趣味・習い事      ⑧ 親類や友人宅の訪問  
⑨ その他(                      )

問2-3 あなたが普段外出する際の主な時間帯はいつですか。2つ選んでください。

※外出時間と帰宅時間を選んでください。同一の時間帯の場合は1つ選んでください。

- ① 早朝(5～6時台)      ② 朝(7～8時台)      ③ 午前(9～11時台)  
④ 午後(12～15時台)      ⑤ 夕方(16～18時台)      ⑥ 夜(19時以降)  
⑦ 決まっていない



**問4 交通問題等に対するお考えをお聞かせください。**

問4-1 地球環境の保全のため、自家用車の利用をバスや市電などの公共交通へと転換させていく取り組みを積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-2 高齢化が進み、今後ますます公共交通の重要性が高まると考えられることから、公共交通を将来にわたって維持していくため、公共交通をより便利で利用しやすいものにして、利用者を増加させる取り組みを積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-3 公共交通をより便利で利用しやすくするため、バス専用の車線や信号を設置するなど、公共交通を優先する取り組みを積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-4 公共交通をわかりやすくムダのないものにするため、五稜郭や美原などの拠点に、路線バスや市電などの公共交通が乗り入れる交通ターミナルを整備すべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-5 停留所にベンチや屋根を設置したり、乗り換えの待ち時間を減らしたり、乗り換え割引が充実していれば、乗り換えに対する抵抗感はない。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

**問5 公共交通に関するご意見をお聞かせください。**

函館市の公共交通に関するご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

～いただきましたご意見などに対し、個別の回答は致しませんのでご了承ください。～

～これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。～

## Ⅱ 通勤に関するアンケート



# 通勤に関するアンケートの概要

## 1 目的

本調査は、市内の事業所に従事する従業者の方々の通勤状況や公共交通に関する意識やニーズを把握し、本市の今後の公共交通のあり方を検討することを目的として実施した。

## 2 調査項目

- (1) 属性
- (2) 路線バス・市電での通勤状況
- (3) 路線バス・市電以外での通勤状況
- (4) 交通施策に対する意識
- (5) 公共交通に関する意見（自由記載）

## 3 調査の方法

- (1) 調査対象 駅前・大門，本町・五稜郭，美原，湯川の4地区に所在する事業所の従業者
- (2) 標本数 600人
- (3) 抽出方法 駅前交差点，本町交差点，美原交差点，湯川電停交差点の各拠点から半径500m内に所在する医療機関，宿泊施設，商業施設等の各5事業所を任意に抽出し，1事業所あたり30人を基本に調査を依頼した。

拠点	事業所	標本数
駅前	医療施設（1），宿泊施設（1），商業施設（1），金融機関（1），公的機関（1）	150
本町	医療施設（1），宿泊施設（1），商業施設（1），金融機関（1），公的機関（1）	150
美原	医療施設（1），商業施設（1），金融機関（1），公的機関（2）	150
湯川	医療施設（1），宿泊施設（1），商業施設（1），金融機関（2），公的機関（2）	150
計	22事業所	600

- (4) 調査方法 各事業所に調査票を直接配付し，従業者への配付・回収を依頼した。
- (5) 調査期間 平成24年12月6日～平成25年1月10日

## 4 回収結果

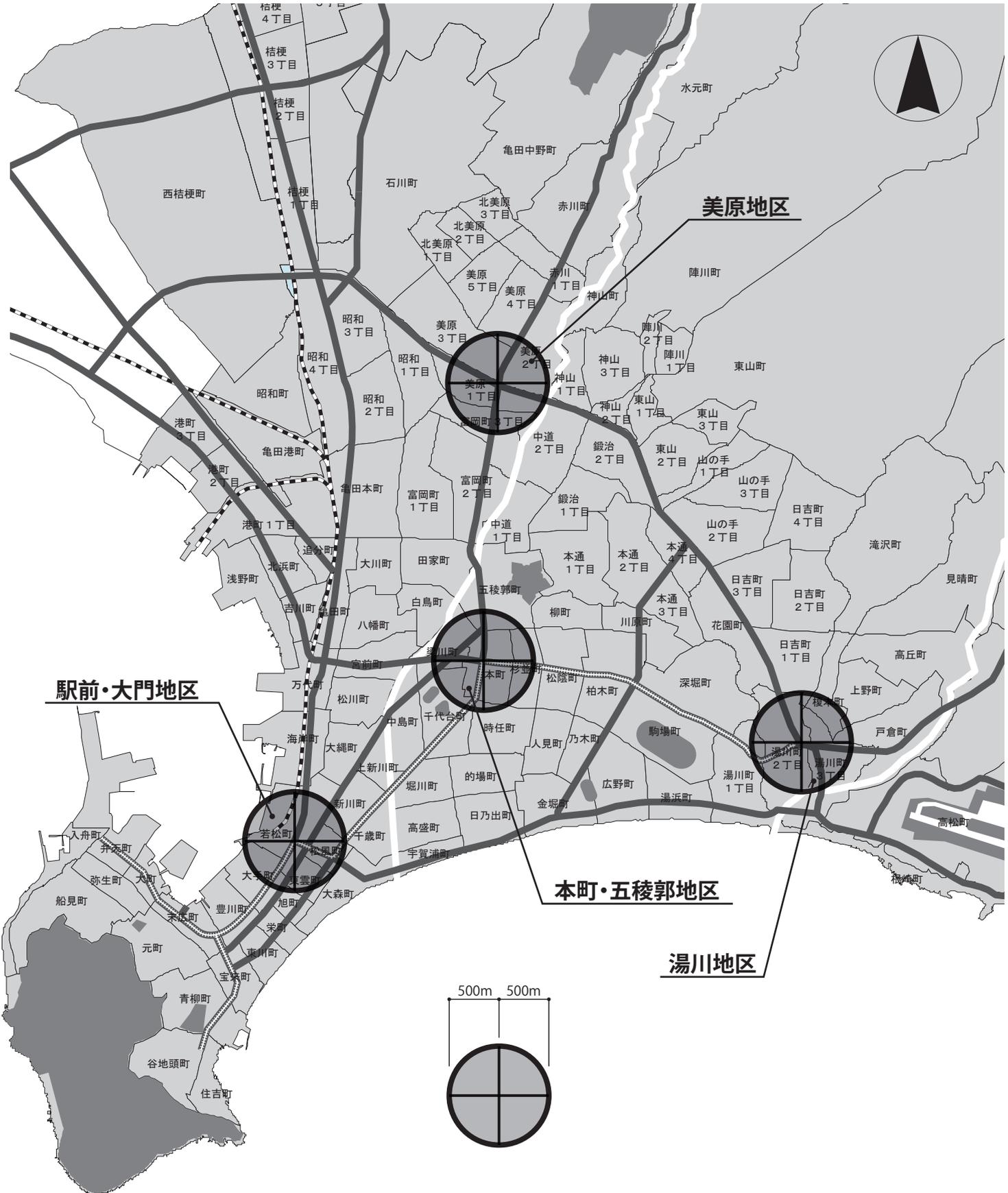
調査対象者数600人に対して，回収数は558人で，回収率は93.0%であった。

## 5 回収状況

拠点	事業所	配布数	回収数	回収率(%)
駅前	5事業所	150	146	97.3
本町	5事業所	150	137	91.3
美原	5事業所	150	143	95.3
湯川	7事業所	150	132	88.0
合計	22事業所	600	558	93.0



# 調査対象地区



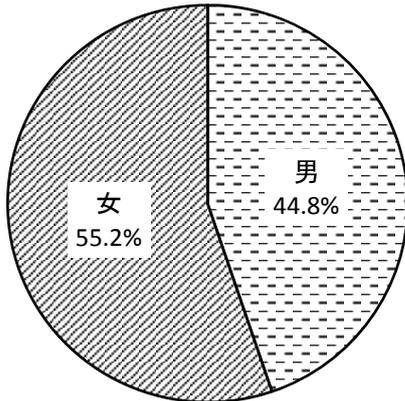


# 通勤に関するアンケートの集計結果

## 1 属性

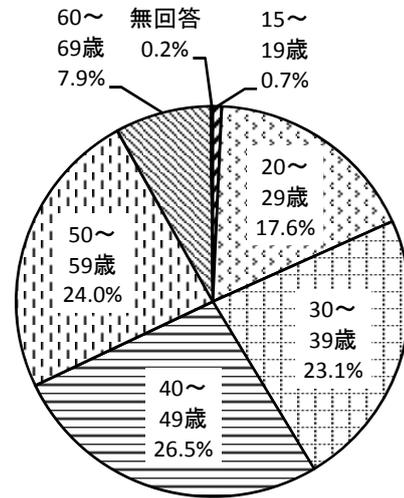
問1 あなた自身のことについて教えてください。

問1-1 性別 (n=558)



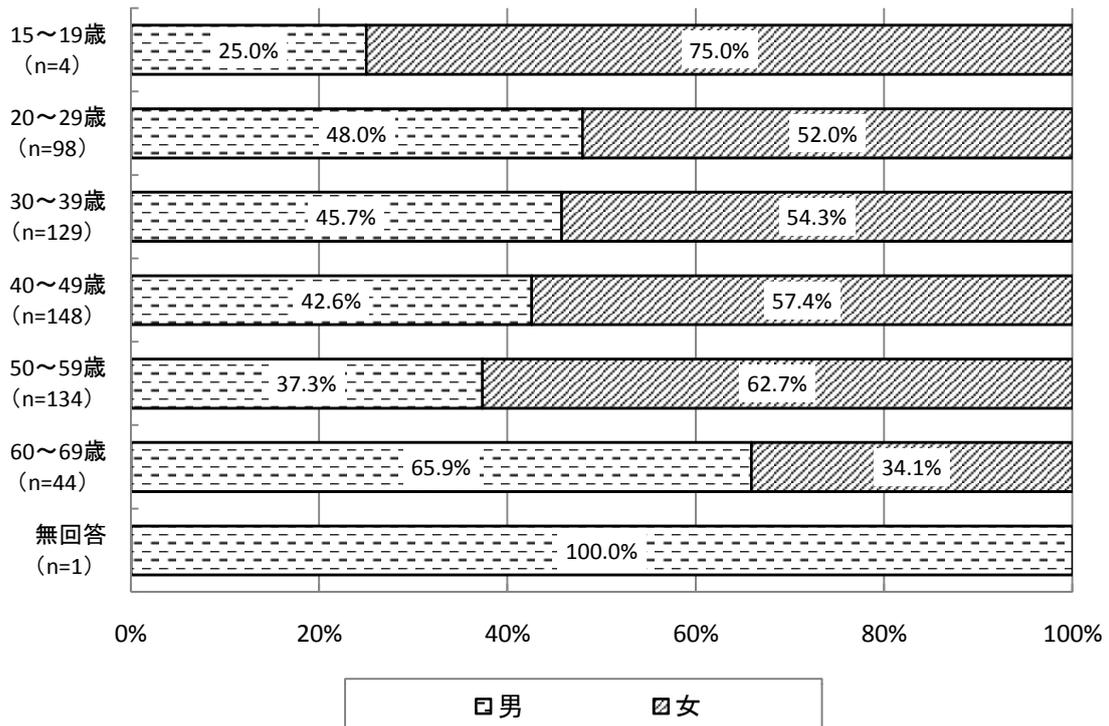
男性が44.8%，女性が55.2%となっている。

問1-2 年齢 (n=558)

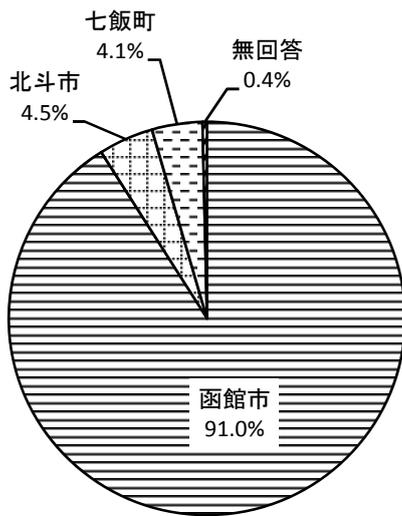


40歳代が26.5%と最も高く、40歳代と50歳代を合わせると半数を占めている。

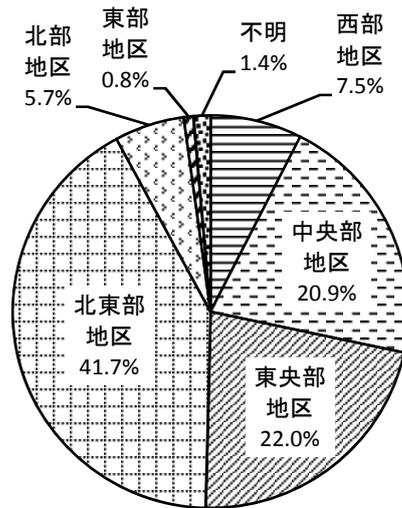
### <年代別>



問1-3 居住地 (n=558)

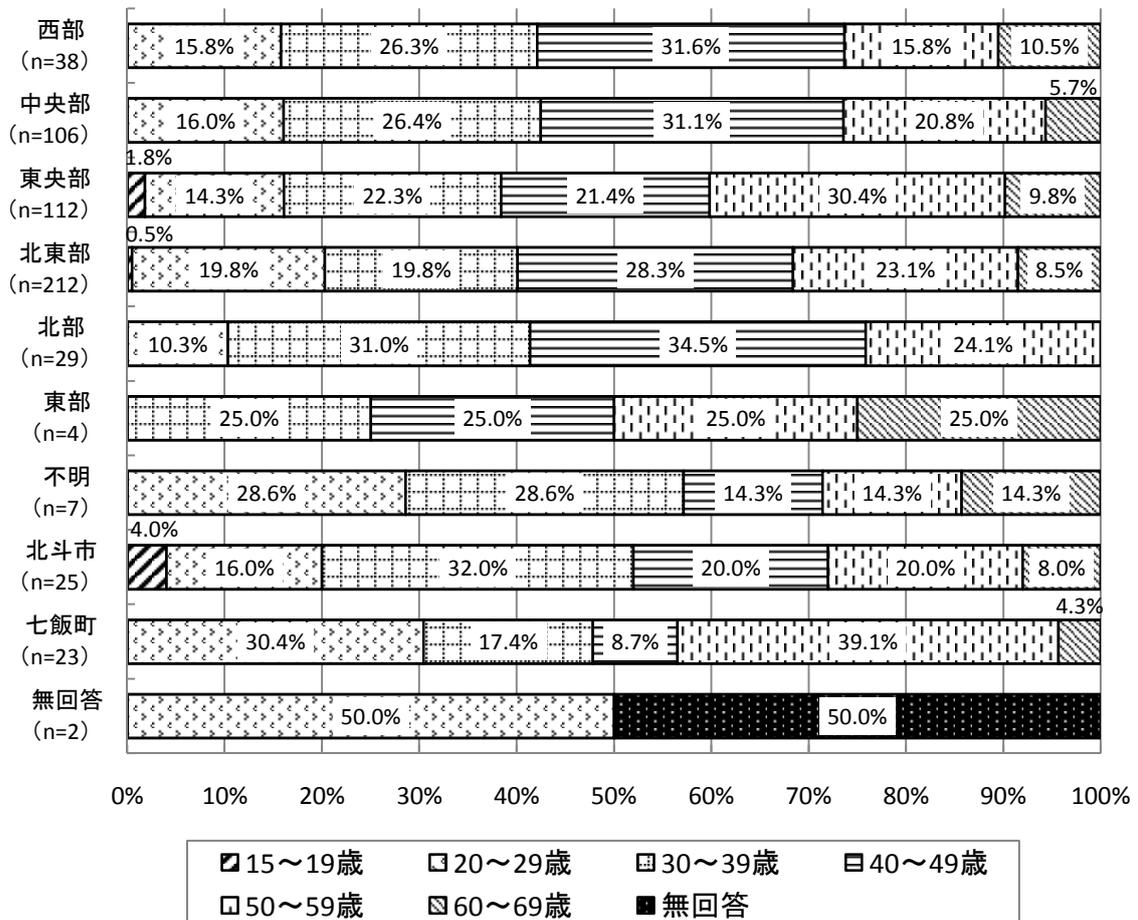


<函館市内地区別>

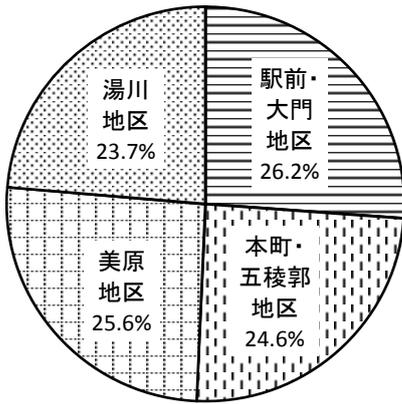


函館市が91.0%を占め、その内訳では、北東部地区が41.7%と最も高く、次いで東央部地区が22.0%となっており、本市の地域別の人口構成に近似した結果となっている。

<居住地別>

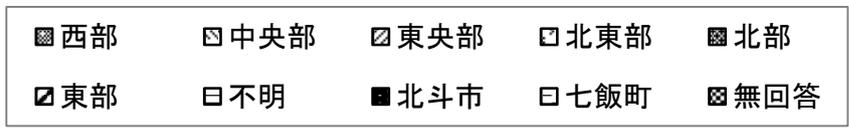
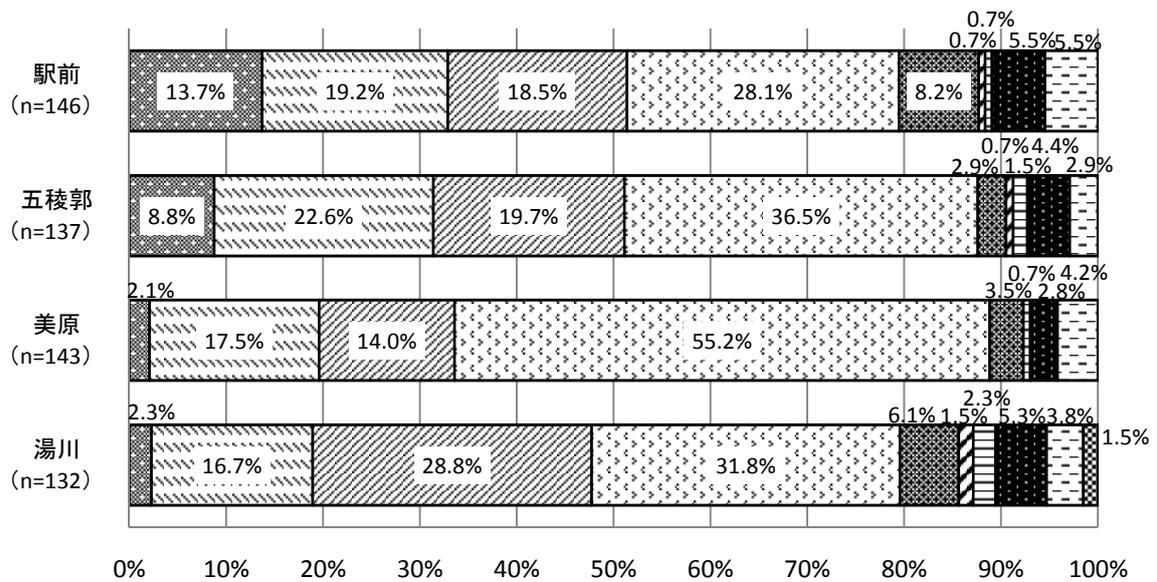


問1-4 勤務地 (n=558)

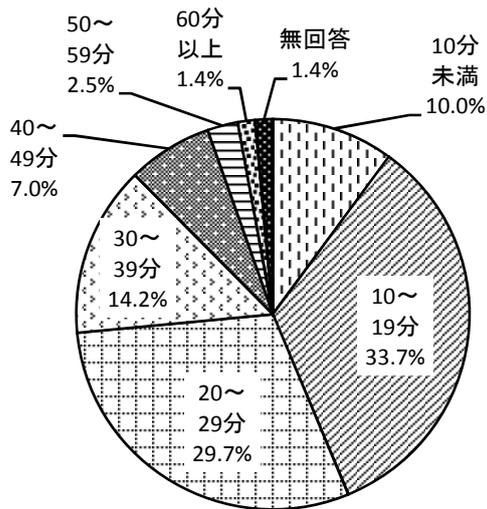


勤務地別の居住地については、4地区で比較すると、駅前・大門地区で西部地区、本町・五稜郭地区で中央部地区、美原と湯川地区で北東部地区の割合が高くなっている。

<勤務地別居住地>



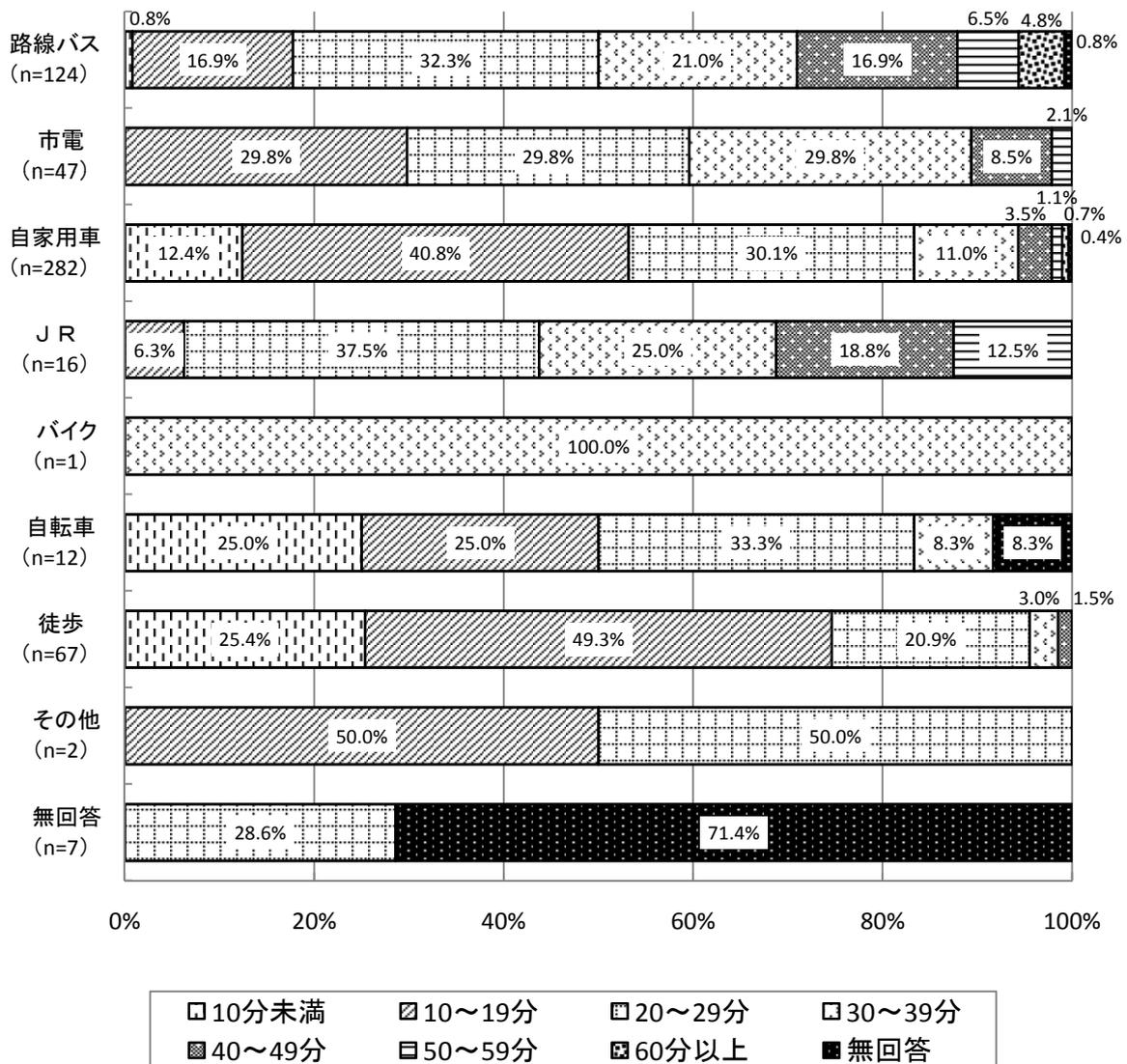
問1-5 通勤に要する時間（片道） (n=558)



10～19分が33.7%と最も高くなっている。

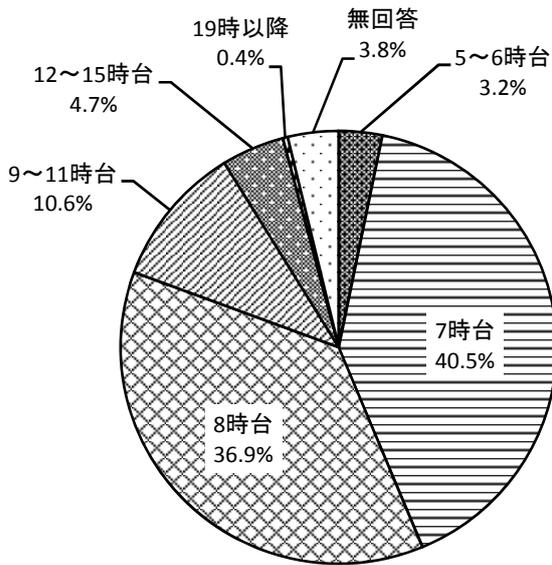
移動手段別でみると、自家用車利用者は50%以上が20分未満であるのに対し、路線バスや市電，JR利用者については、20分以上が70%以上となっており、自家用車に比べて移動時間が長くなっている。

<移動手段別>



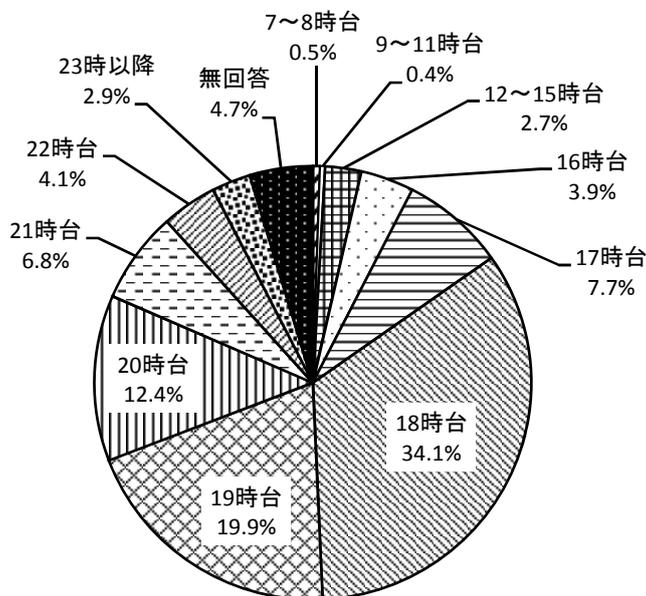
問1-6 普段の平均的な出発時刻と帰宅時刻 (n=558)

<出発>



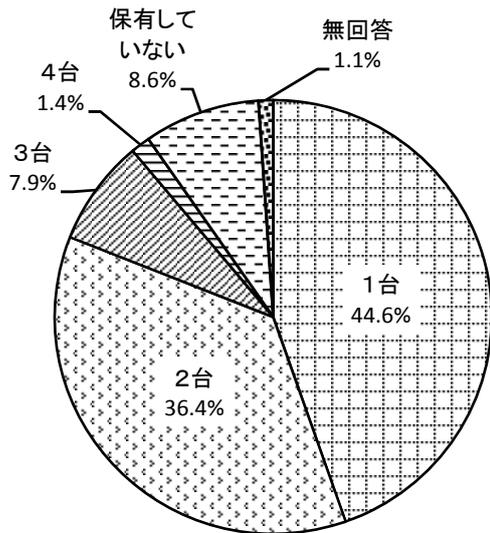
7時台が40.5%、8時台が36.9%となっており、合わせて全体の77.4%を占めている。

<帰宅>



18時台が34.1%と最も高く、19時台の19.9%と合わせて全体の半数を超えている。

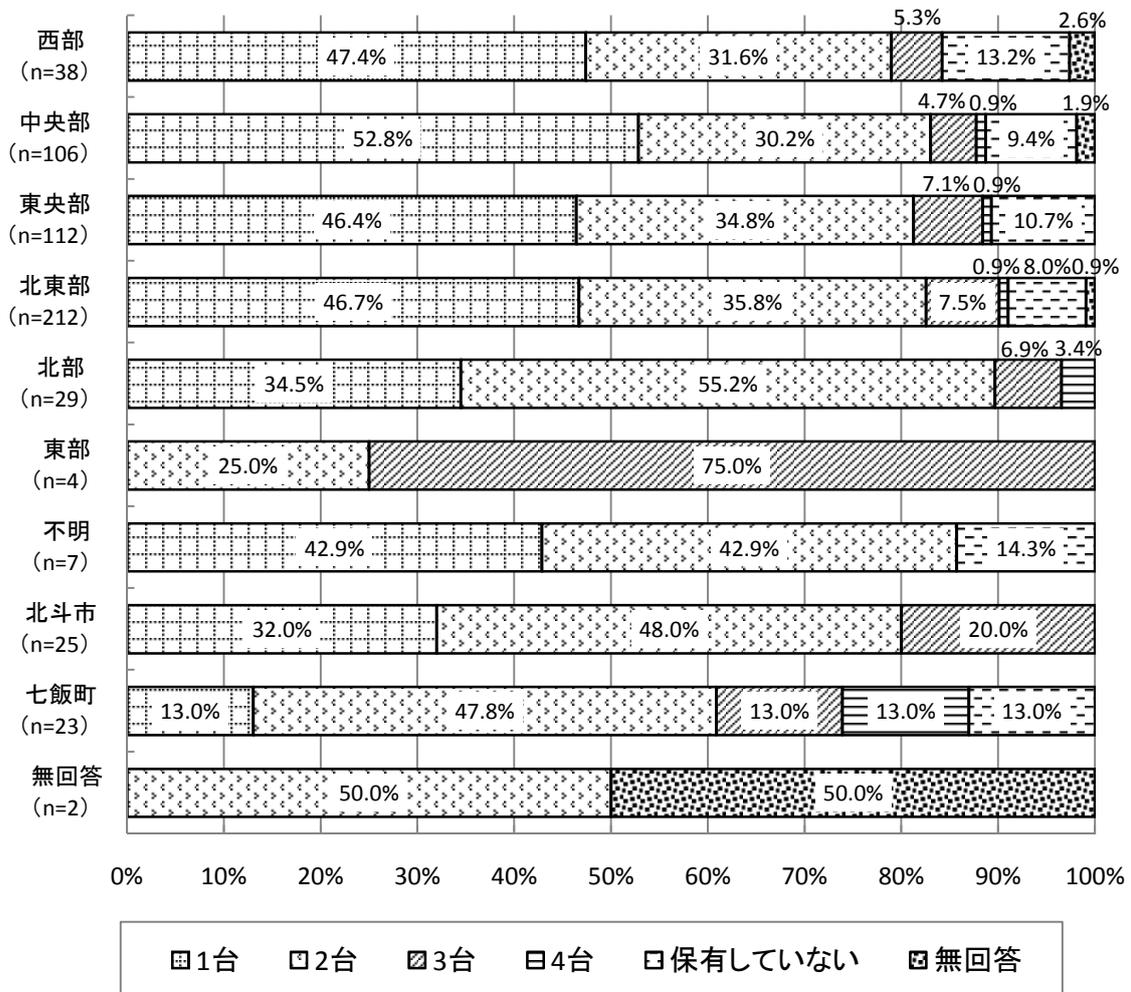
問1-7 自家用車の保有台数 (n=558)



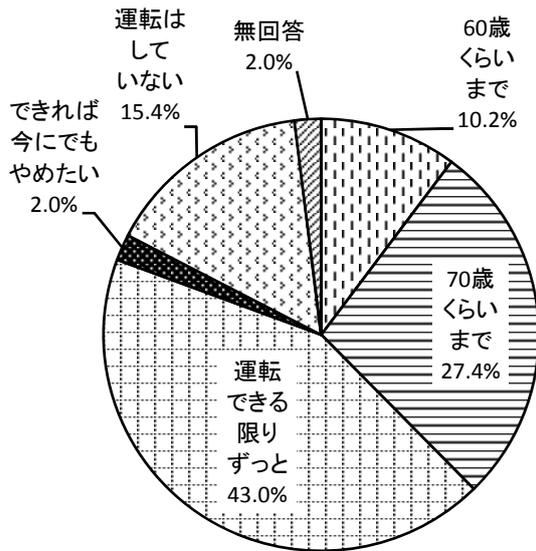
自家用車の保有率は90%以上と非常に高く、複数台の保有率も40%以上となっている。

居住地別で見ると、特に北部地区や東部地区、市外では複数台の保有が多くなっている。

<居住地別>



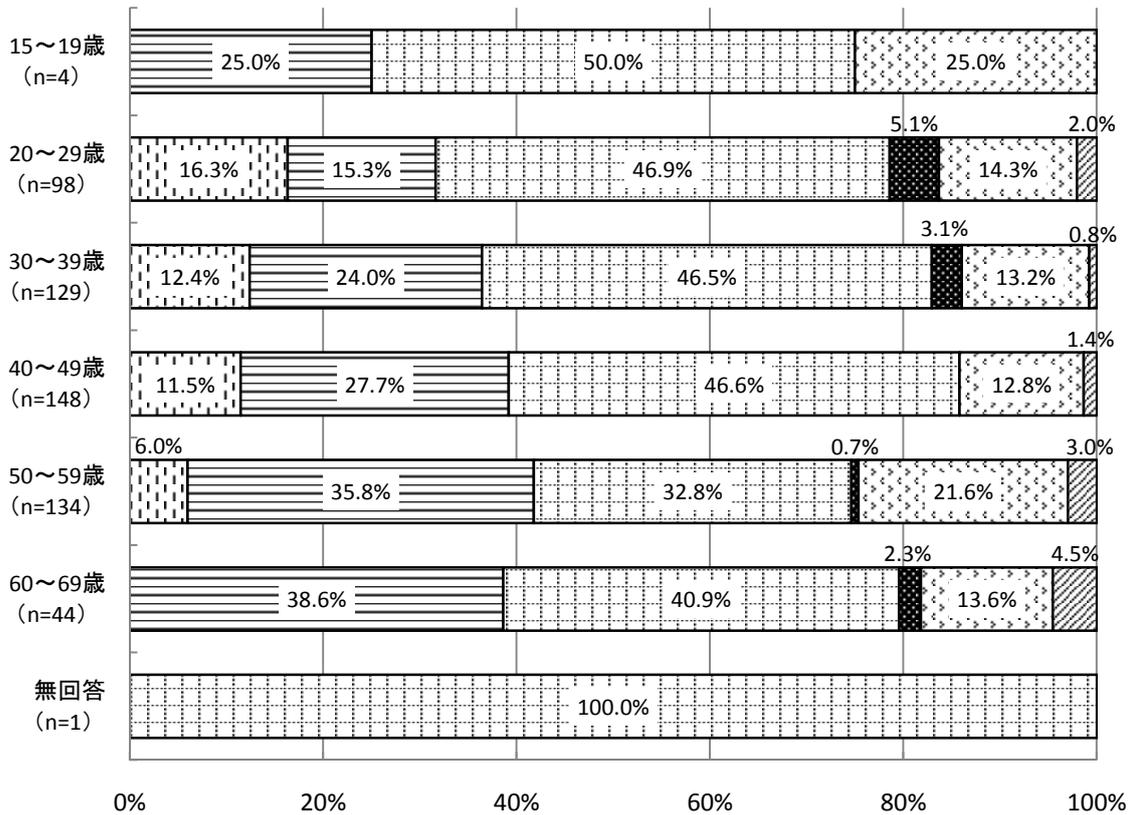
問1-8 いつまで運転を続けたいか (n=558)



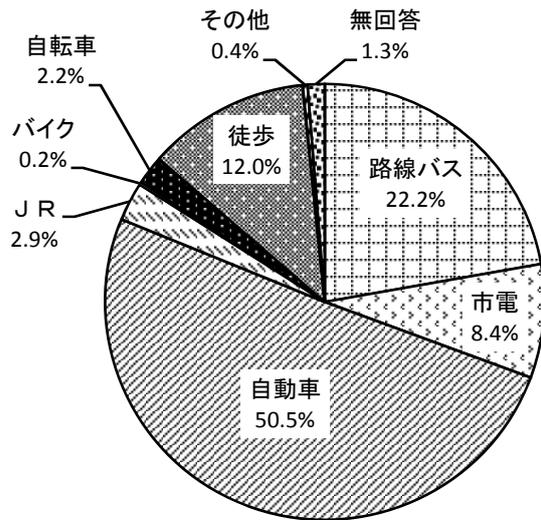
「運転できる限りずっと」が43.0%と最も高くなっている。

年代別でみると、60歳代で「70歳くらいまで」とした人が38.6%、50歳代で「60歳くらいまで」と「70歳くらいまで」とした人を合わせると41.8%となっている。

<年代別>



問1-9 通勤時の主な移動手段 (n=558)

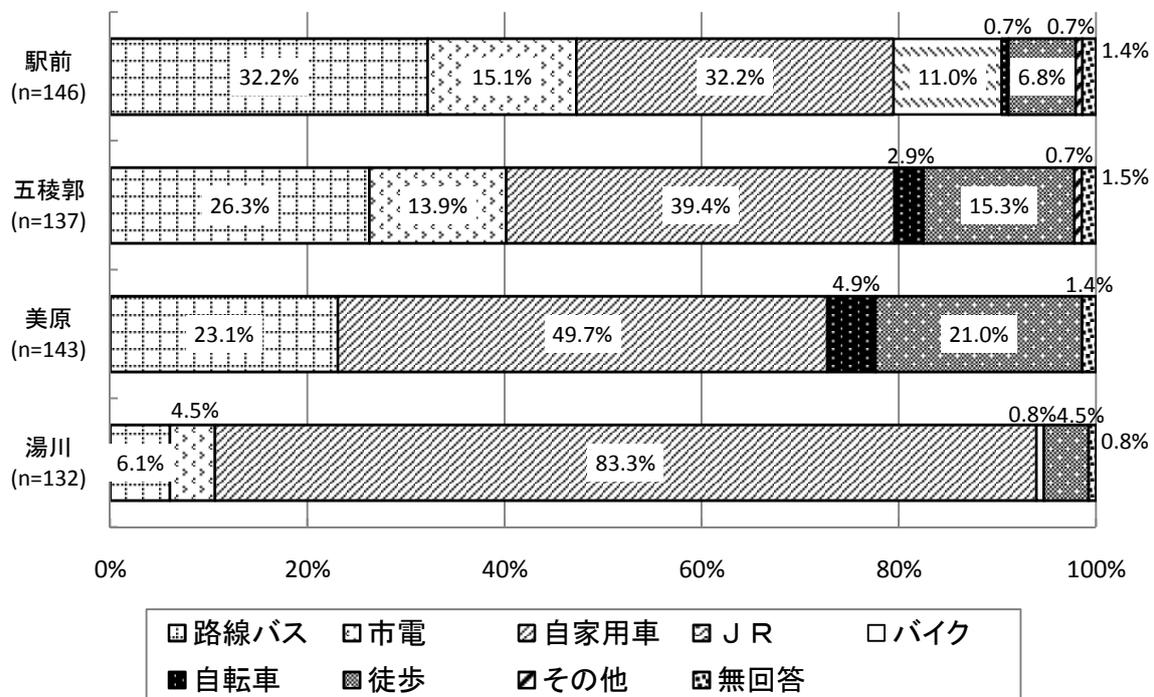


自動車が最も高く50.5%となっているが、路線バスと市電、JRを合わせた公共交通の利用も33.5%となっている。

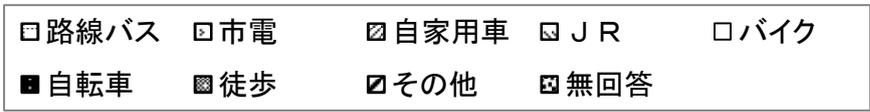
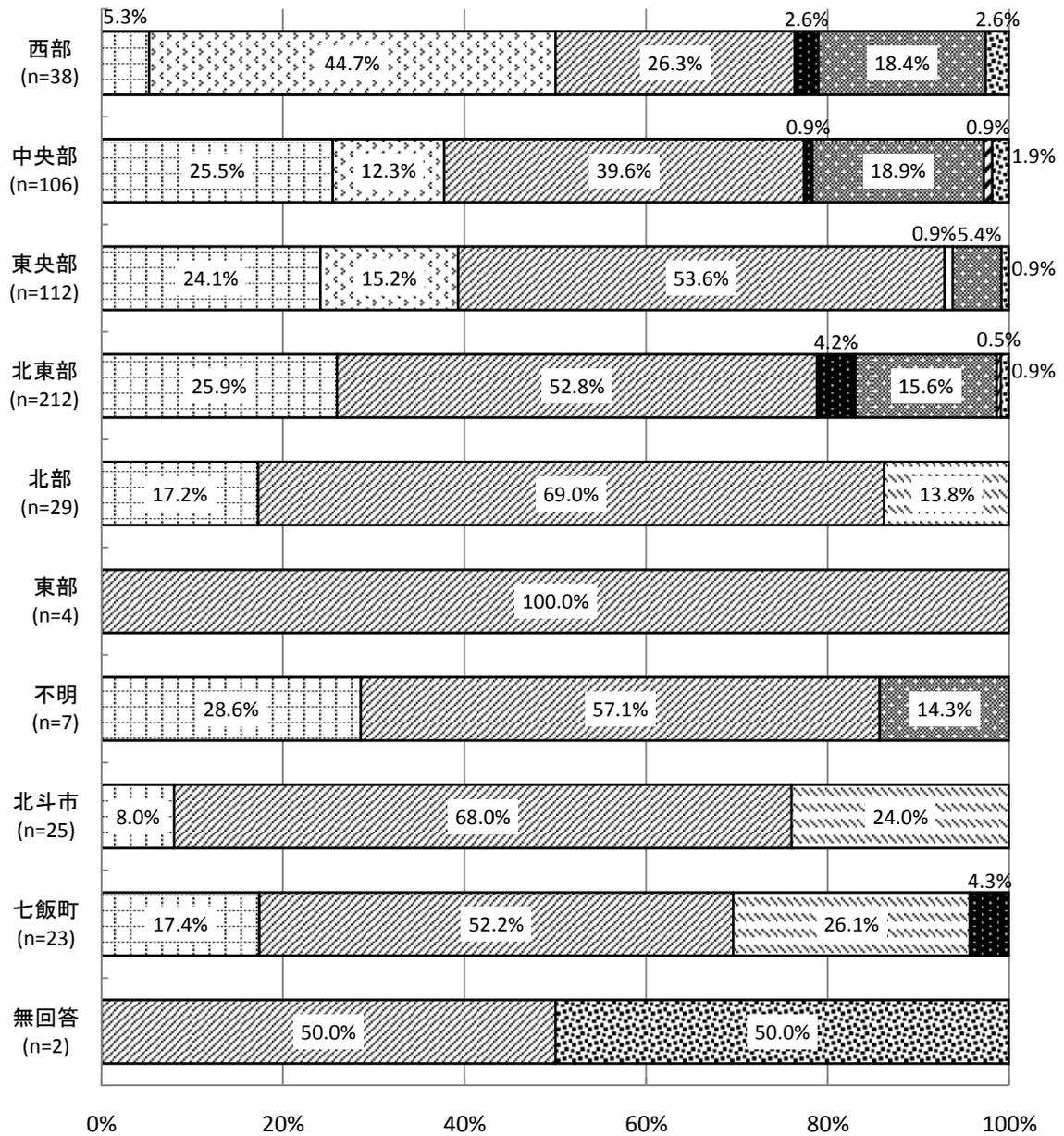
勤務地別でみると、駅前では60%近くが公共交通を利用しているが、五稜郭では約40%と、自家用車とほぼ同程度の割合であり、美原では約50%、湯川では80%以上が自家用車を利用している。

居住地別でみると、西部地区では約半数が市電と路線バスを利用しているが、北部地区をはじめ東中部地区・北東部地区では50%以上が自家用車を利用している。また、北斗市・七飯町ではJRの利用も多くなっている。

<勤務地別>



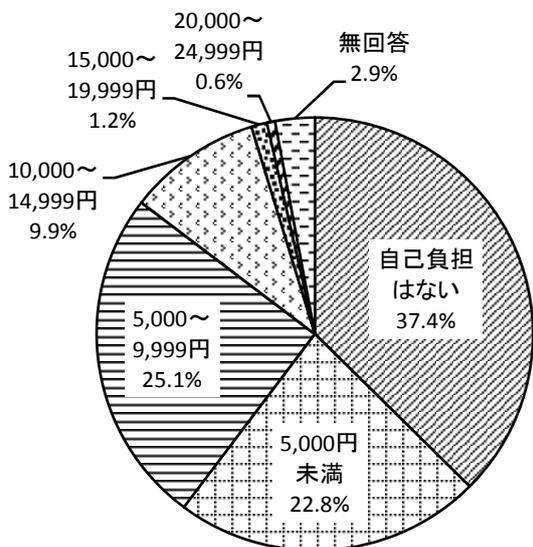
<居住地別>



## 2 「路線バス」「市電」での通勤状況

問2 「路線バス」または「市電」で通勤されている方にお聞きします。

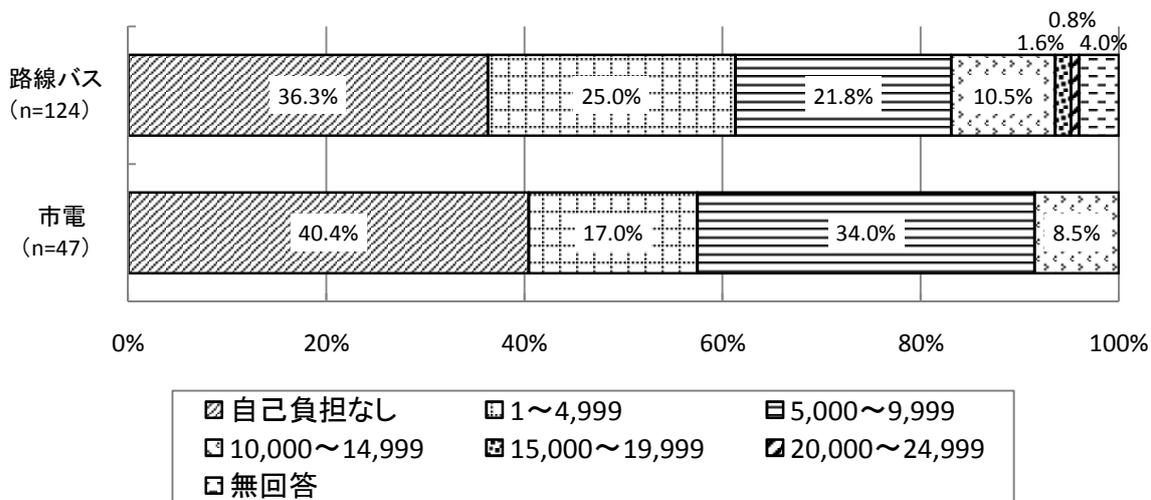
問2-1 1ヶ月の通勤にあなたが負担している費用（通勤手当を除く）はどのくらいですか。（n=171）



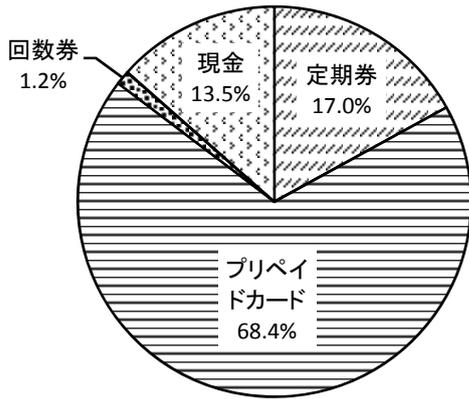
「自己負担はない」が37.4%と最も高く、「5,000～9,999円」が25.1%、「5,000円未満」が22.8%となっており、10,000円以上の負担は10%程度となっている。

移動手段別で見ると、バスでの負担割合が市電よりやや高くなっている。

### <移動手段別>

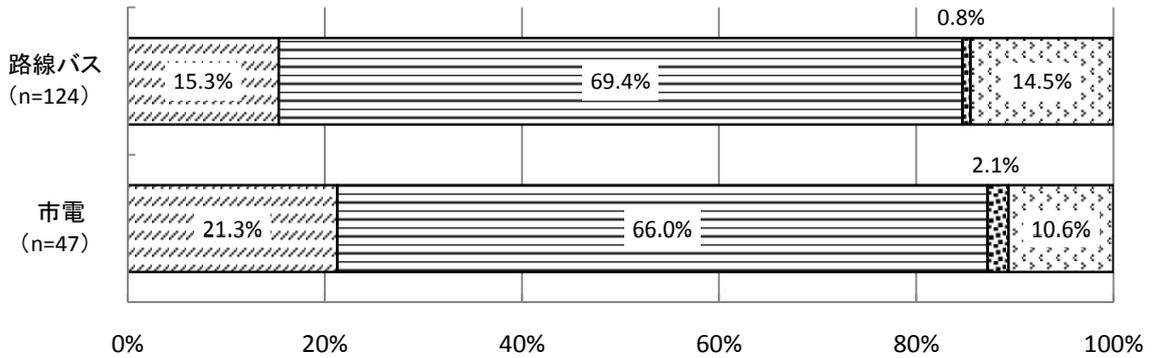


問2-2 運賃の支払い方法は何ですか。(n=171)



プリペイドカードが68.4%と最も高く、定期券が17.0%、現金が13.5%となっている。

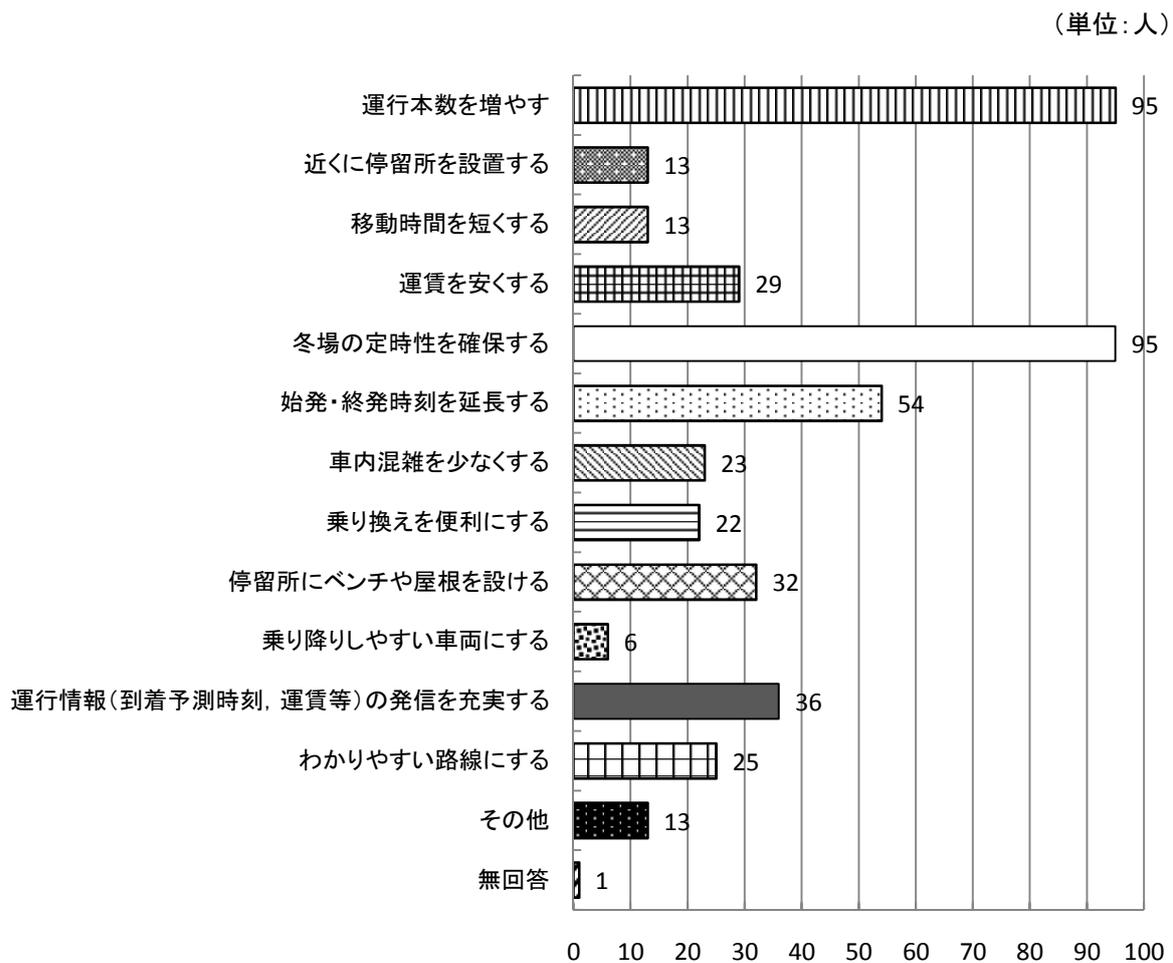
<移動手段別>



■ 定期券 ■ プリペイドカード ■ 回数券 ■ 現金 ■ 無回答

問2-3

路線バスや市電をもっと利用しやすくするために必要だと思うのは何ですか。(3つまで) (n=457)



※その他の内容

- ・路線の延長(1)
- ・等間隔での運行などバランス良い時刻表にすべき(1)
- ・夜の便を増やす(1)
- ・年末年始の出勤があるので, 運休だと何かと不便である(1)
- ・均一料金(1)
- ・学割カード同様に会社員向けの割安なカードの発行(1)
- ・5,000円以上のプリカを作って欲しい(1)
- ・コンビニ等の自動発券機でカードを買いやすくして欲しい(1)
- ・運賃精算の時間短縮, ICカードの導入(2)
- ・行き先のバス停名がわからない(1)
- ・冬場の停留所の乗り降り(滑る, 大雪)(1)
- ・車内の送風, 除湿などもっと細やかだと助かる(1)

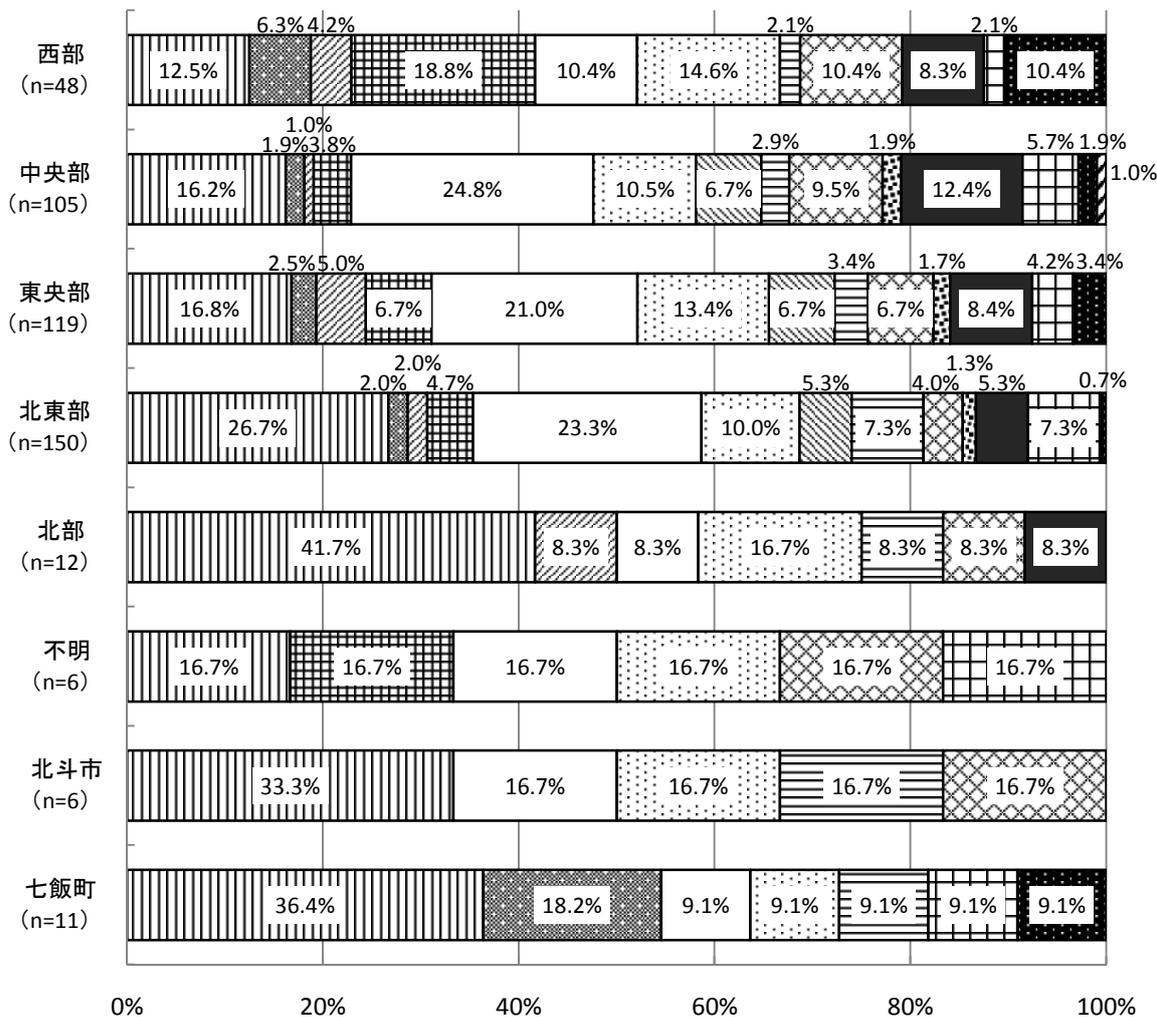
「運行本数を増やす」, 「冬場の定時性を確保する」が最も多くなっている。

また, 「停留所にベンチや屋根を設ける」, 「運行情報の発信を充実する」といった待合環境の改善に対する要望も多くなっている。

居住地別でみると, 最も多い回答は, 西部地区では「運賃を安くする」, 中央部地区, 東中部地区では「冬場の定時性を確保する」, 北東部地区, 北部地区では「運行本数を増やす」となっており, 地区によって異なっている。

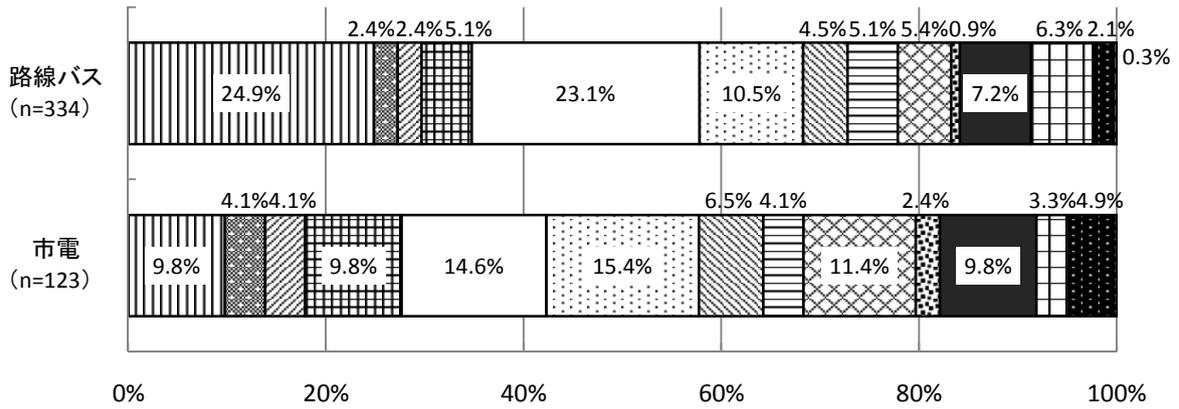
移動手段別でみると, 最も多い回答は, 路線バスでは「運行本数を増やす」で, 市電では「始発・終発時刻を延長する」となっている。

<居住地別>



- 運行本数を増やす
- 近くに停留所を設置する
- 移動時間を短くする
- 運賃を安くする
- 冬場の定時性を確保する
- 始発・終発時刻を延長する
- 車内混雑を少なくする
- 乗り換えを便利にする
- 停留所にベンチや屋根を設ける
- 乗り降りしやすい車両にする
- 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の発信を充実する
- わかりやすい路線にする
- その他
- 無回答

<移動手段別>

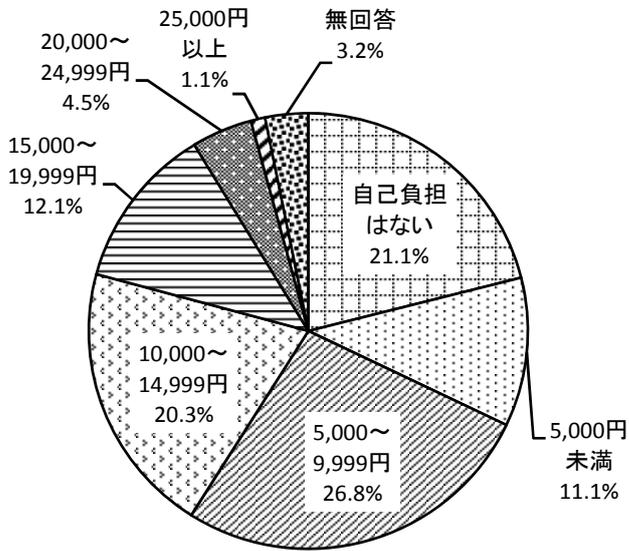


- ☐ 運行本数を増やす
- 近くに停留所を設置する
- ▨ 移動時間を短くする
- ▩ 運賃を安くする
- 冬場の定時性を確保する
- 始発・終発時刻を延長する
- ▨ 車内混雑を少なくする
- 乗り換えを便利にする
- ▨ 停留所にベンチや屋根を設ける
- ▨ 乗り降りしやすい車両にする
- 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の発信を充実する
- わかりやすい路線にする
- その他
- ▨ 無回答

### 3 「路線バス」「市電」以外での通勤状況

問3 「路線バス」「市電」以外で通勤されている方にお聞きます。

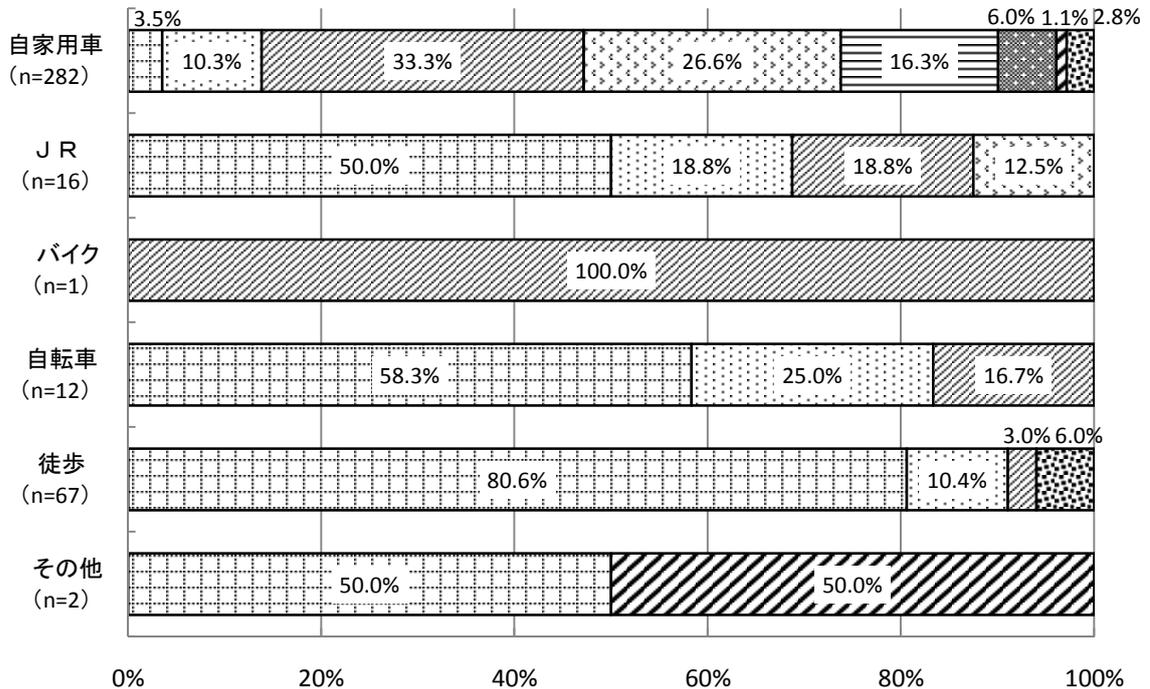
問3-1 1ヶ月の通勤にあなたが負担している費用（通勤手当を除く）はどのくらいですか。（駐車代金含む）（n=380）



「5,000～9,999円」が26.8%と最も高く、さらに10,000円以上を負担している割合は約40%を占めており、路線バス・市電利用者と比較すると負担が大きくなっている。

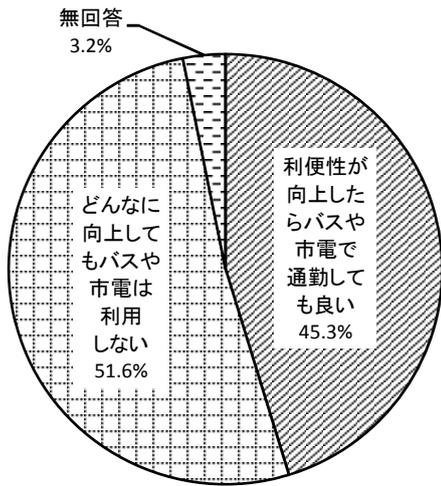
移動手段別でみると、自家用車では10,000円以上を負担している割合が半数を占めている。

#### <移動手段別>



問3-2

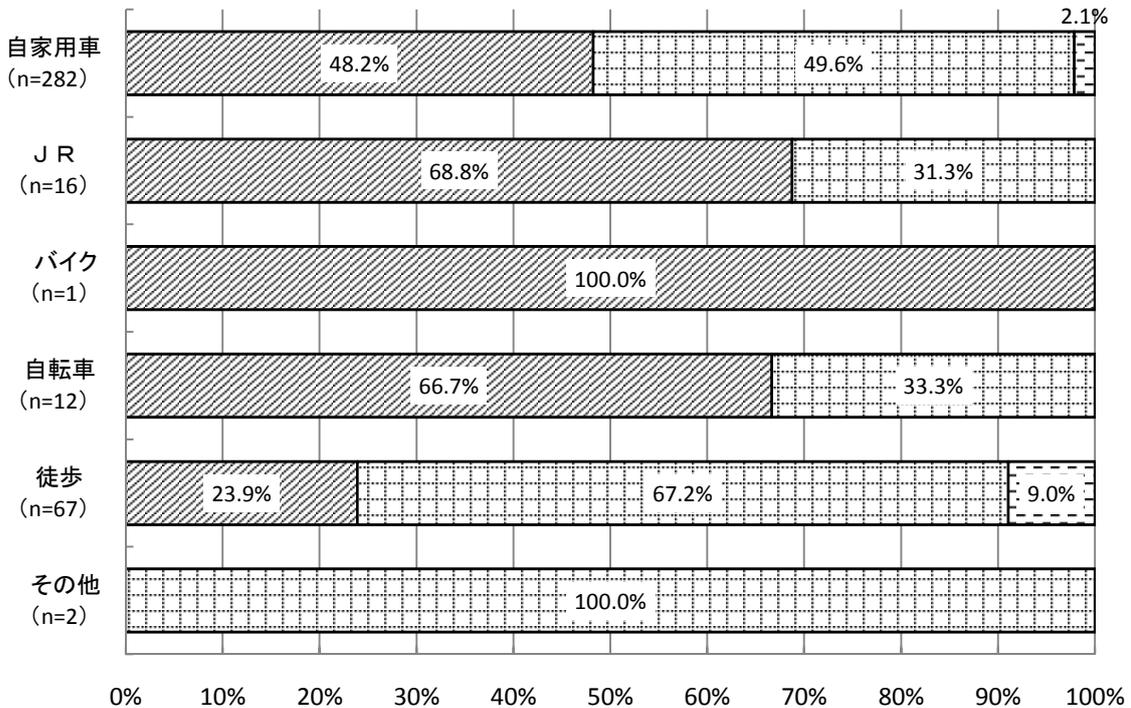
いまの通勤手段から路線バスや市電に転換することは可能ですか。  
(n=380)



「どんなに利便性が向上してもバスや市電は利用しない」が51.6%となっているが、一方で「利便性が向上したらバスや市電で通勤しても良い」が45.3%となっている。

移動手段別でみると、「利便性が向上したらバスや市電で通勤しても良い」は、自家用車が48.2%、JRが68.8%、自転車が66.7%となっている。

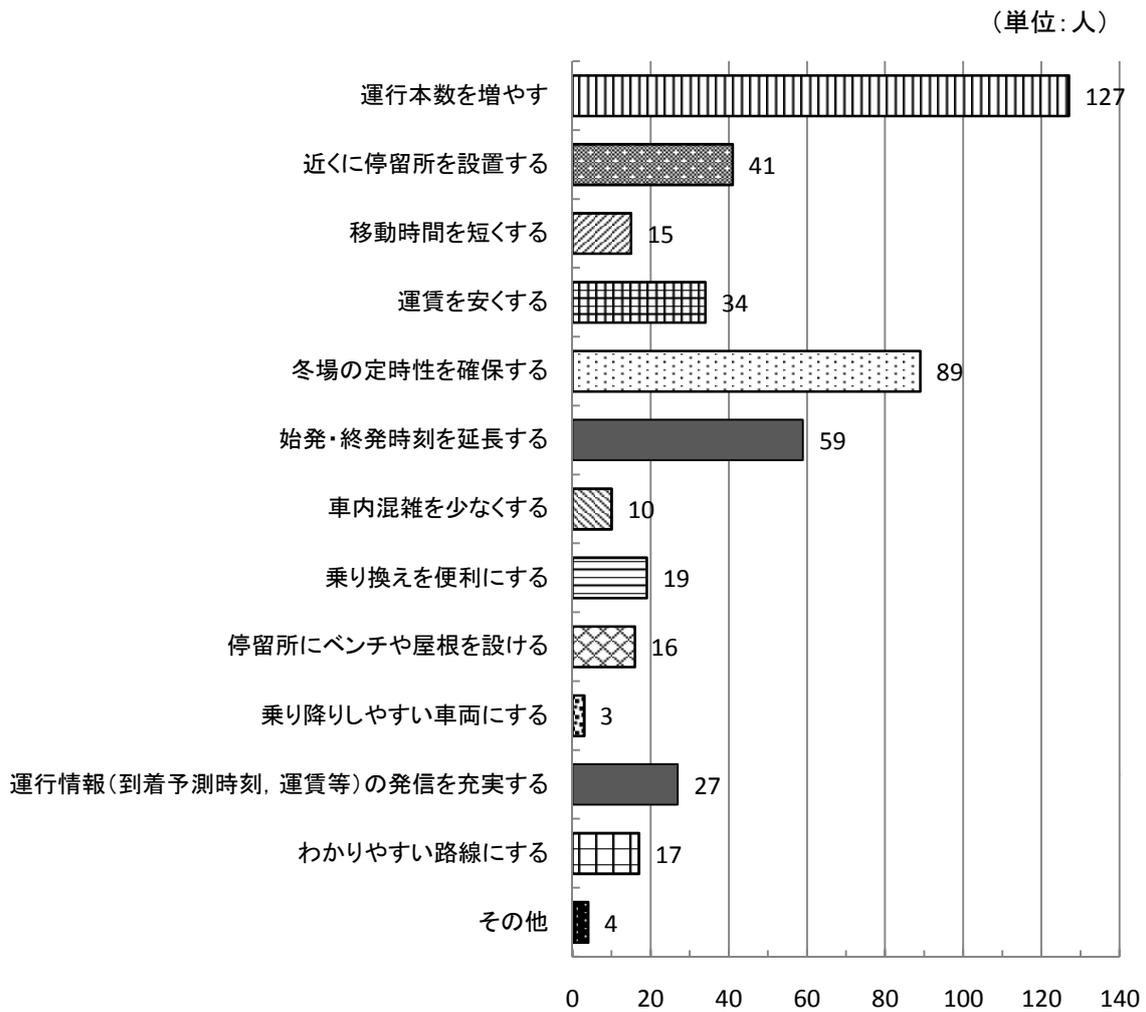
<移動手段別>



利便性が向上したらバスや市電で通勤しても良い     
  どんなに向上してもバスや市電は利用しない     
  無回答

問3-3

どのようなことが向上（改善）されたら、路線バスや市電で通勤しても良いと思いますか。（3つまで）（n=461）



※その他の内容

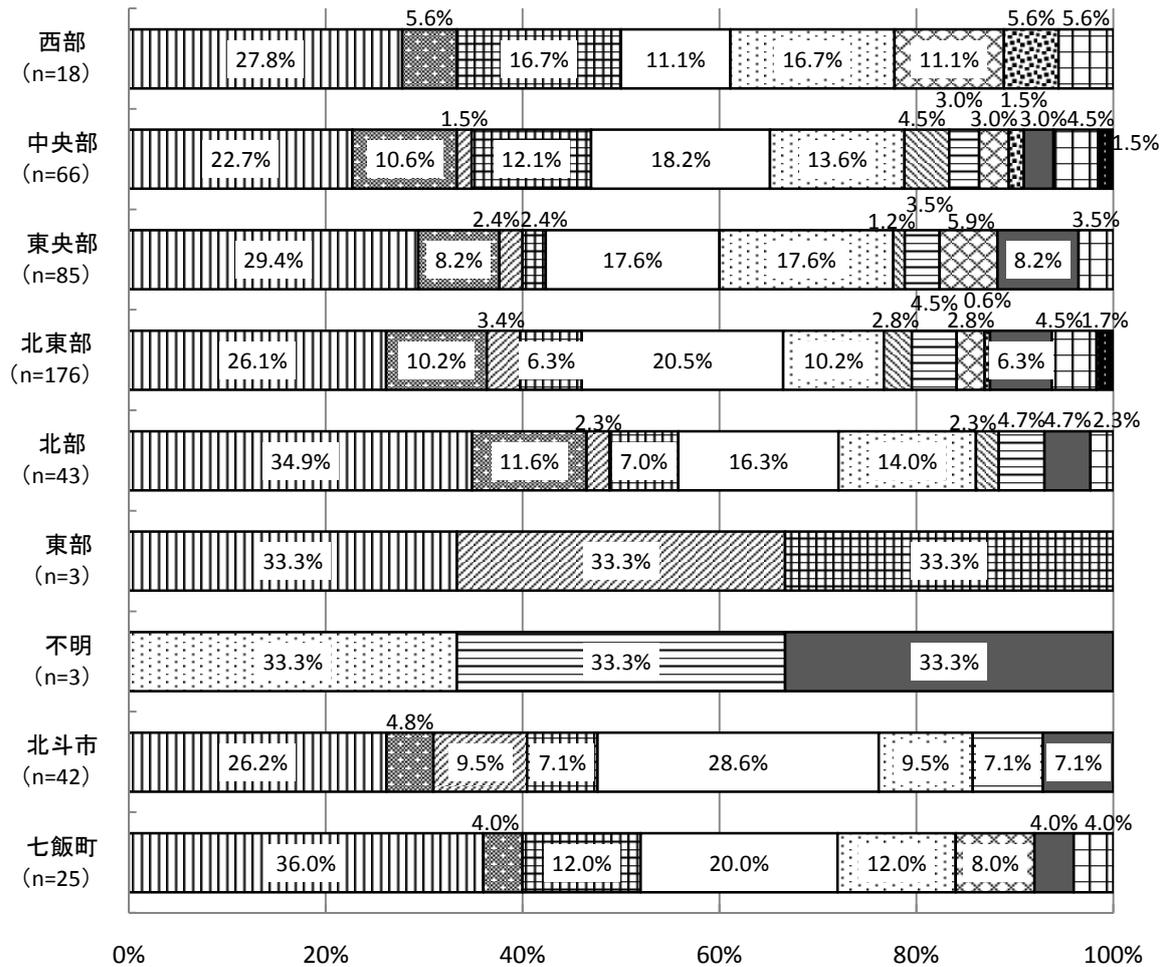
- ・利便性のある路線にする(1)
- ・運行路線の充実(1)
- ・ちょうど良いバス時刻があれば乗りたい(1)
- ・通勤時間にあるのなら(1)

「運行本数を増やす」が最も多く、次いで「冬場の定時性を確保する」，「始発・終発時刻を延長する」の順となっており，路線バス・市電利用者の回答と同傾向となっている。路線バス・市電利用者の回答では少なかった「近くに停留所を設置する」，「運賃を安くする」が比較的多くなっている。

居住地別でも、全ての地区で「運行本数を増やす」が最も多くなっている。

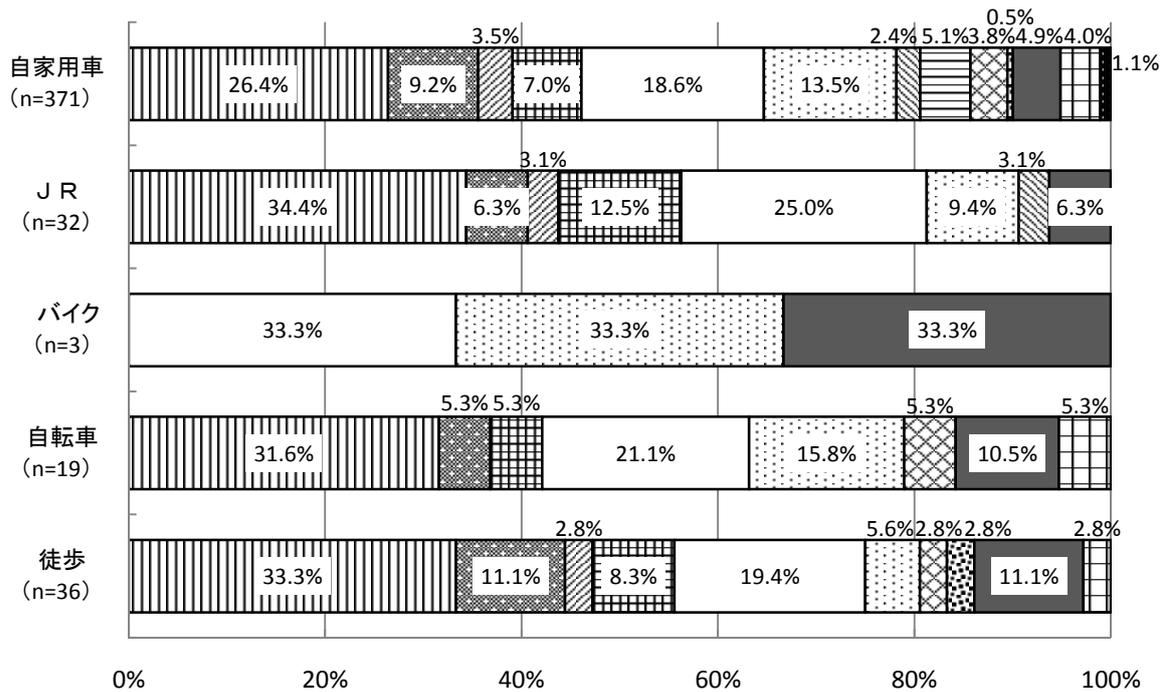
移動手段別でも、ほとんどの手段で、「運行本数を増やす」が最も多くなっている。

<居住地別>



- 運行本数を増やす
- 近くに停留所を設置する
- 移動時間を短くする
- 運賃を安くする
- 冬場の定時性を確保する
- 始発・終発時刻を延長する
- 車内混雑を少なくする
- 乗り換えを便利にする
- 停留所にベンチや屋根を設ける
- 乗り降りしやすい車両にする
- 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の発信を充実する
- わかりやすい路線にする
- その他

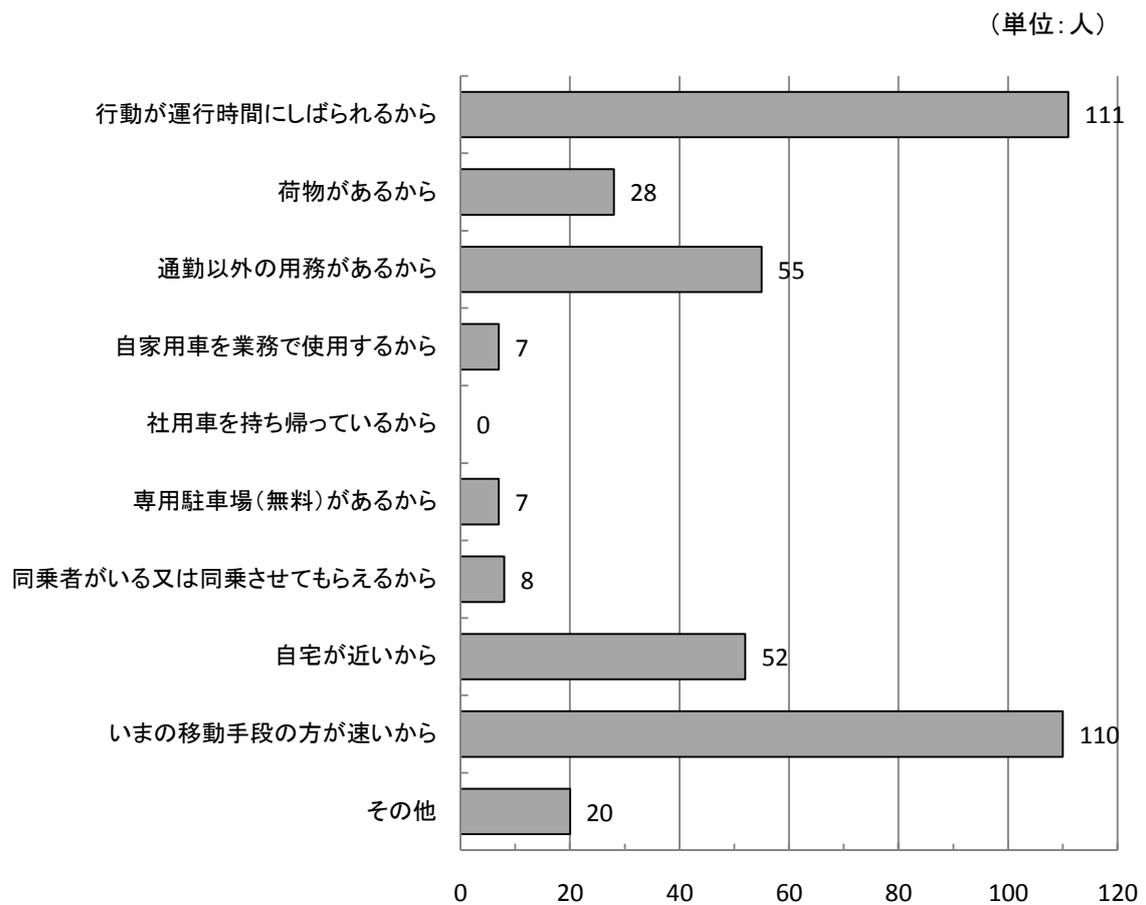
<移動手段別>



- 運行本数を増やす
- 近くに停留所を設置する
- 移動時間を短くする
- 運賃を安くする
- 冬場の定時性を確保する
- 始発・終発時刻を延長する
- 車内混雑を少なくする
- 乗り換えを便利にする
- 停留所にベンチや屋根を設ける
- 乗り降りしやすい車両にする
- 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の発信を充実する
- わかりやすい路線にする
- その他

問3-4

「どんなに向上（改善）しても路線バスや市電は利用しない」を選択した理由は何ですか。（3つまで）（n=398）



「行動が運行時間にしばられるから」，「いまの移動手段の方が速いから」が多くなっており，次いで「通勤以外の用務があるから」となっている。

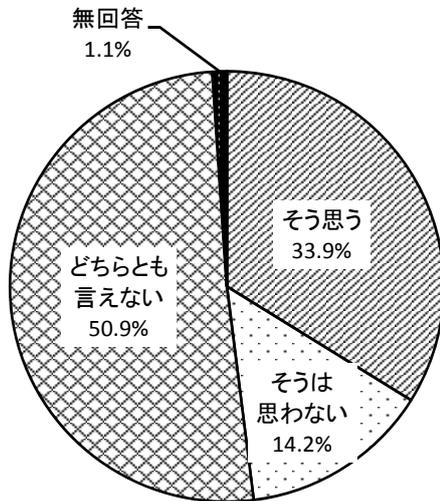
※その他の内容

- ・停留所まで遠いから(3)
- ・通勤手当が出ないから(2)
- ・運賃がかかるから(1)
- ・バスを待つのが辛い(1)
- ・車内の混雑，遠回りになる(1)
- ・歩く区間が増えるから(1)
- ・勤務に影響があるから(1)
- ・運動も兼ねているから(1)
- ・利用する必要がないから(1)
- ・バスや市電が好きでないから(1)
- ・便利だから(1)
- ・定時運行の限界性を感じるから(1)
- ・冬期間のダイヤの乱れが激しく使えない(1)
- ・冬にバスが遅れたりして仕事に差し支えるから(1)
- ・高齢者が居て，バス停等に徒歩は無理だから(1)
- ・函館市外に住んでいるから(1)
- ・身体が不自由だから(1)

## 4 交通施策に対する意識

問4 交通問題等に対するお考えをお聞かせください。

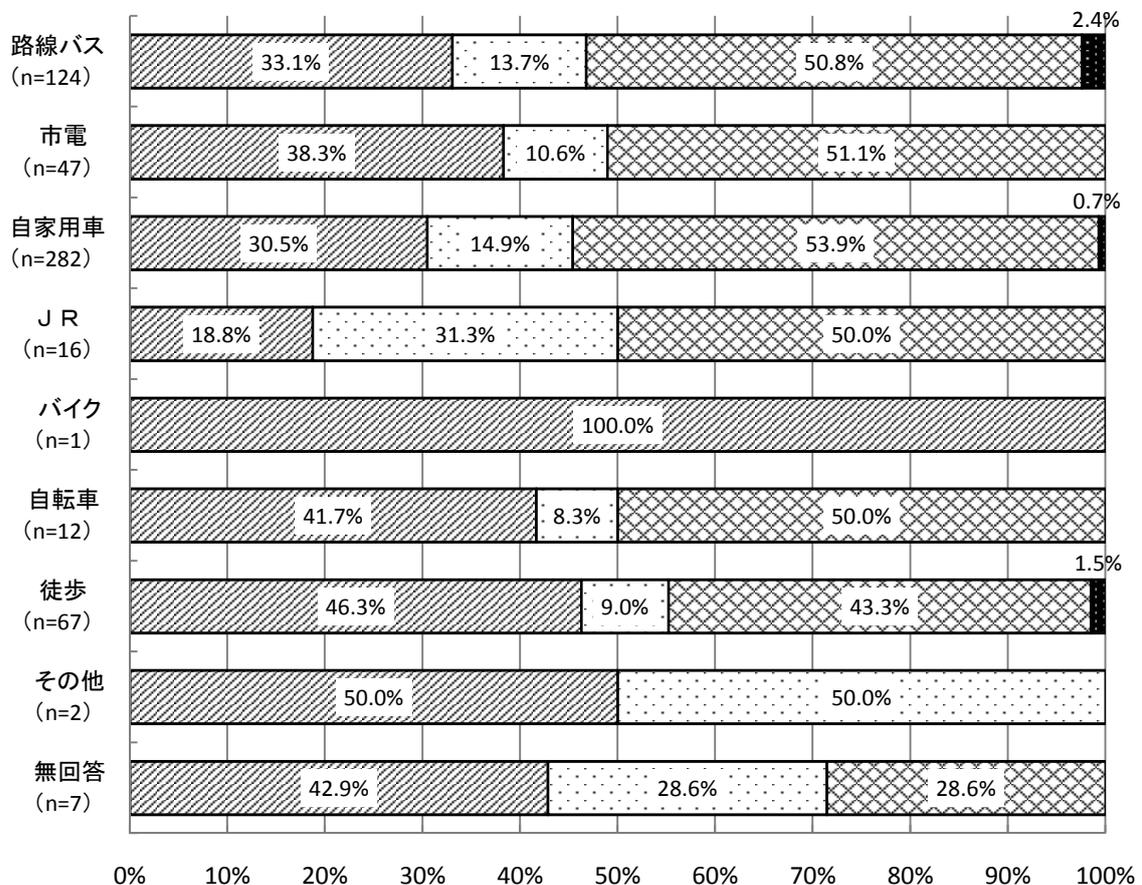
問4-1 自動車による騒音や二酸化炭素の排出などの環境問題が生じているため、自家用車利用の自粛や公共交通への利用転換のための施策を積極的に進めるべきである。(n=558)



「そう思う」が33.9%となっており、「そうは思わない」の14.2%と比べて高くなっている。

移動手段別で見ると、JRを除いて、「そう思う」が「そうは思わない」を上回っている。

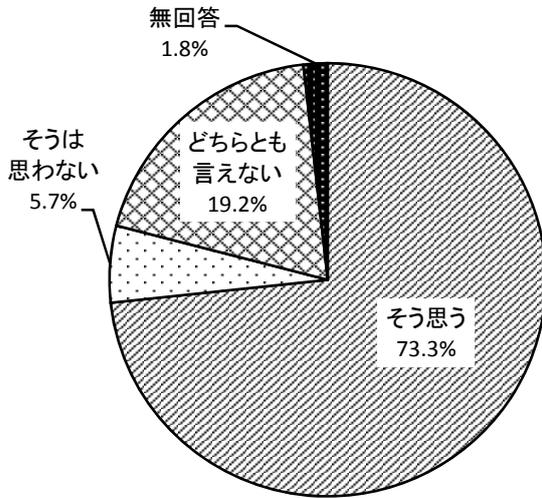
### <移動手段別>



■「そう思う」 □「そうは思わない」 ▨「どちらとも言えない」 ■「無回答」

問4-2

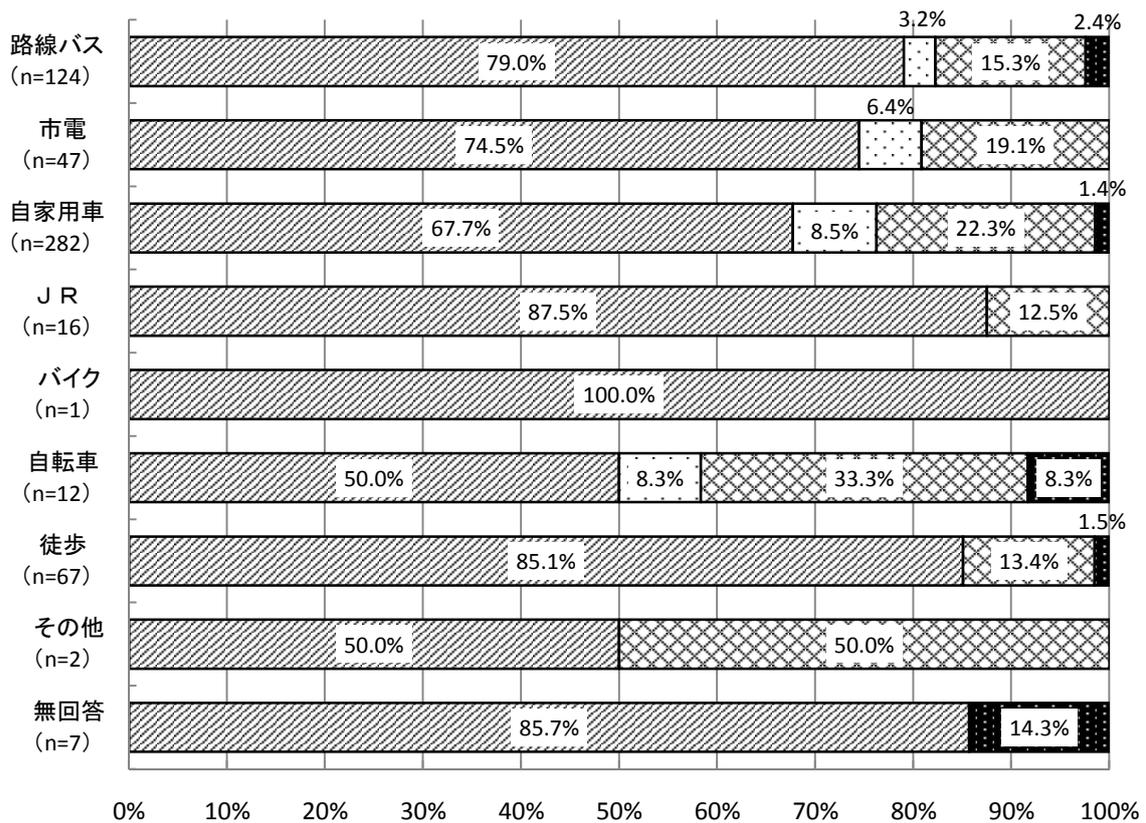
今後、さらなる高齢化の進展により公共交通の重要性が高まると考えられることから、公共交通を将来にわたって維持するため、利便性向上のための基盤整備や利用促進の施策に対し、必要な予算措置を行い、それら施策を積極的に進めるべきである。(n=558)



「そう思う」が73.3%と高くなっており、「そうは思わない」は5.7%と低くなっている。

また、移動手段別でも、同様の傾向となっている。

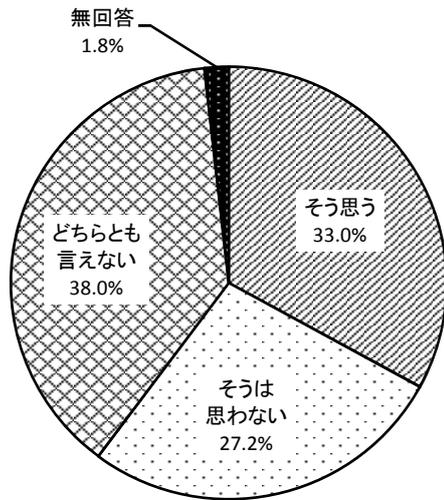
<移動手段別>



■ そう思う □ そうは思わない ▨ どちらとも言えない ■ 無回答

問4-3

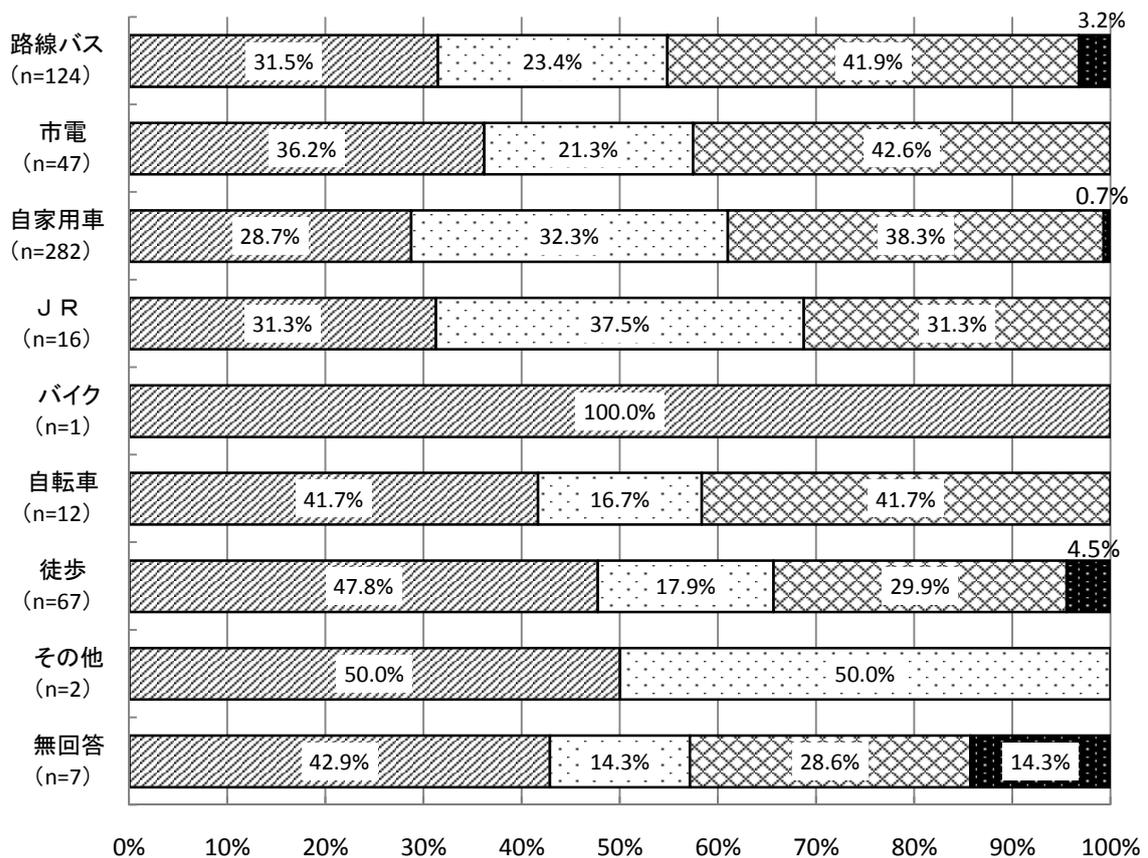
公共交通の利便性を向上させるため、自家用車利用の自粛やバス専用レーン設置など、自家用車利用の制約のための施策を積極的に進めるべきである。(n=558)



「そう思う」が33.0%、「そうは思わない」が27.2%となっている。

移動手段別で見ると、路線バスや市電では、「そう思う」が「そうは思わない」を上回っている。

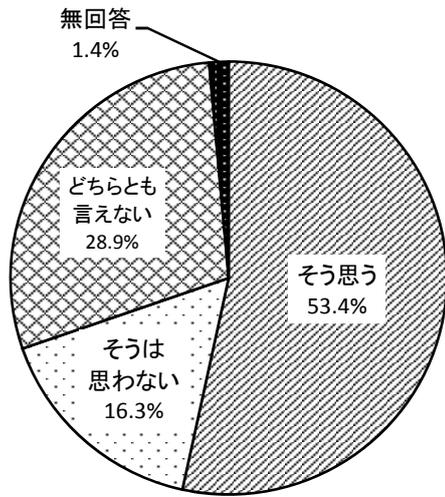
<移動手段別>



■ そう思う □ そうは思わない ▨ どちらとも言えない ■ 無回答

問4-4

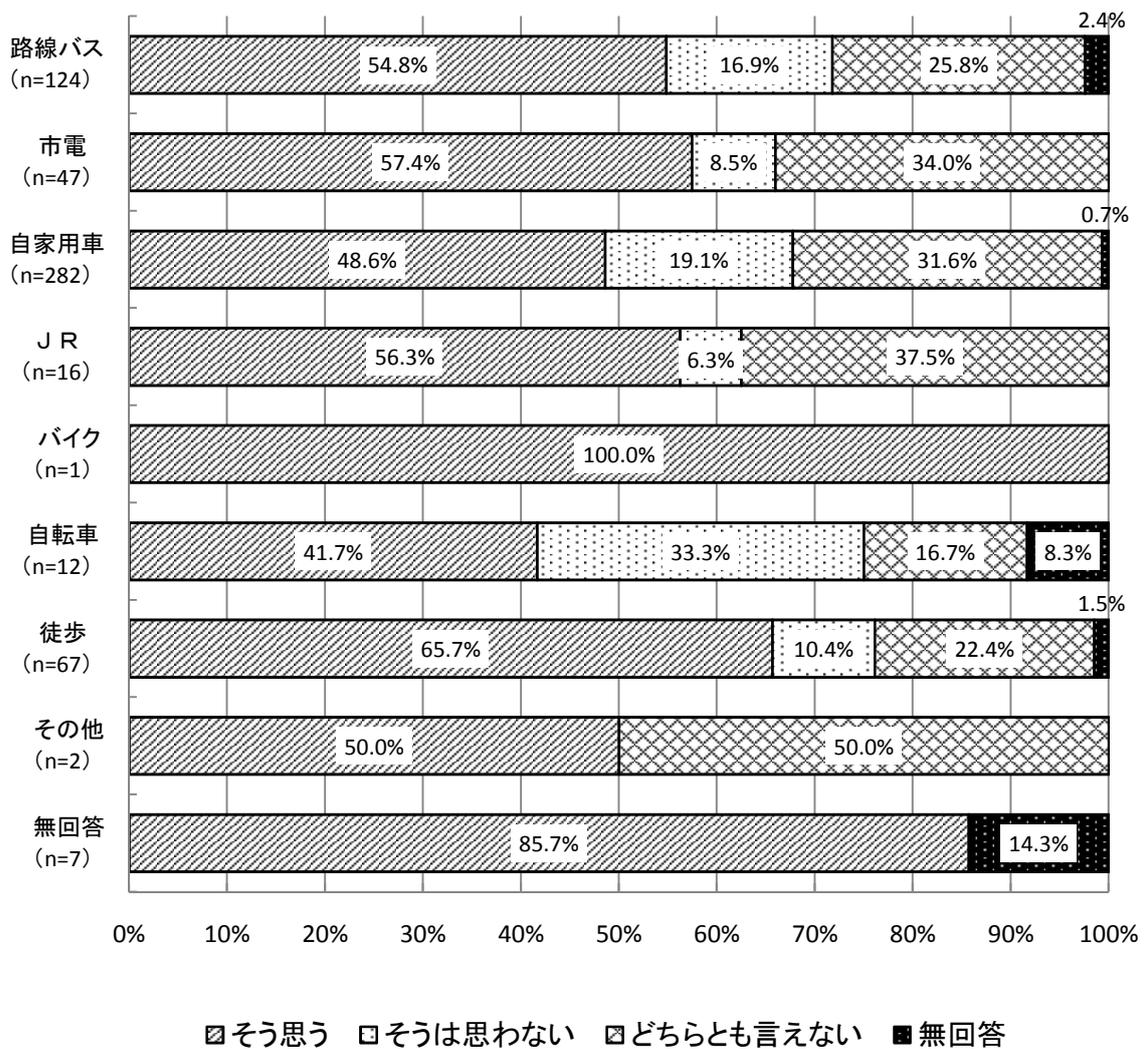
公共交通の利便性や運行効率の向上のためには、駅前や五稜郭などの拠点に、路線バスや市電などの公共交通機関が乗り入れる交通ターミナルなどの整備が必要である。(n=558)



「そう思う」が53.4%となっており、「そうは思わない」の16.3%を大きく上回っている。

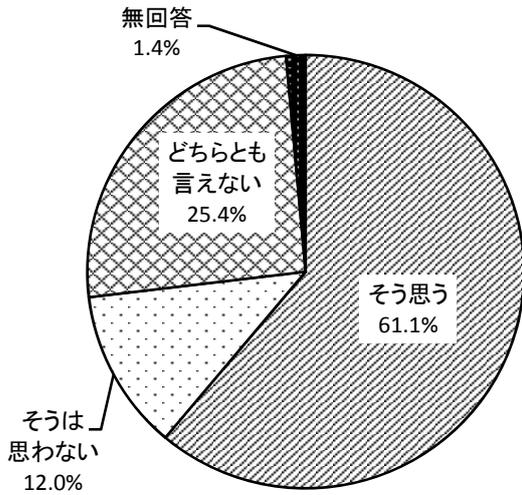
また、移動手段別でも、同様の傾向となっている。

<移動手段別>



問4-5

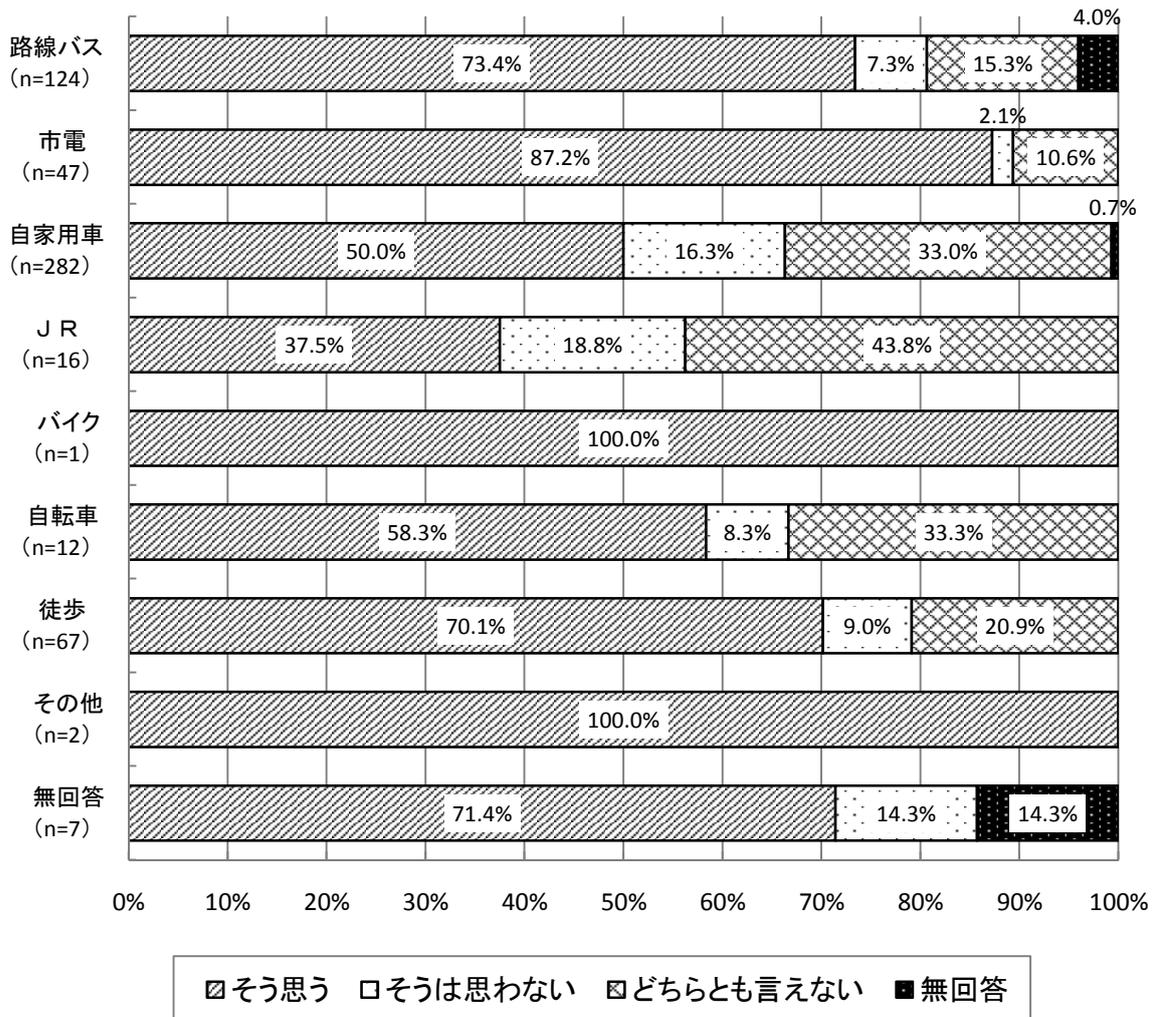
乗り換え環境（快適な待合施設の整備，乗り換えに連動した接続便の設定，乗り換え割引の充実など）が整っていれば，公共交通の乗り換えに対する抵抗感はない。（n=558）



「そう思う」が61.1%となっており、「そうは思わない」の12.0%を大きく上回っている。

また，移動手段別でも，同様の傾向となっており，特に路線バスや市電では，「そう思う」が，それぞれ73.4%，87.2%と高くなっている。

<移動手段別>





## 5 公共交通に関する意見(自由記載) (n=111)

### ○ダイヤに関すること

- ・バスを増便，等間隔で運行して欲しい。
- ・始発・終発時刻を延長（深夜ダイヤを充実）して欲しい。
- ・年末年始にダイヤ変更や運休されると困る。

### ○路線に関すること

- ・路線が複雑でわかりにくい。
- ・リングバス等の利便性が良いバスを運行して欲しい。
- ・市電とバスが同じ路線を運行するのは無駄である。
- ・短い路線で巡回し，さらに乗り換えの接続便と連動していると利用しやすい。
- ・産業道路を境にそれを超える地区は非常に不便である。

### ○市電の延伸に関すること

- ・五稜郭～美原まで延伸して欲しい。
- ・湯川～空港まで延伸して欲しい。

### ○運賃に関すること

- ・均一料金にして欲しい。
- ・運賃を安くして欲しい。
- ・市民が気軽に利用できる便利さと料金設定であればお客様も増えると思う。

### ○定時性に関すること

- ・冬場の定時性を強化して欲しい。
- ・長い区間を走行する路線バスは冬場に遅れが出るので改善して欲しい。
- ・市電だと短時間の間隔で，とても正確に来るのが良い。

### ○利用環境に関すること

- ・雨・風が防げるよう待合環境を充実させると多少（10分位）は待てます。
- ・ICカードを使えるようにして欲しい。
- ・以前，五稜郭病院には屋根付きベンチがあったが無くなった。病院前，図書館前にはあると便利である。
- ・冬場のバス停で，乗降時，大きな水たまりがあったり，雪でバスが歩道に寄れなかったりして，とても乗降しにくい。冬場にこそ短い区間でもバス利用したいと思うが，乗降時の足元の悪さが嫌だ。バス利用をためらう一因となっている。

### ○車両に関すること

- ・乗降者の少ない時間など，車両を小型化して本数を多くするなど工夫すべき。（2）
- ・ノンステップバスを増やすべき。
- ・通勤，通学で乗客が多い時間帯にノンステップバスはやめて欲しい。

### ○乗り換えに関すること

- ・市電や路線バスの乗り継ぎ制度の情報が不十分でわからない。
- ・乗り継ぎのバス時刻が合わず不便である。
- ・市立病院で乗り継ぎ券を発行できるようにして欲しい。
- ・ハブになるターミナルが必要である。

## ○情報提供に関すること

- ・到着予測時刻の情報発信は特に必要性を感じる。
- ・ロケーションシステムを拡大すべき。
- ・〇〇系統～行きでは観光客が利用しづらい。“国際観光都市函館”ならば、わかりやすい路線，わかりやすい名称，わかりやすい案内を意識して欲しい。

## ○サービスに関すること

- ・運転手によって接客態度が全く違う。
- ・市電の運転手には，車内が混雑してきた時の対応をしっかり行ってもらいたい。寒い中待っていても乗せてもらえない時がある。
- ・乗った人が着席するまで発進しないで欲しい（ごく一部ではあるが）。
- ・冬場の市電は床が汚れている時があるので，きれいになるよう工夫すべき。

## ○走行環境・道路整備に関すること

- ・定時制の悪化防止のため，冬場の除雪を徹底して欲しい。
- ・公共交通より道路の拡張や除雪，信号の整備等，現在の自家用車交通網を整備するの考えた方が良いのではないか。
- ・道路の状態が悪いので，補修して欲しい。バス停前に水たまりができ，車が通る度待っている人に水がかけられる。
- ・公共交通機関の整備を優先して考えるなら，市電を廃止して，道路を片側2車線とし，2車線以上の道路は通勤時間帯のバスレーン設置を考えると良い。市電のコストは不要となり，函バスも喜ぶ。市電のような特殊車両や路線の維持はコストに見合わないように思う。

## ○アイデア

- ・新幹線開業に向け，広域にわたって公共交通システムを整備していく必要がある。
- ・経路図等の配布により利用機会は広がると思う。
- ・市電やバスの共通キャラクターを作り，親しみをもってもらおう。
- ・土日には親子で公共交通に乗って買い物へ行こう！的な流れを作る。（キャラクターのグッズ付き切符の販売，交換できるポイント制の導入）
- ・子供の頃にバスに乗ることに慣れていると自然と大人になっても利用すると思うので，小学校の学習プログラムとして，バス利用を導入したり，子供の参加型イベントを企画したりして，バス利用者の底上げをしてはどうか。
- ・Jバスの様に，その地区，地域で必要な時間，目的地などを検証したら利用者も増えるのではないか。

## ○その他

- ・市電の廃止を行ったのは残念でならない。短時間で移動でき，冬期間でも時間変動が少なく，全市（亀田地区，旧4町村）に広げていく考えをもって取り組んでいたなら，これから迎える高齢化社会にとって，函館駅を中心とする構想へと人の動きを変化させる一因になれたのではないか。人間全てが高齢者になる当たり前のことに，もう一度立ち返って欲しいと切に願っている。
- ・地方自治体関係者が率先して公共交通を利用すべきである。それで全ては解決すると思いますが…。こんなアンケート調査する前にぜひ考えてください。
- ・市電は全国でも数える地域しかないのも，とても大事にしたい。乗り心地はとても風情があり，たくさんの方が認めているところだと思う。
- ・市電は観光資源にもなっているので，廃止しないで欲しい。

# 通勤に関するアンケート

## アンケート調査へのご協力をお願い

平素より函館市の交通行政にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、路線バスや市電などの公共交通は、市民の日常生活を支える重要な役割を担っておりますが、利用者数は年々減少しており、路線の維持や利便性の確保など様々な問題を抱えています。

本市においては、平成13年に学識経験者や交通事業者、地域住民等で構成する函館市生活交通協議会を設置し、バス生活路線の確保方策や公共交通を中心とした交通体系について協議・検討を行っておりますが、今後においては、さらなる少子高齢化の進行などに伴い、公共交通の重要性がさらに高まると考えられることから、公共交通の利便性の向上や利用促進を図り、将来にわたって持続可能な公共交通のあり方について検討することとしております。

今回のアンケート調査は、函館市の公共交通の将来を考えるうえでの参考とするため、本市の駅前・大門地区、本町・五稜郭地区、美原地区、湯川地区の4拠点に所在する事業所にお勤めの方々の通勤状況や公共交通に対する要望・意見の把握を目的に調査するものです。

アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

平成24年12月

## 記入方法について

回答方法は、該当する番号を○で囲むか、具体的な内容を( )内に記入して、ご回答ください。質問ごとに「1つ」「3つまで」など、選び方が指定されていますので、ご注意ください。

※ ご記入いただいた内容は、本調査の分析以外の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人が特定されることはありません。

## 問い合わせ先

函館市企画部計画推進室政策推進課 担当:長谷山, 中釜  
電話 21-3625 / E-mail seisaku@city.hakodate.hokkaido.jp

## 問1 あなた自身のことについて教えてください。

問1-1 あなたの性別はどちらですか。

① 男性      ② 女性

問1-2 あなたの年齢はいくつですか。

① 15～19歳      ② 20～29歳      ③ 30～39歳      ④ 40～49歳  
⑤ 50～59歳      ⑥ 60～69歳      ⑦ 70歳以上

問1-3 あなたのお住まいはどちらですか。

① 函館市( )町( )丁目  
② 北斗市      ③ 七飯町      ④ その他( )町

問1-4 あなたの勤務地はどの地区ですか。

① 駅前・大門地区      ② 本町・五稜郭地区      ③ 美原地区      ④ 湯川地区

問1-5 自宅から職場までの所要時間はどのくらいですか。

- |          |           |          |          |
|----------|-----------|----------|----------|
| ① 10分未満  | ② 10～19分  | ③ 20～29分 | ④ 30～39分 |
| ⑤ 40～49分 | ⑥ 50分～59分 | ⑦ 60分以上  |          |

問1-6 普段の平均的な出発時刻と帰宅時刻を教えてください。

出発(自宅を出る)	① 午前 ・ ② 午後 ( )時( )分頃
帰宅(家に着く)	① 午前 ・ ② 午後 ( )時( )分頃

問1-7 あなたのご家庭では自家用車を何台保有していますか。

- |      |      |      |        |           |
|------|------|------|--------|-----------|
| ① 1台 | ② 2台 | ③ 3台 | ④ 4台以上 | ⑤ 保有していない |
|------|------|------|--------|-----------|

問1-8 あなたは将来何歳くらいまで運転を続けたいですか。

- |                |            |              |
|----------------|------------|--------------|
| ① 60歳くらいまで     | ② 70歳くらいまで | ③ 運転できる限りずっと |
| ④ できれば今にでもやめたい | ⑤ 運転はしていない |              |

問1-9 普段の通勤時の主な移動手段は何ですか。主なものを1つだけ選択してください。

- |        |      |                           |                               |
|--------|------|---------------------------|-------------------------------|
| ① 路線バス | ② 市電 | → ①, ②を選択した方は、問2へお進みください。 |                               |
| ③ 自動車  | ④ JR | ⑤ バイク                     | } →③～⑧を選択した方は、<br>問3へお進みください。 |
| ⑥ 自転車  | ⑦ 徒歩 | ⑧ その他( )                  |                               |

## 問2 「路線バス」または「市電」で通勤されている方にお聞きします。

問2-1 1ヶ月の通勤にあなたが負担している費用(通勤手当を除く)はどのくらいですか。

- |                  |                  |                |                  |
|------------------|------------------|----------------|------------------|
| ① 自己負担はない        | ② 5,000円未満       | ③ 5,000～9,999円 | ④ 10,000～14,999円 |
| ⑤ 15,000～19,999円 | ⑥ 20,000～24,999円 | ⑦ 25,000円以上    |                  |

問2-2 運賃の支払い方法は何かですか。

- |       |            |       |      |
|-------|------------|-------|------|
| ① 定期券 | ② プリペイドカード | ③ 回数券 | ④ 現金 |
|-------|------------|-------|------|

問2-3 路線バスや市電をもっと利用しやすくするために必要だと思うのは何ですか。  
必要だと思うものを3つまで選んでください。

- |                |                                 |
|----------------|---------------------------------|
| ① 運行本数を増やす     | ⑧ 乗り換えを便利にする                    |
| ② 近くに停留所を設置する  | ⑨ 停留所にベンチや屋根を設ける                |
| ③ 移動時間を短くする    | ⑩ 乗り降りしやすい車両にする                 |
| ④ 運賃を安くする      | ⑪ 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の<br>発信を充実する |
| ⑤ 冬場の定時性を確保する  |                                 |
| ⑥ 始発・終発時刻を延長する | ⑫ わかりやすい路線にする                   |
| ⑦ 車内混雑を少なくする   | ⑬ その他( )                        |

→問4へお進みください。

**問3 「路線バス」「市電」以外で通勤されている方にお聞きします。**

問3-1 1ヶ月の通勤にあなたが負担している費用(通勤手当を除く)はどのくらいですか。  
駐車代金も負担している場合はその額を含めた費用を選んでください。

- ① 自己負担はない ② 5,000円未満 ③ 5,000～9,999円 ④ 10,000～14,999円  
⑤ 15,000～19,999円 ⑥ 20,000～24,999円 ⑦ 25,000円以上

問3-2 いまの通勤手段から路線バスや市電に転換することは可能ですか。

路線バスや市電の利便性が

- ① 向上(改善)されたらバスや市電で通勤しても良い →問3-3へお進みください。  
② どんなに向上(改善)してもバスや市電は利用しない →問3-4へお進みください。

問3-3 どのようなことが向上(改善)されたら、路線バスや市電で通勤しても良いと思いますか。  
最も望まれるものを3つまで選んでください。

- ① 運行本数を増やす ⑧ 乗り換えを便利にする  
② 近くに停留所を設置する ⑨ 停留所にベンチや屋根を設ける  
③ 移動時間を短くする ⑩ 乗り降りしやすい車両にする  
④ 運賃を安くする ⑪ 運行情報(到着予測時刻、運賃等)の  
⑤ 冬場の定時性を確保する 発信を充実する  
⑥ 始発・終発時刻を延長する ⑫ わかりやすい路線にする  
⑦ 車内混雑をなくする ⑬ その他( )

→問4へお進みください。

問3-4 「どんなに向上(改善)しても路線バスや市電は利用しない」を選択した理由は何ですか。  
主な理由を3つまで選んでください。

- ① 行動が運行時間に縛られるから ⑦ 同乗者がいる又は同乗させてもらえるから  
② 荷物があるから ⑧ 自宅が近いから  
③ 通勤以外の用務があるから ⑨ いまの移動手段の方が速いから  
④ 自家用車を業務で使用するから ⑩ その他( )  
⑤ 社用車を持ち帰っているから  
⑥ 専用駐車場(無料)があるから

→問4へお進みください。

**問4 交通問題等に対するお考えをお聞かせください。**

問4-1 自動車による騒音や二酸化炭素の排出などの環境問題が生じているため、自家用車利用の自粛や公共交通への利用転換のための施策を積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-2 今後、さらなる高齢化の進展により公共交通の重要性が高まると考えられることから、公共交通を将来にわたって維持するため、利便性向上のための基盤整備や利用促進の施策に対し、必要な予算措置を行い、それら施策を積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-3 公共交通の利便性を向上させるため、自家用車利用の自粛やバス専用レーン設置など、自家用車利用の制約のための施策を積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-4 公共交通の利便性や運行効率の向上のためには、駅前や五稜郭などの拠点に、路線バスや市電などの公共交通機関が乗り入れる交通ターミナルなどの整備が必要である。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-5 乗り換え環境(快適な待合施設の整備, 乗り換えに連動した接続便の設定, 乗り換え割引の充実など)が整っていれば, 公共交通の乗り換えに対する抵抗感はない。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

**問5 公共交通に関するご意見をお聞かせください。**

函館市の公共交通に関するご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。  
～いただきましたご意見などに対し、個別の回答は致しませんのでご了承ください。～

～これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。～

### Ⅲ 通学に関するアンケート



# 通学に関するアンケートの概要

## 1 目的

本調査は、市内の高校に通学する生徒の夏季と冬季ごとの移動手段を把握するほか、路線バスや市電に対する満足度や改善点、今後の運行等に対する意識やニーズを把握し、本市の今後の公共交通のあり方を検討することを目的として実施した。

## 2 調査項目

- (1) 属性
- (2) 通学状況
- (3) 路線バスや市電の利用状況
- (4) 交通施策に対する意識
- (5) 公共交通に関する意見（自由記載）

## 3 調査方法

- (1) 調査対象 函館市内の高校に通学している生徒
- (2) 標本数 600人
- (3) 調査方法 各校に調査票を直接配付し、学生への配付・回収を依頼した。
- (4) 調査期間 平成25年2月18日～平成25年3月19日

## 4 回収結果

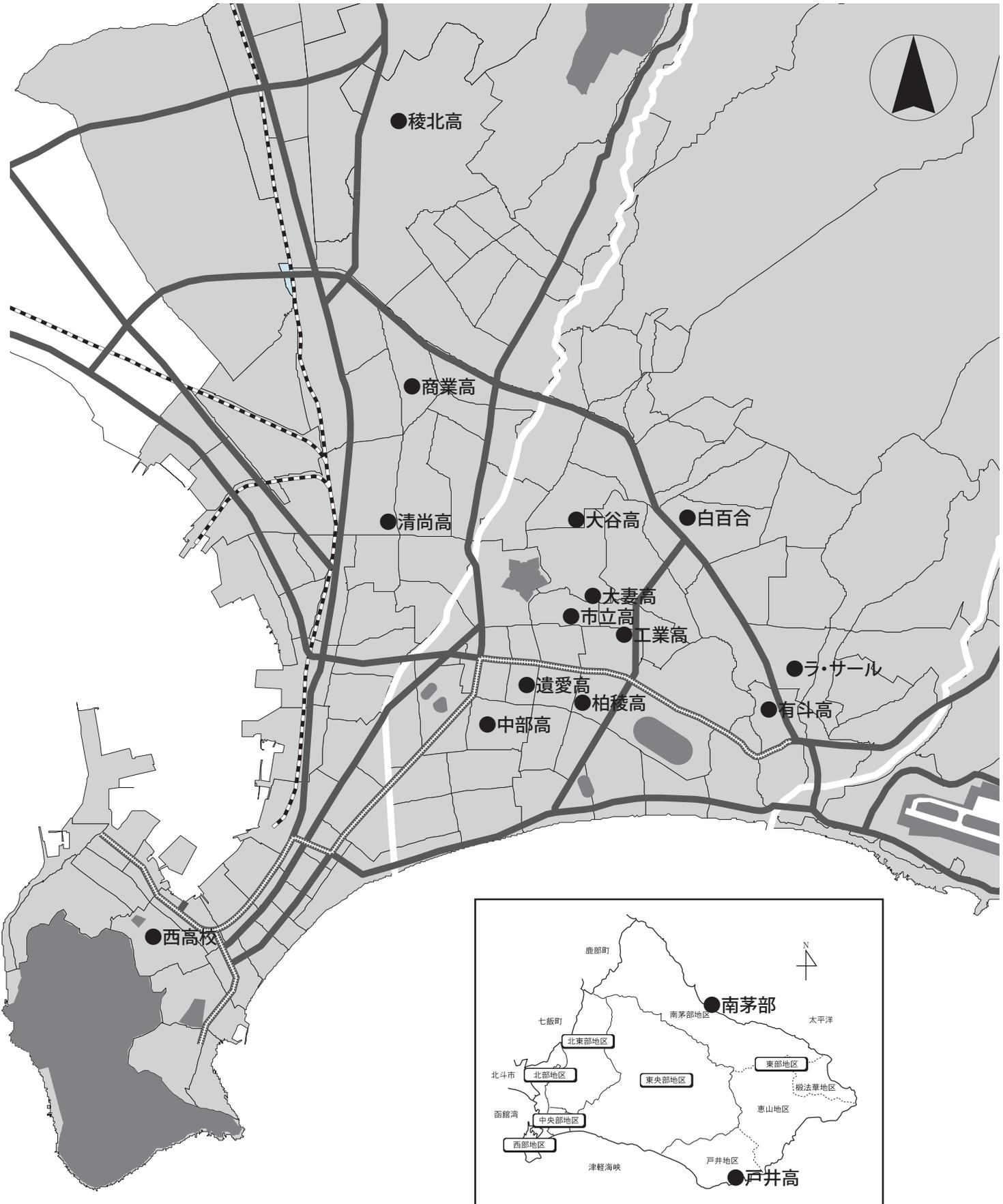
調査対象者数600人に対して、回収数は577人で、回収率は96.2%であった。

## 5 回収状況

区分	配付数	回収数	回収率(%)
市立函館高等学校	40	40	100.0
函館中部高等学校	40	39	97.5
函館西高等学校	40	37	92.5
函館稜北高等学校	40	39	97.5
函館商業高等学校	40	40	100.0
函館工業高等学校	40	40	100.0
戸井高等学校	20	25	125.0
南茅部高等学校	20	22	110.0
函館大学付属有斗高等学校	40	40	100.0
函館大学付属柏稜高等学校	40	40	100.0
函館大谷高等学校	40	35	87.5
函館白百合学園高等学校	40	30	75.0
遺愛女子高等学校	40	38	95.0
函館大妻高等学校	40	40	100.0
清尚学院高等学校	40	34	85.0
函館ラ・サール高等学校	40	38	95.0
	600	577	96.2



# 調査対象高校



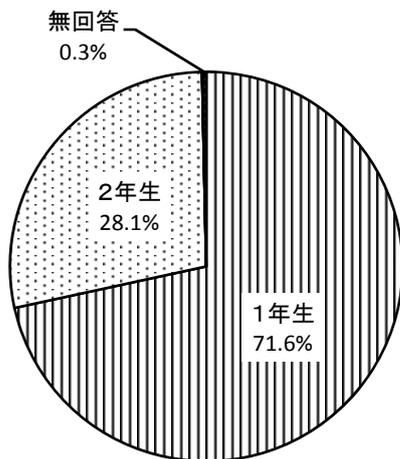


# 通学に関するアンケートの集計結果

## 1 属性

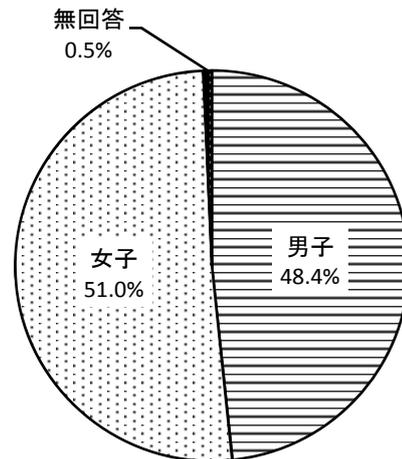
問1 あなた自身のことについて教えてください。

問1-2 学年 (n=577)



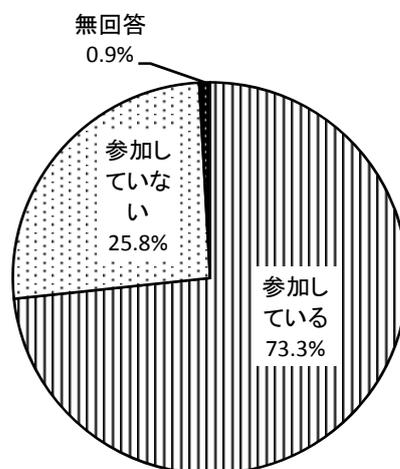
1年生が71.6%，2年生が28.1%，無回答が0.3%となっている。

問1-3 性別 (n=577)

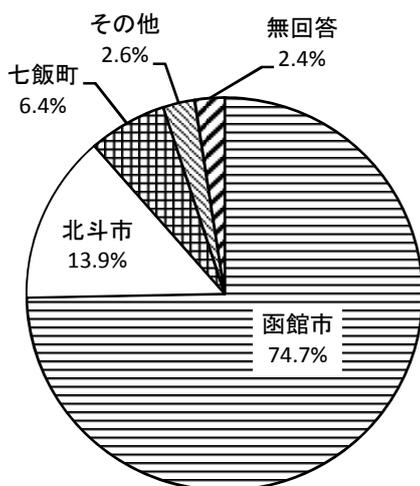


男子が48.4%，女子が51.0%，無回答が0.5%となっている。

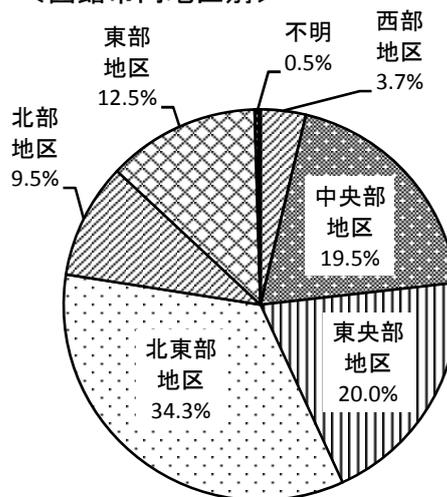
問1-4 部活動への参加 (n=577)



「参加している」が73.3%となっており、「参加していない」の25.8%を大きく上回っている。



<函館市内地区別>



※その他: 木古内町(4), 知内町(1), 森町(5), 鹿部町(4), 厚沢部町(1)

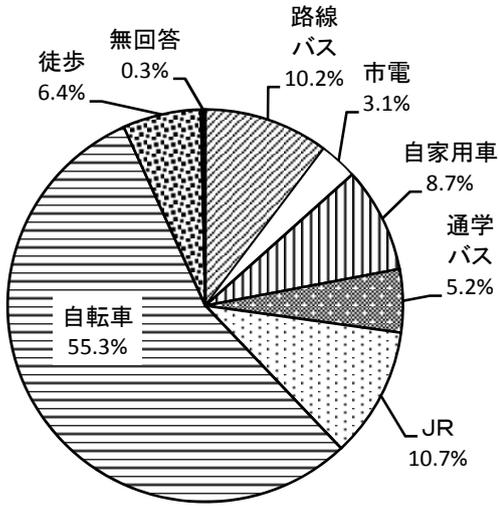
函館市が74.7%を占め、その内訳では、北東部地区が34.3%と最も高く、次いで東部地区が20.0%、中央部地区が19.5%の順となっている。

## 2 通学状況

問2 通学の状況について教えてください。

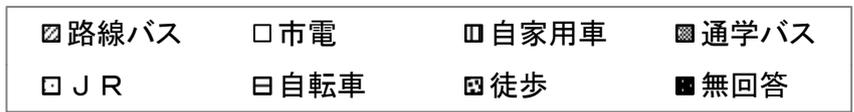
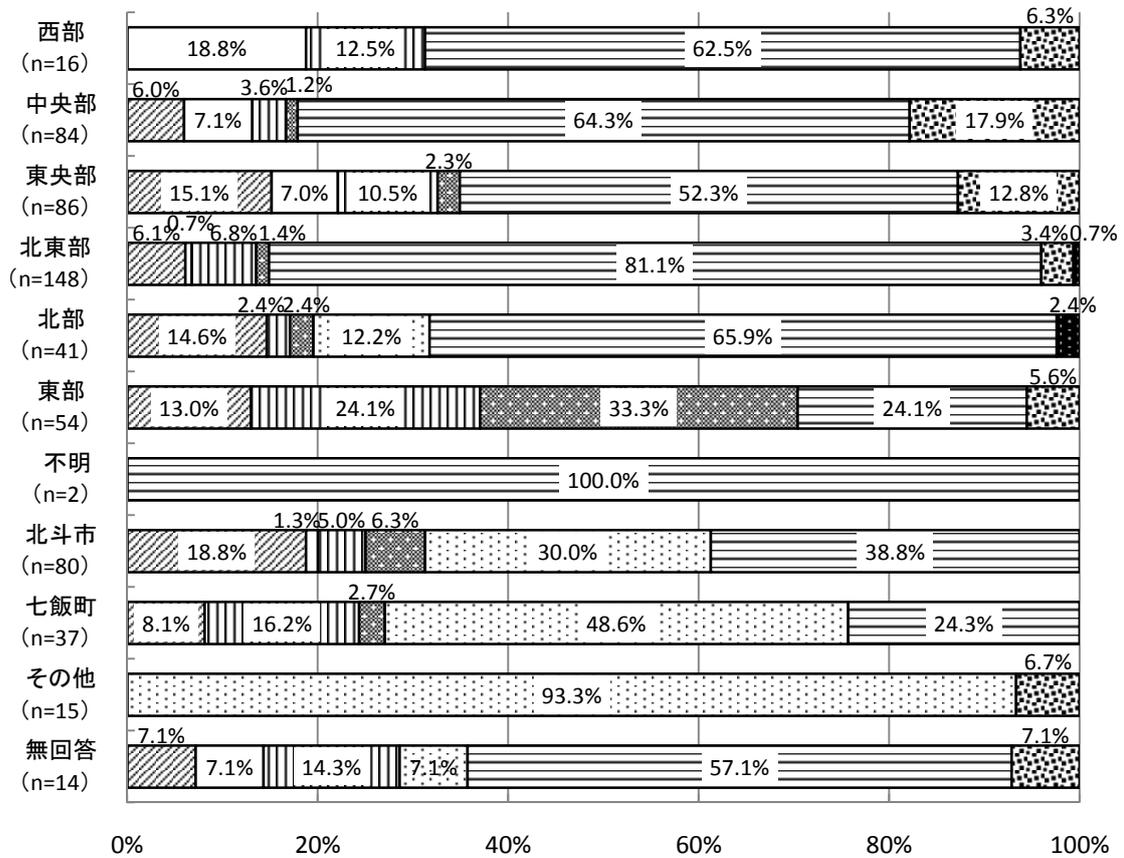
【夏季】

問2-1 通学時にもっともよく利用する移動手段（1つ）（n=577）



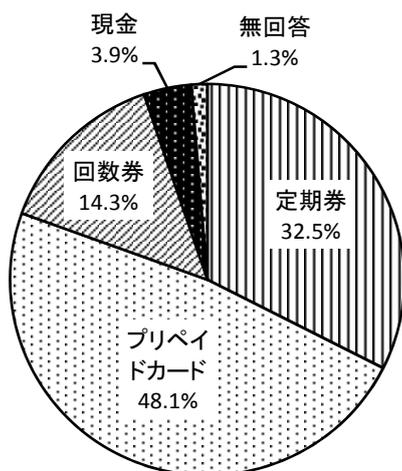
自転車が55.3%と半数を超えており、次いでJRが10.7%、路線バスが10.2%となっている。

### <居住地別>



<路線バス・市電で通学していると答えた方>

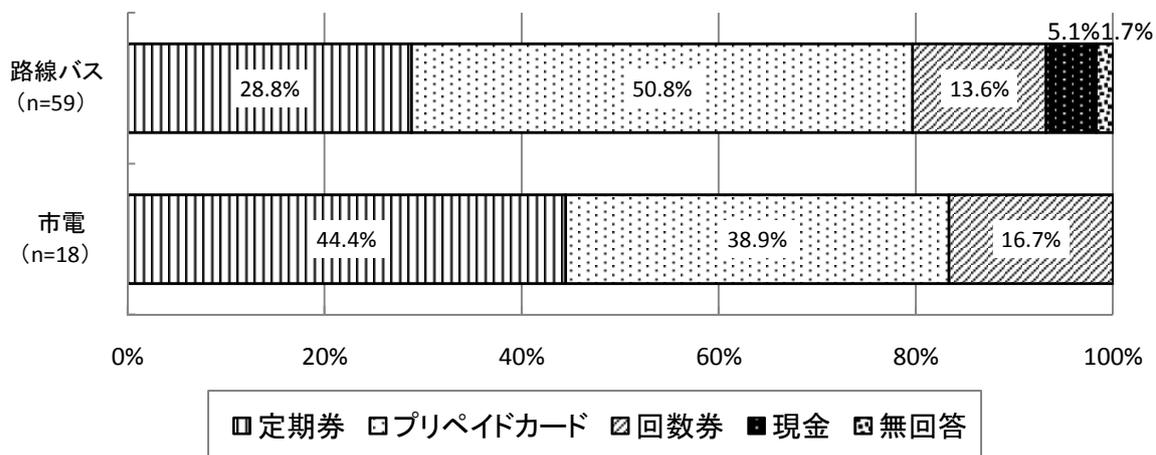
運賃の支払方法 (n=77)



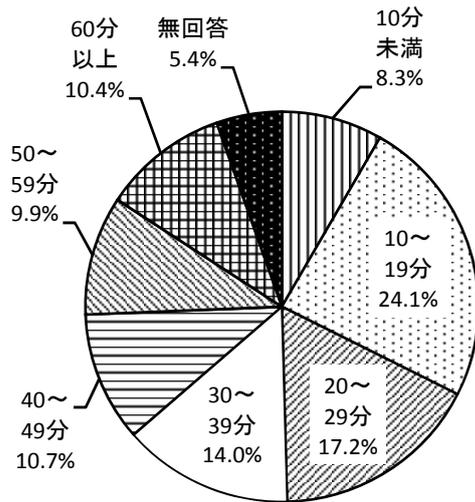
プリペイドカードが48.1%と最も高く、次いで定期券が32.5%となっている。

路線バス・市電別でみると、路線バスではプリペイドカードが最も高くなっているのに対し、市電では定期券が最も高くなっている。

<路線バス・市電別>



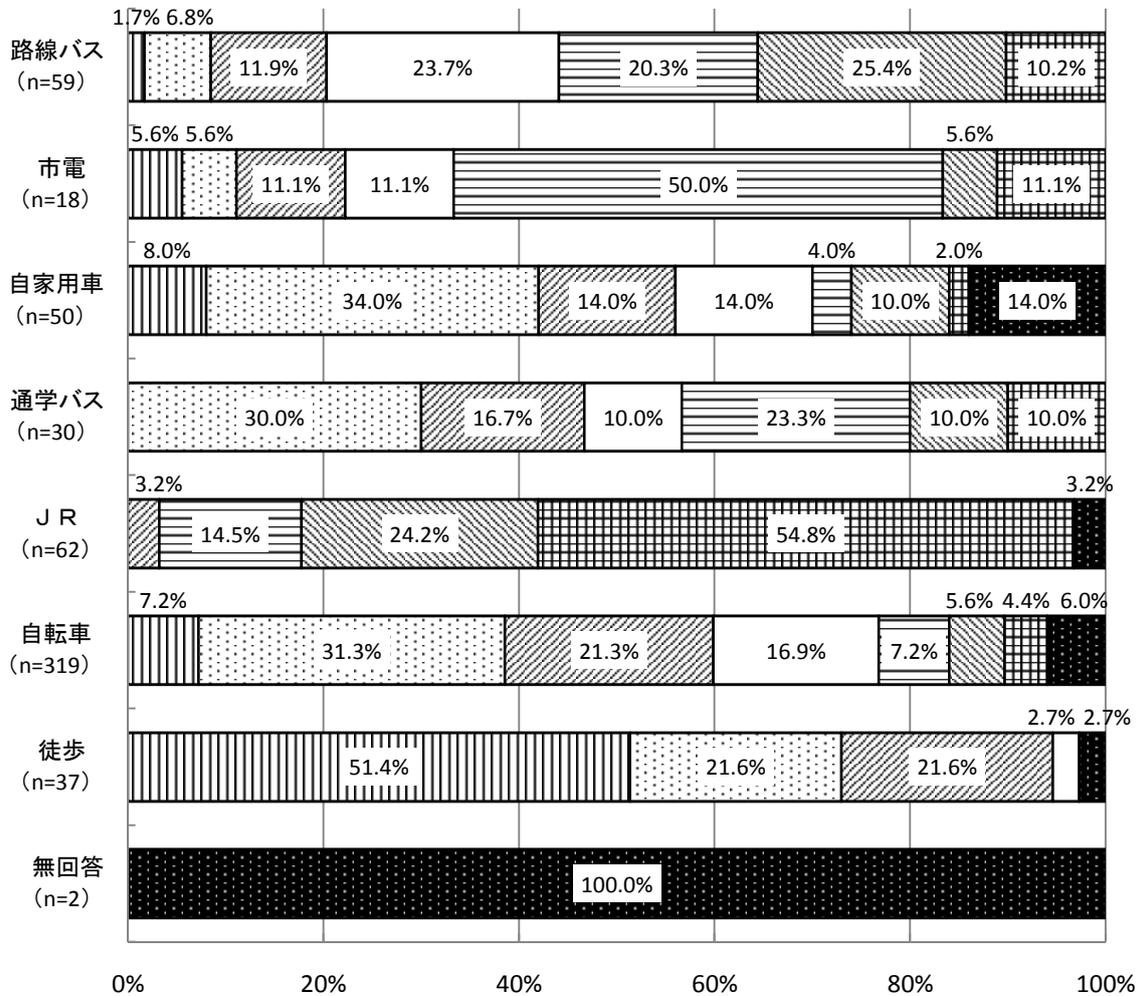
問2-2 通学に要する時間（片道） (n=577)



10～19分が24.1%と最も高くなっている。

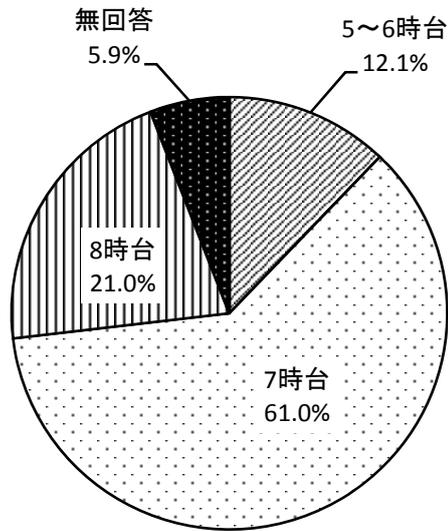
移動手段別で見ると、自転車の約60%が30分未満であるのに対し、路線バスや市電については、約80%が30分以上となっており、自転車に比べて移動時間が長くなっている。

<移動手段別>



問2-3 普段の平均的な出発時刻と帰宅時刻 (n=577)

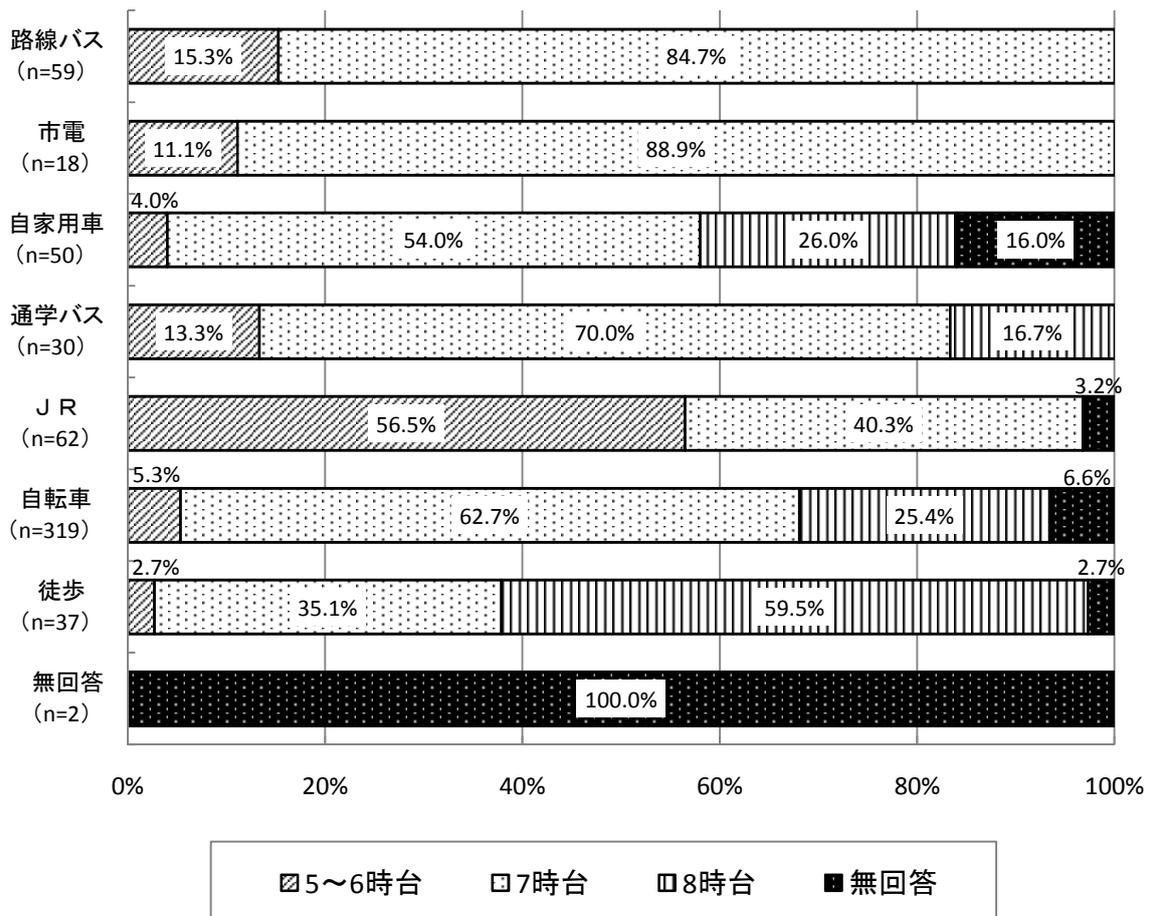
<出発>



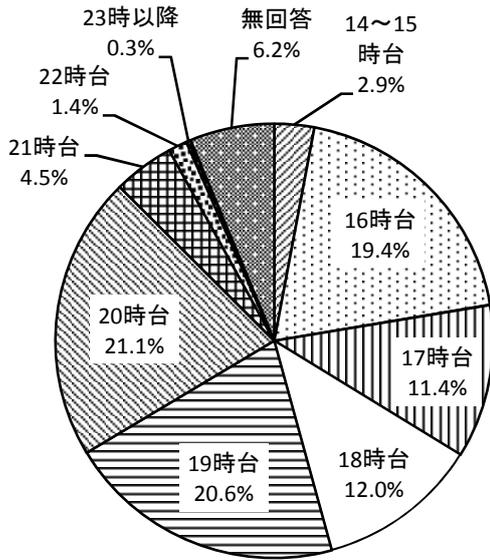
7時台が61.0%と最も高くなっている。

移動手段別で見ると、ほとんどで7時台が高くなっている一方、徒歩では8時台が最も高く、自家用車や自転車でも25%を超えている。JRでは5~6時台が半数を超えており、路線バスや市電、通学バスでもその割合がやや高くなっている。

<移動手段別>



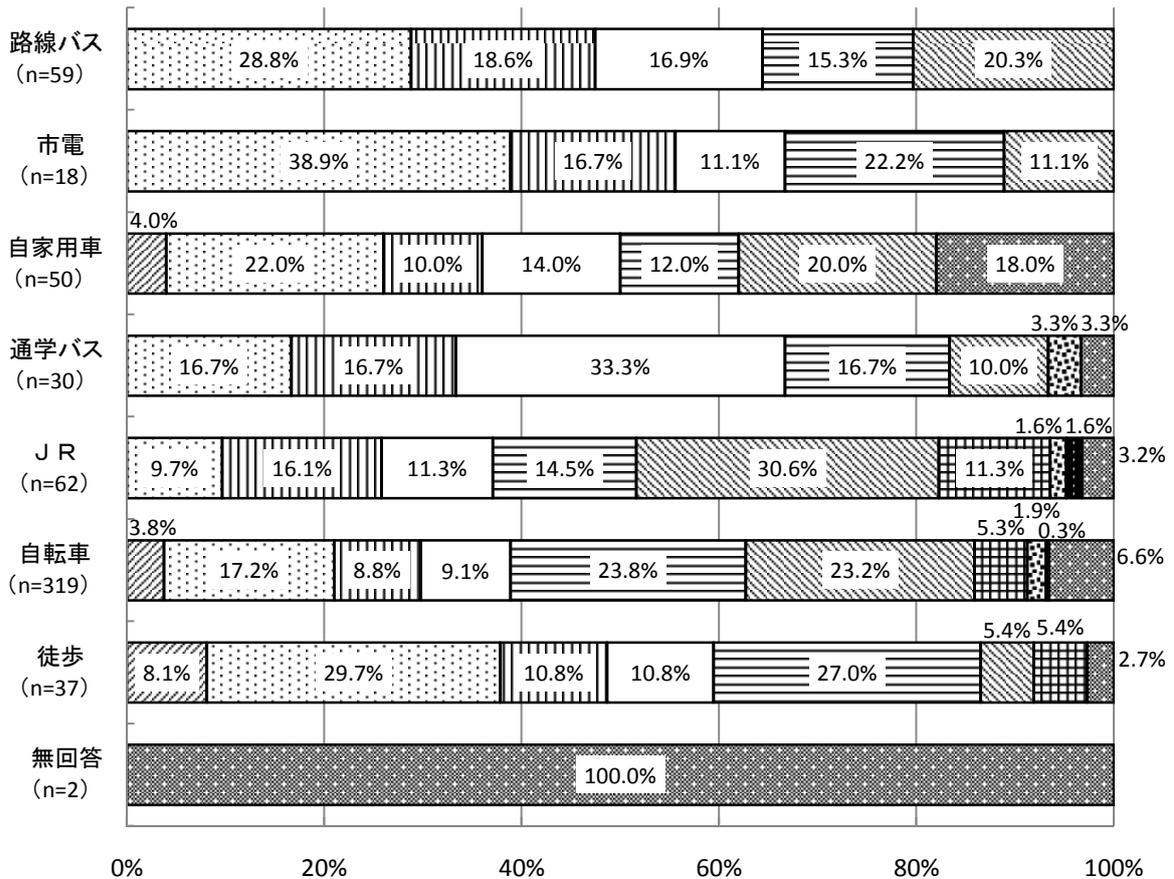
<帰宅>



20時台が21.1%と最も高くなっており、次いで19時台が20.6%、16時台が19.4%で続いている。

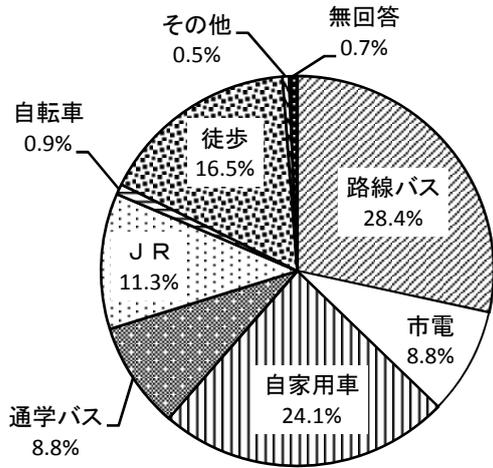
移動手段別でみると、路線バス、市電、自家用車、徒歩では16時台が最も高くなってきているのに対し、JRは20時台、自転車では19時台が最も高くなっている。

<移動手段別>



【冬季】

問2-4 通学時にもっともよく利用する移動手段（1つ）（n=577）

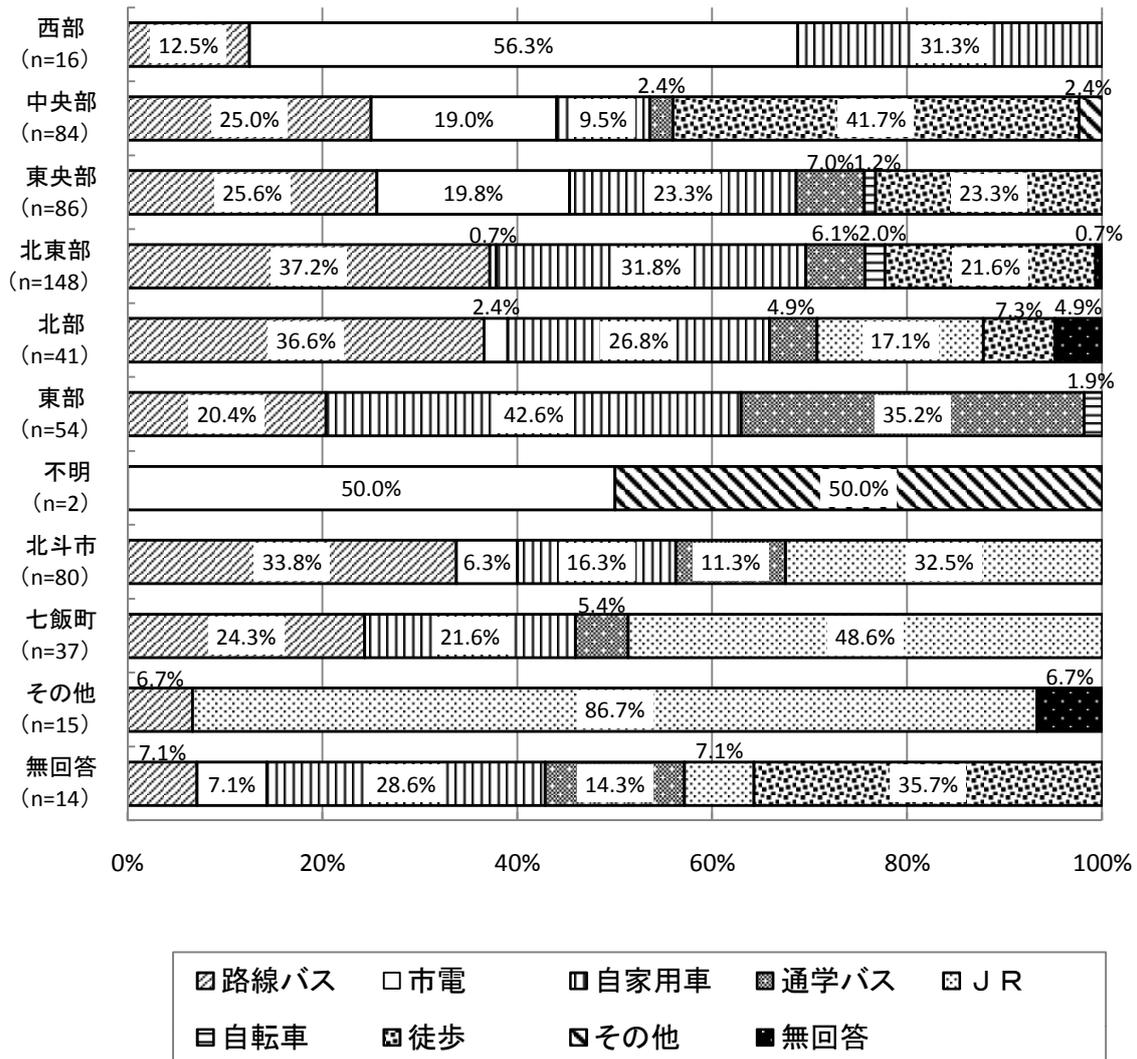


路線バスが28.4%と最も高く、次いで自家用車が24.1%、徒歩が16.5%となっている。

夏季で55.3%と最も高かった自転車は0.9%となっている。

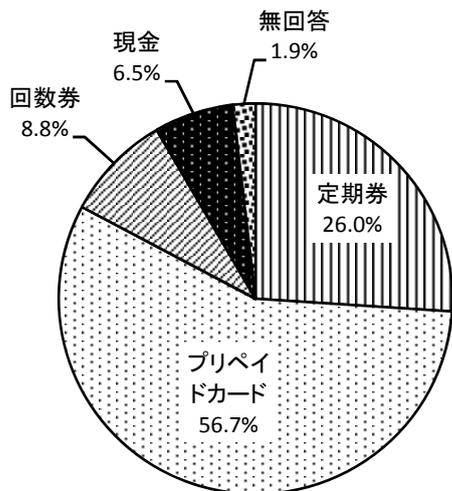
※その他: 友達の車(1), 記載なし(2)

<居住地別>



<路線バス・市電で通学していると答えた方>

運賃の支払方法 (n=215)

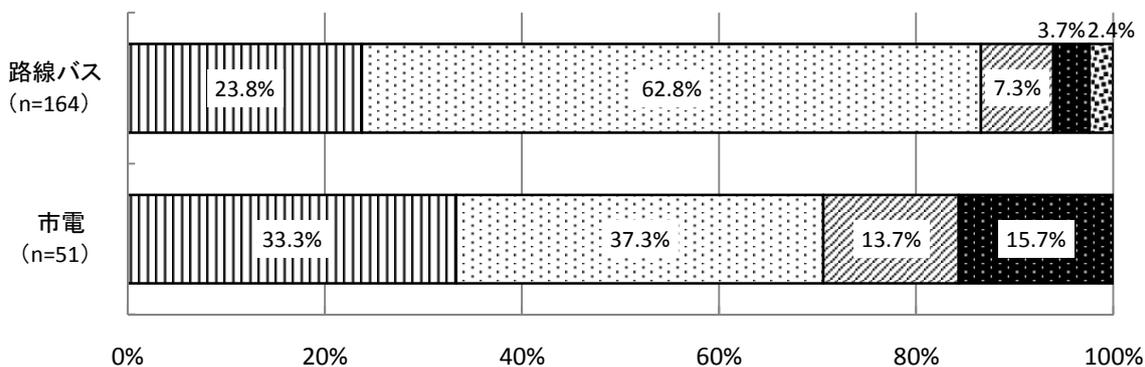


プリペイドカードが56.7%と最も高く、次いで定期券が26.0%となっている。

また、プリペイドカードが夏季の48.1%から増加している。

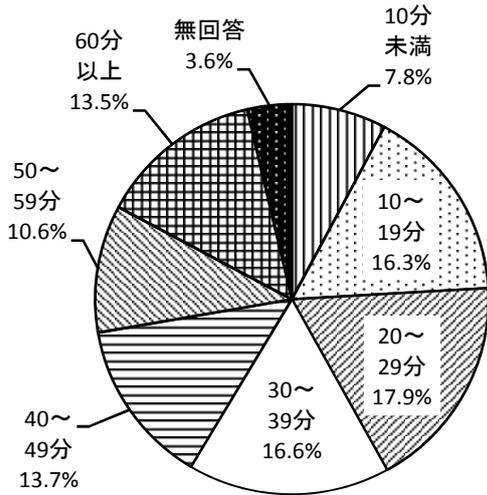
路線バス・市電別でみると、路線バスではプリペイドカードが最も高くなっているのに対し、市電では定期券とプリペイドカードが拮抗している。

<路線バス・市電別>



□ 定期券 □ プリペイドカード ▨ 回数券 ■ 現金 ▩ 無回答

問2-5 通学に要する時間（片道）（n=577）

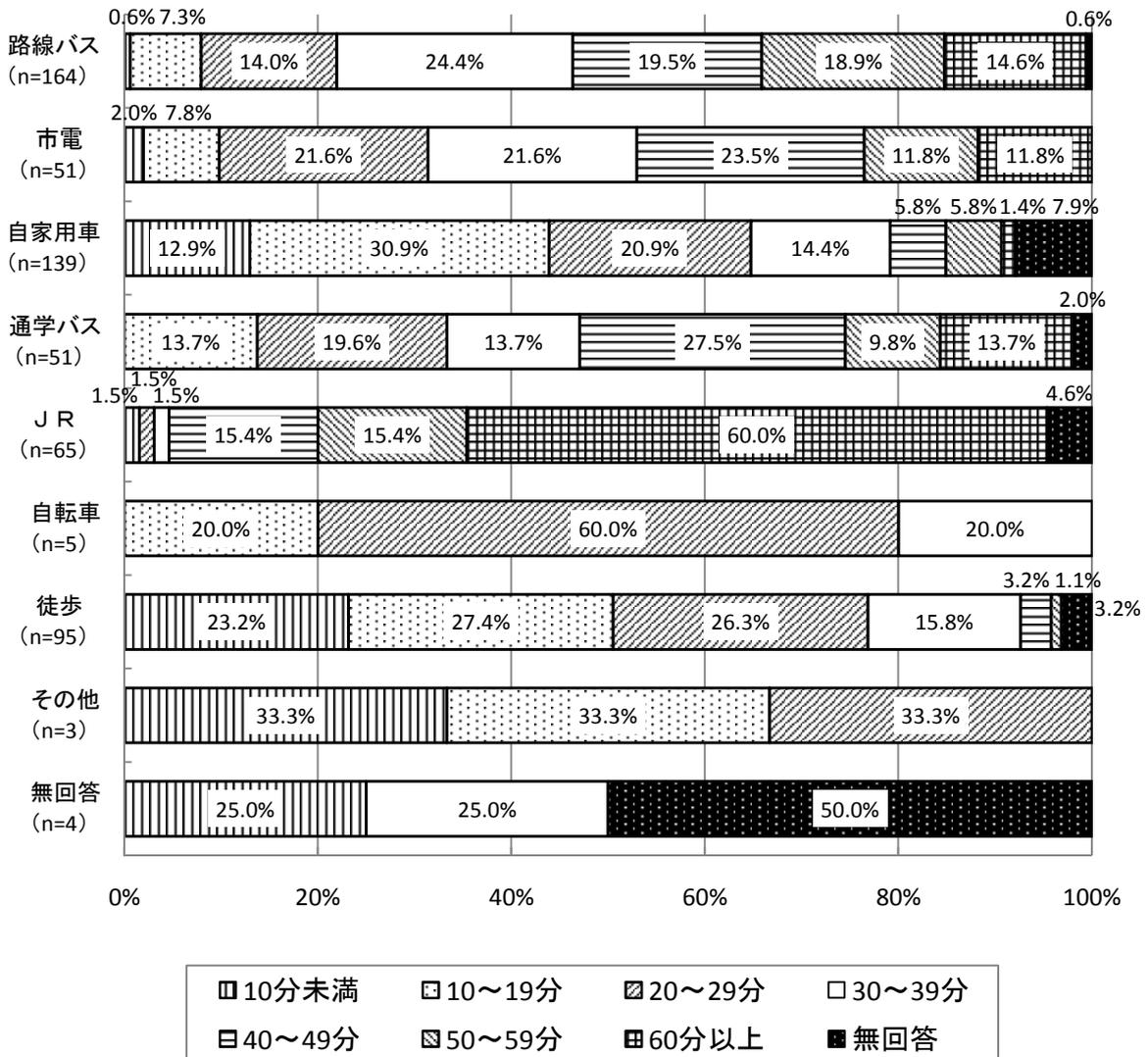


「20～29分」が17.9%と最も高く、次いで「30～39分」が16.6%となっており、夏季に比べ時間を要している。

また、「30分未満」が夏季では49.6%であったのに対し、冬季では42.0%となっている。

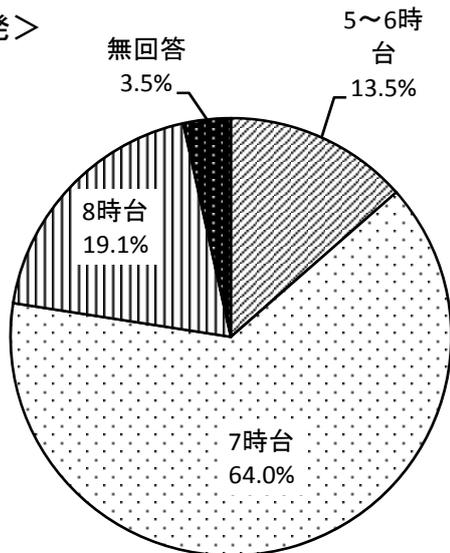
移動手段別でみると、徒歩の約80%が「30分未満」であるのに対し、路線バスや市電については、約70～80%が「30分以上」となっており、徒歩に比べて移動時間が長くなっている。

<移動手段別>



問2-6 普段の平均的な出発時刻と帰宅時刻 (n=577)

<出発>

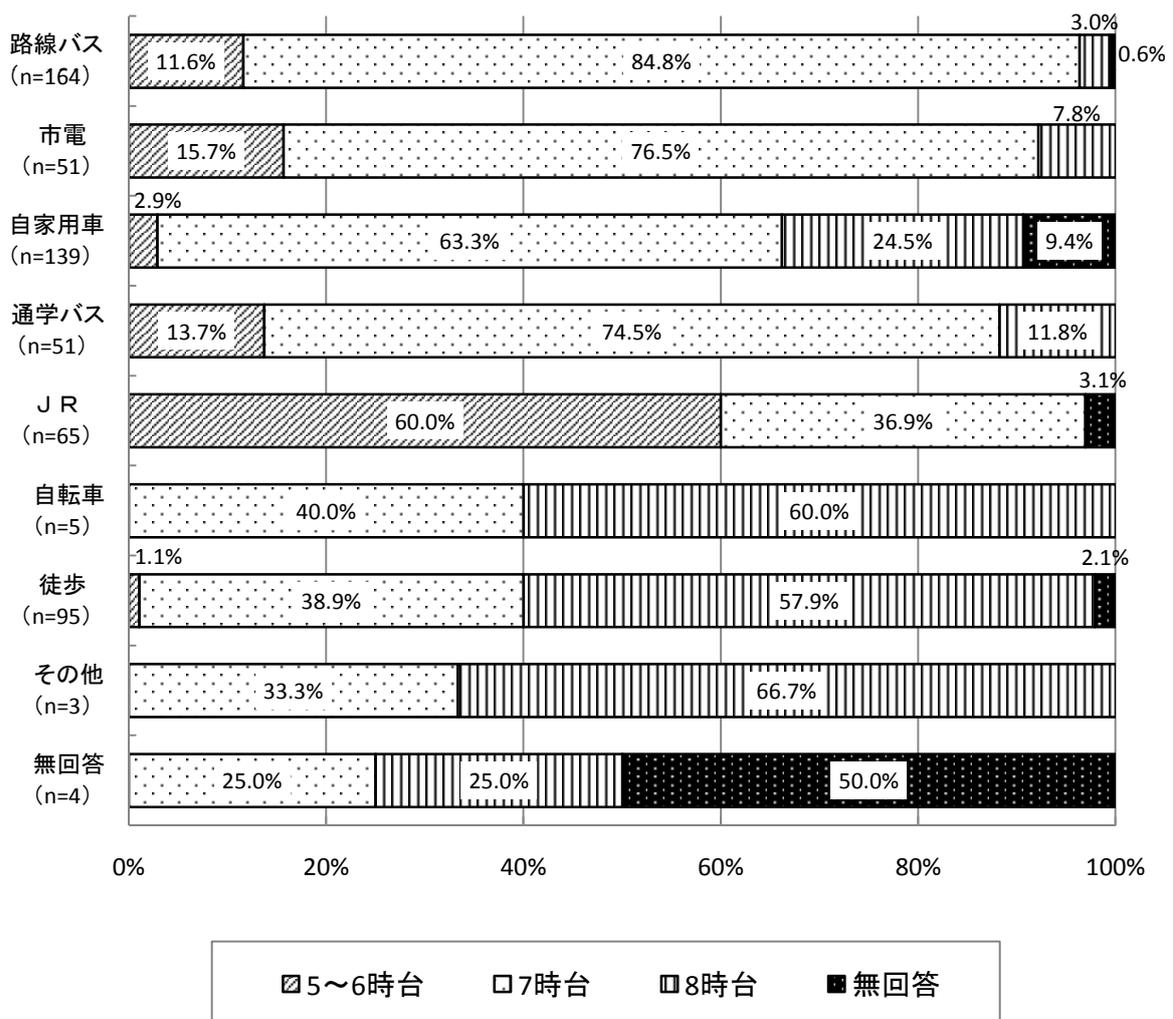


7時台が64.0%と最も高くなっている。

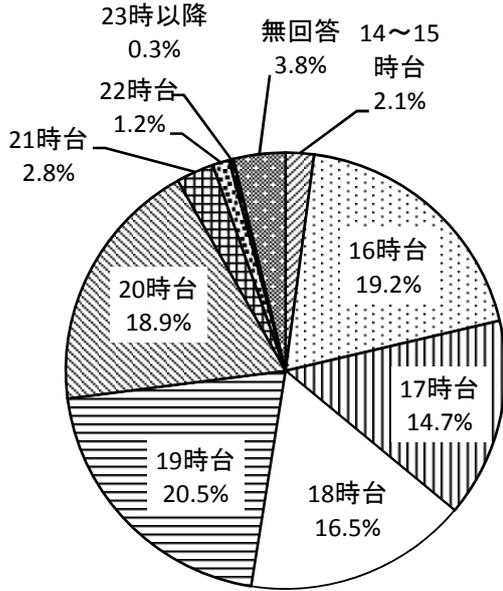
また、7時台より早い出発時刻の合計は77.5%で、夏季の73.1%と比べ、高くなっている。

移動手段別でみると、ほとんどで7時台が高くなっている一方、JRでは5~6時台、徒歩では8時台が最も高くなっている。

<移動手段別>



<帰宅>

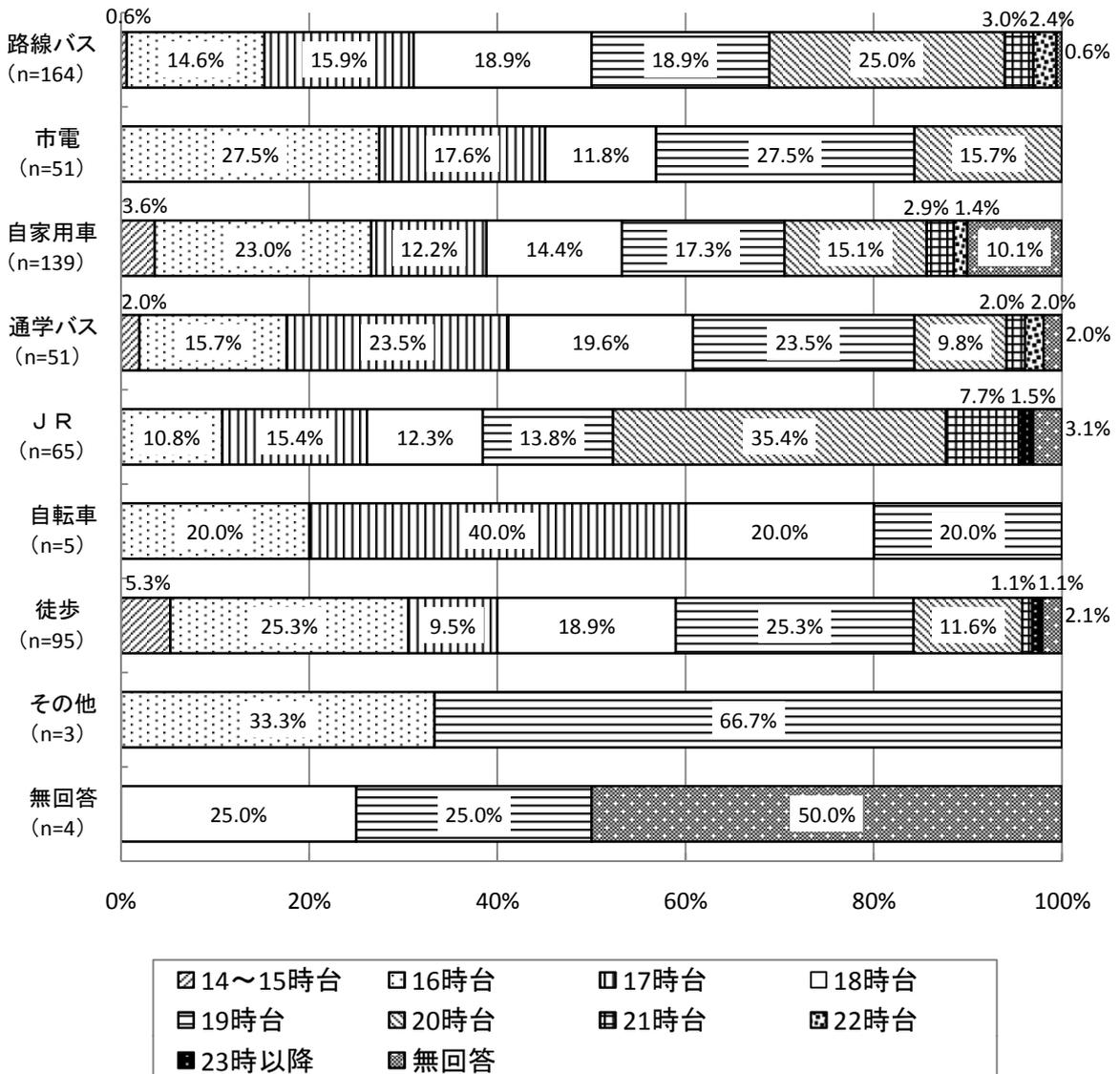


19時台が20.5%と最も高くなっており、次いで16時台が19.2%、20時台が18.9%となっている。

また、18時台より早い帰宅時刻の合計は52.5%で、夏季の45.7%と比べ、高くなっている。

移動手段別でみると、路線バス、JRでは20時台、自家用車では16時台が最も高くなっており、市電、徒歩では16時台と19時台が同じ割合となっている。

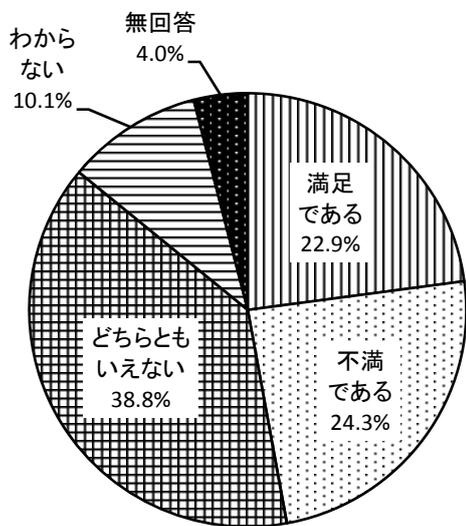
<移動手段別>



### 3 路線バスや市電の利用状況

問3 路線バスや市電の利用についてお聞かせください。

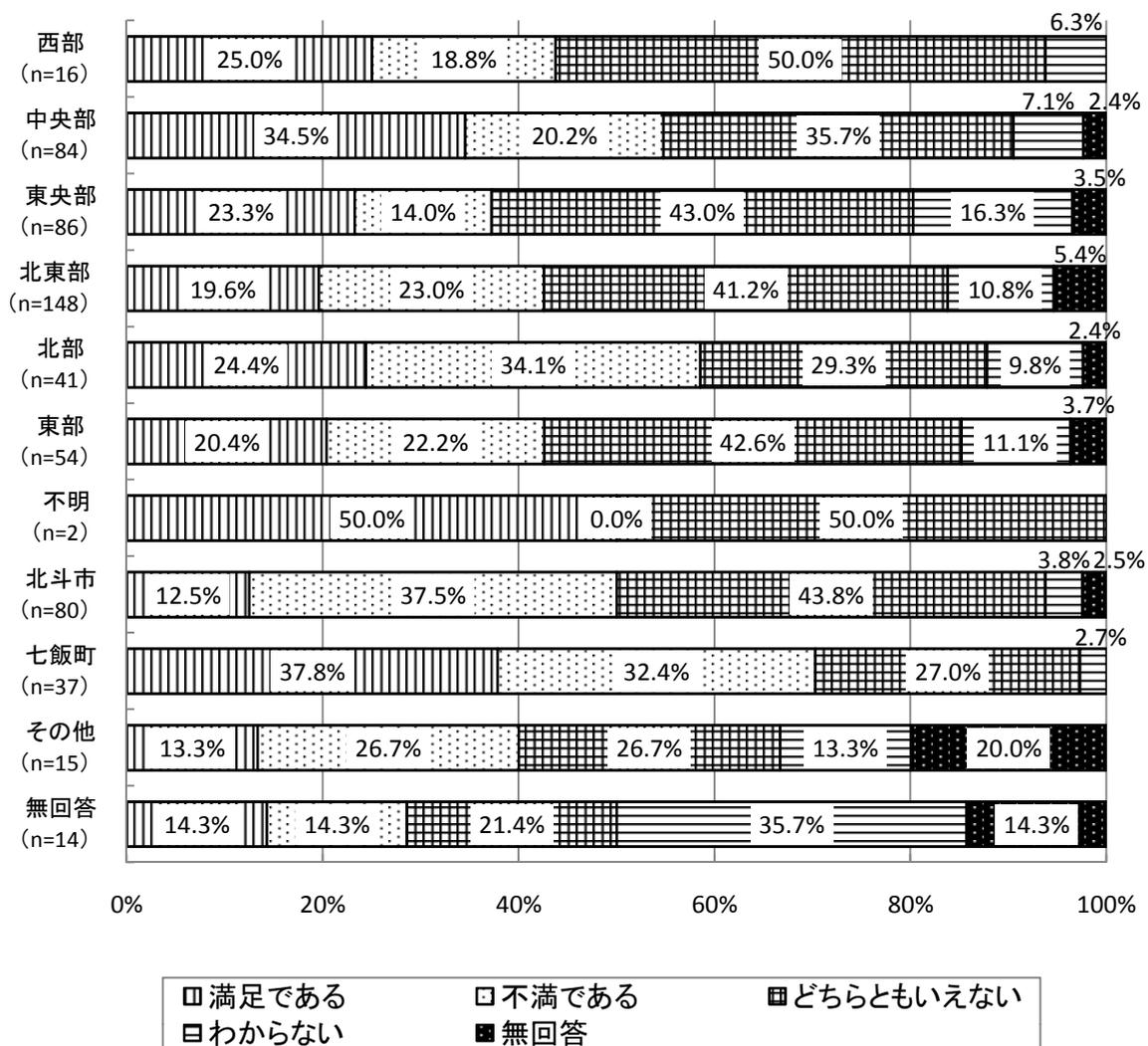
問3-1 あなたは路線バスや市電についてどのように感じていますか。(n=577)



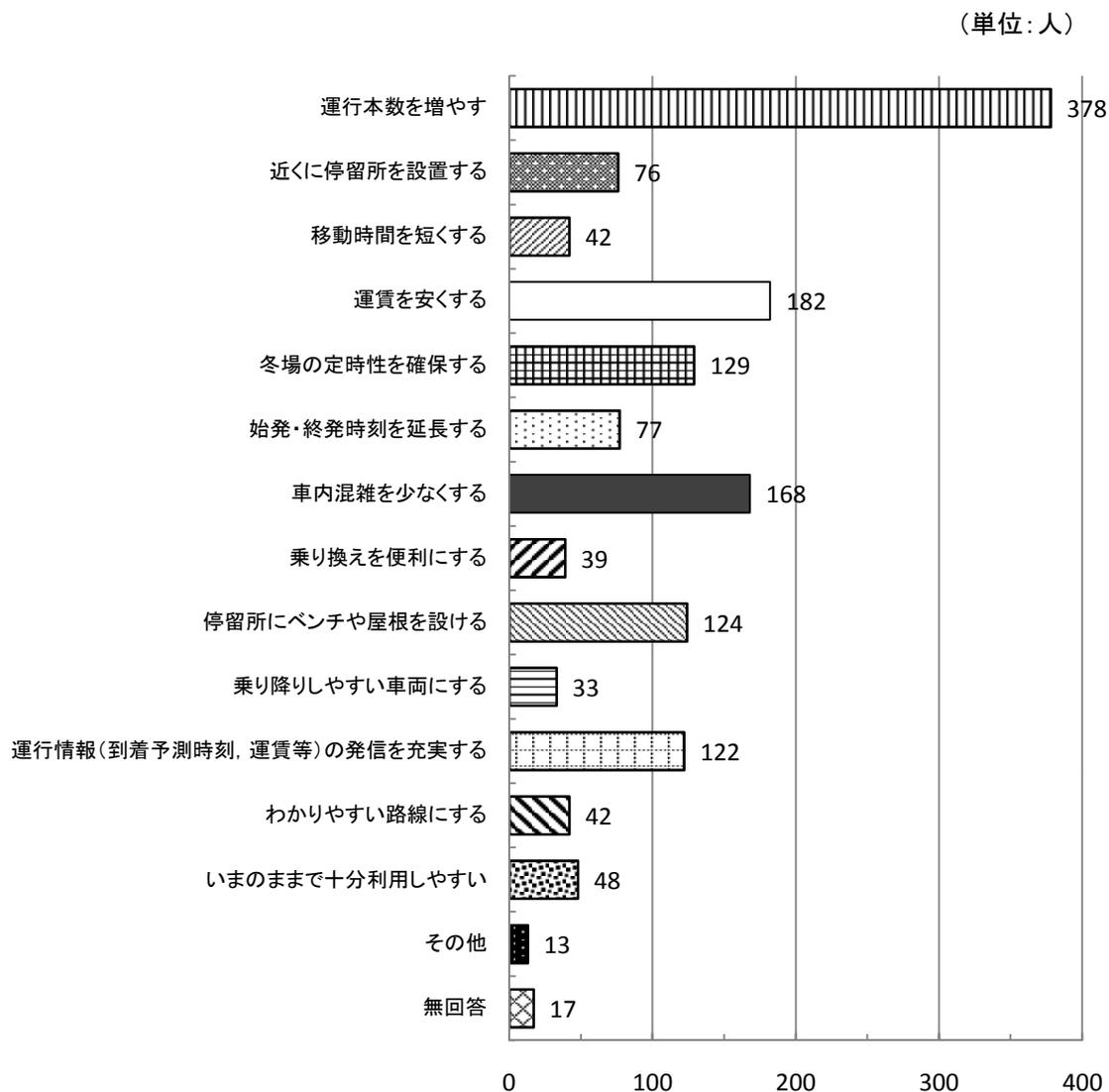
「不満である」が24.3%となっており、「満足である」の22.9%より高くなっている。

居住地別でみると、北東部地区、北部地区、東部地区、北斗市で「不満である」が「満足である」を上回っている。

<居住地別>



問3-2 路線バスや市電をもっと利用しやすくするために改善が必要だと思うのは何ですか。(3つまで) (n=1,490)



「運行本数を増やす」が最も多くなっており、次いで「運賃を安くする」, 「車内混雑を少なくする」の順となっている。

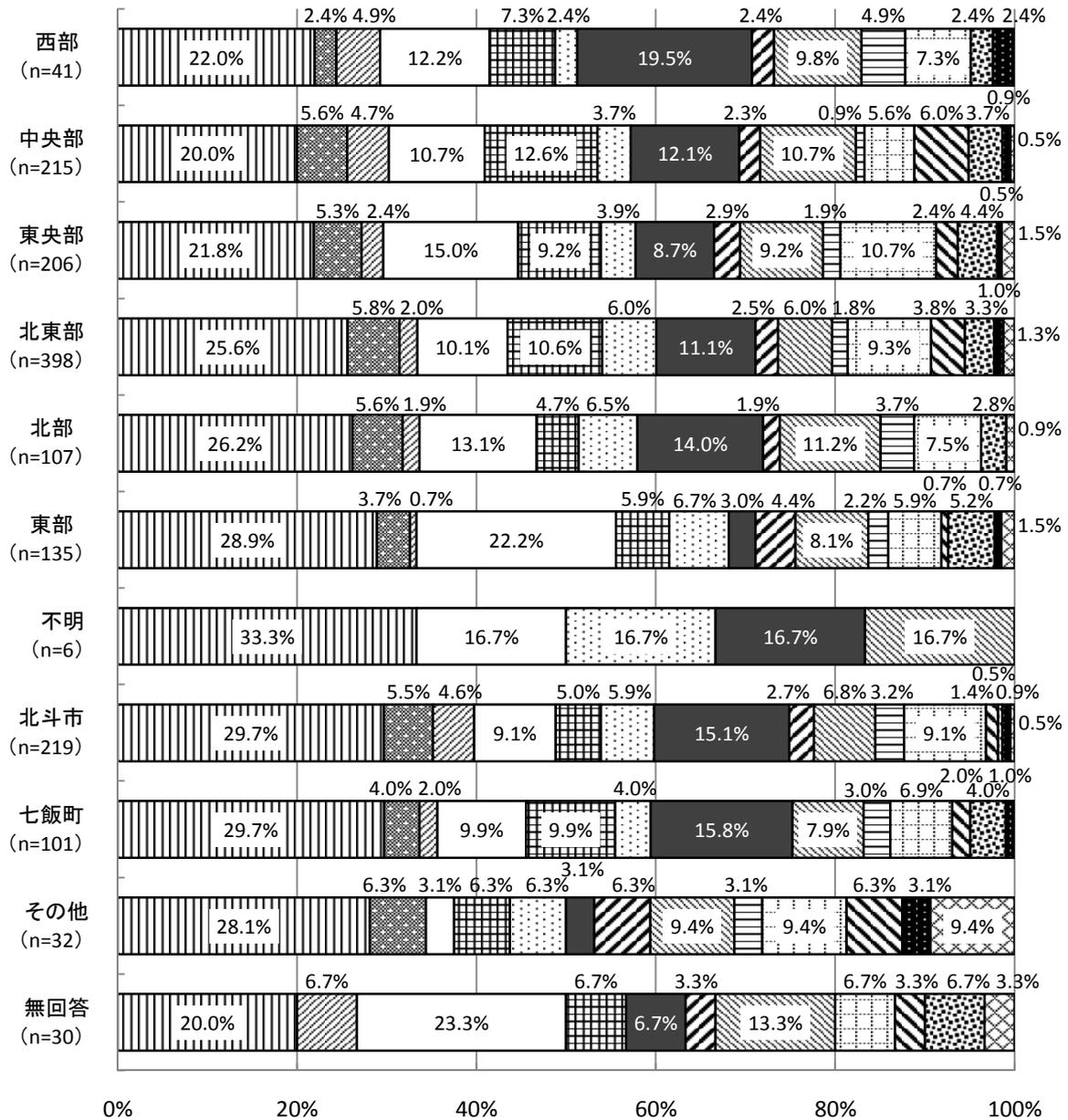
このことは、利便性の向上のほか、料金設定の要望があるものと考えられる。

居住地別で見ると、全てで「運行本数を増やす」が最も高くなっているが、中央部地区では、「冬場の定時性を確保する」が2番目に高くなっており、冬季における待ち時間の短縮に対する要望が強いものと考えられる。

※その他

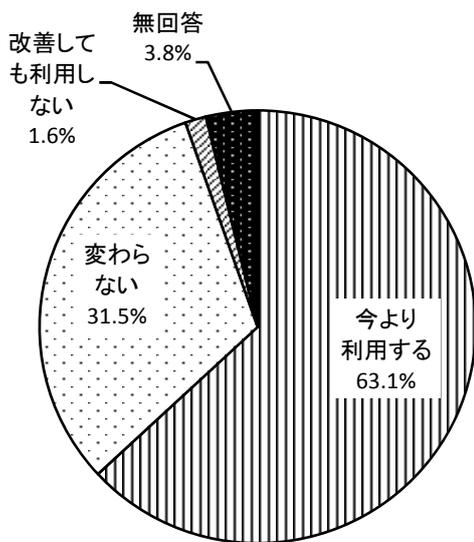
- ・時刻表をわかりやすくしてほしい
- ・もっと遠くまで行けるようにしてほしい
- ・美原方面に市電を延伸してほしい
- ・どれに乗ればいいのかわからないことが多い
- ・バスの車内を広くしてほしい
- ・朝の学生用バスをつくってほしい
- ・バスを学校や部活後の時間に合わせてほしい
- ・指定した時間に着くようにする
- ・運転手の接客態度を改善してほしい
- ・バスの番号をもっとわかりやすく、見やすい色に変えてほしい
- ・亀田支所の至赤川にもバスロケーションシステムを導入してほしい
- ・車内に音楽を流してほしい
- ・終点を原木でなく、恵山まで伸ばしてほしい

<居住地別>



- 運行本数を増やす
- 近くに停留所を設置する
- 移動時間を短くする
- 運賃を安くする
- 冬場の定時性を確保する
- 始発・終発時刻を延長する
- 車内混雑を少なくする
- 乗り換えを便利にする
- 停留所にベンチや屋根を設ける
- 乗り降りしやすい車両にする
- 運行情報(到着予測時刻, 運賃等)の発信を充実する
- わかりやすい路線にする
- いまのままで十分利用しやすい
- その他
- 無回答

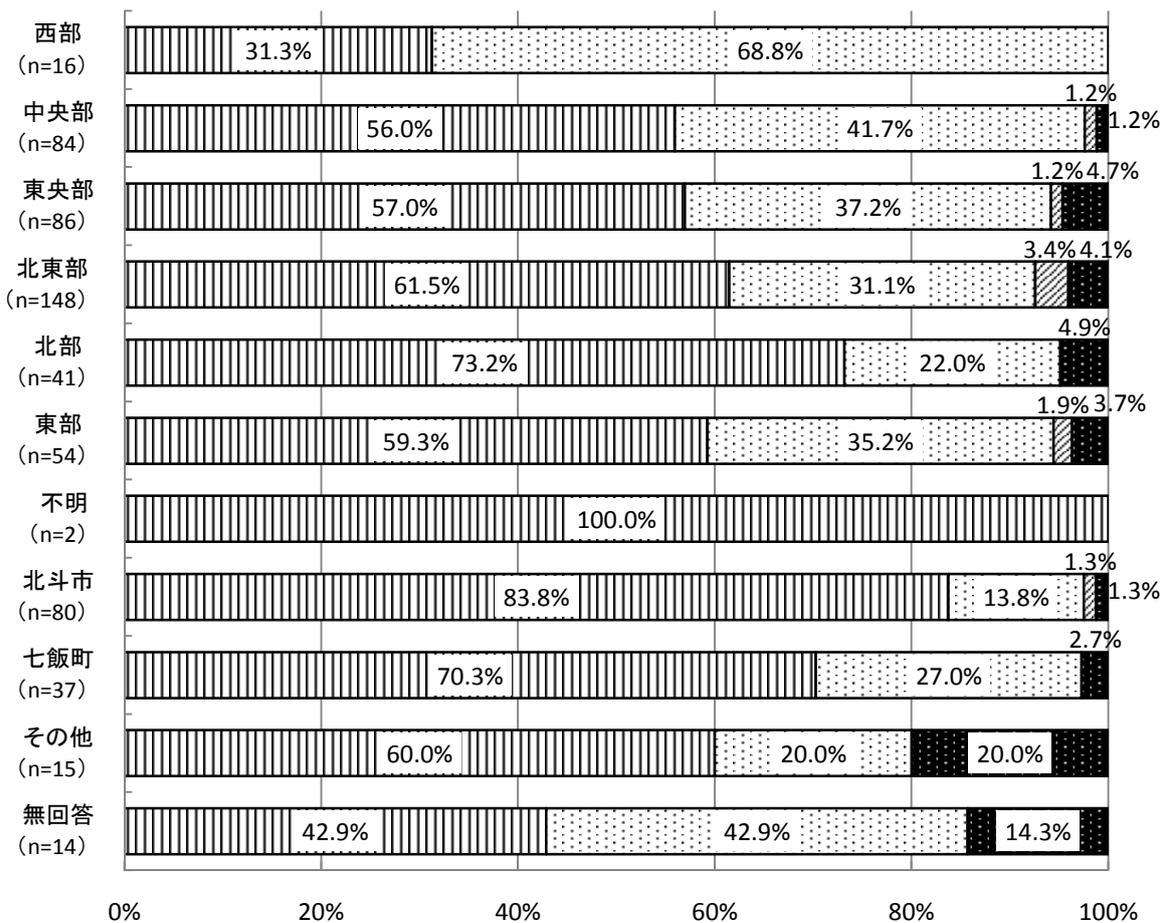
問3-3 前問で選択した点が改善されたら、今より路線バスや市電を利用しますか。(n=577)



「今より利用する」が63.1%と「変わらない」の31.5%、「改善しても利用しない」の1.6%を大きく上回っている。

居住地別をみると、西部地区で「変わらない」が68.8%となっているが、その他の地区では半数以上が「今より利用する」となっている。

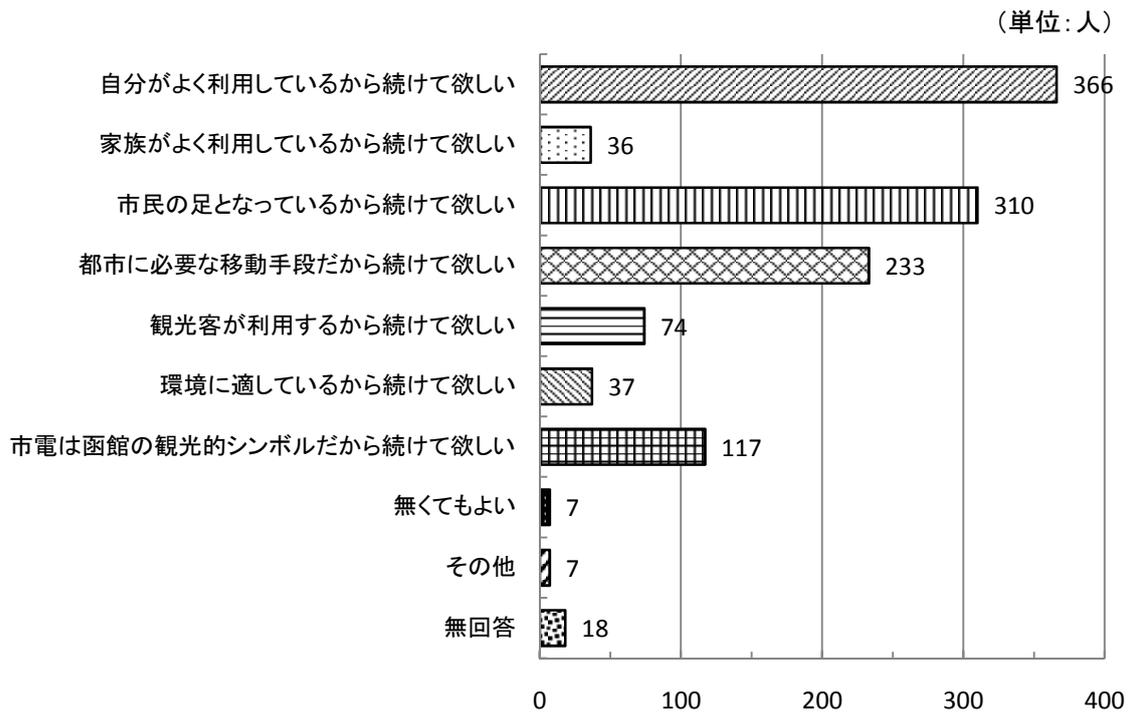
<居住地別>



■ 今より利用する □ 変わらない ▨ 改善しても利用しない ■ 無回答

問3-4

あなたは路線バスや市電の今後の運行についてどのように思いますか。  
(3つまで) (n=1,205)



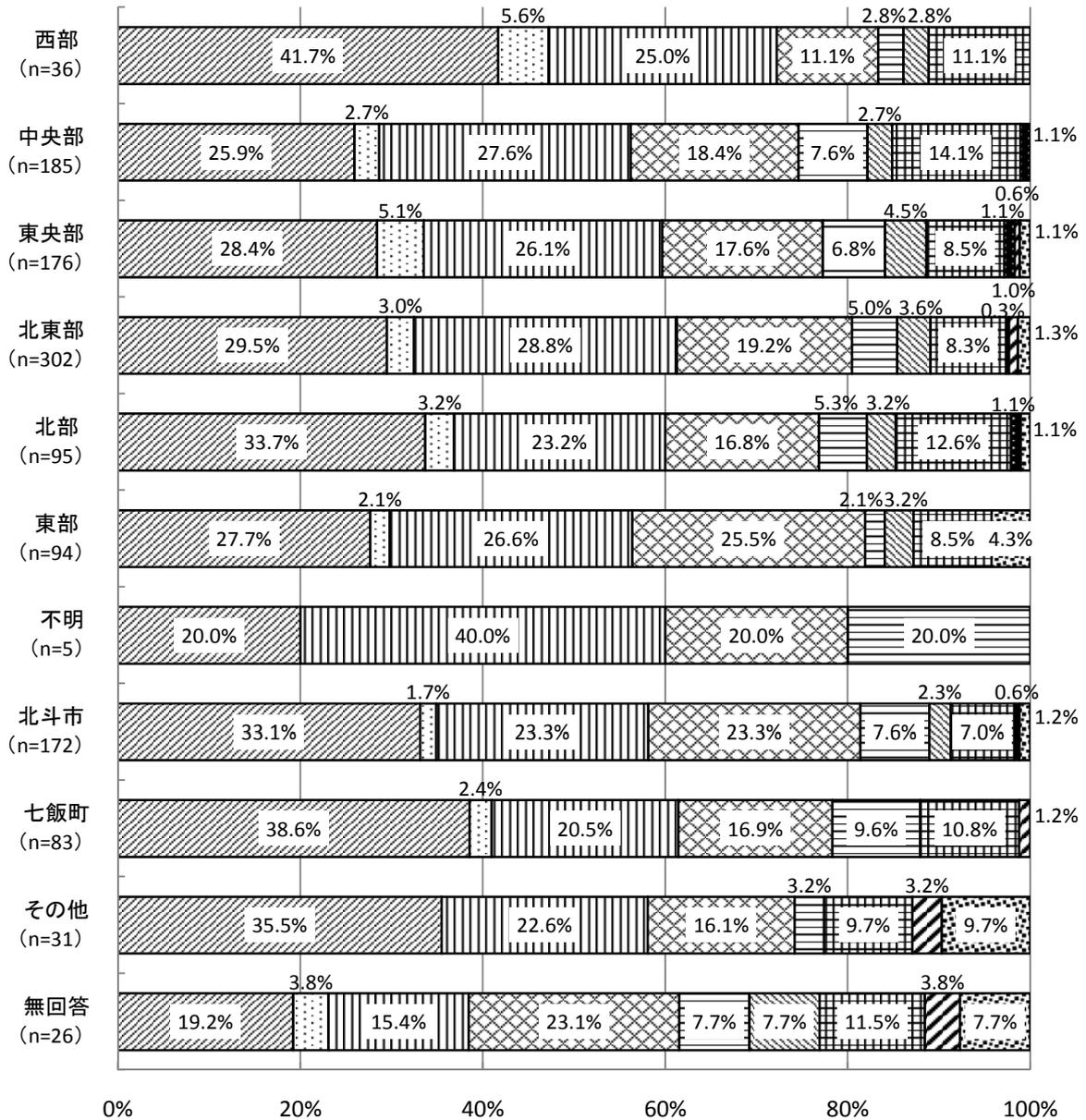
「自分がよく利用しているから続けてほしい」が最も多く、次いで「市民の足となっているから続けてほしい」, 「都市に必要な移動手段だから続けてほしい」の順となっており, 運行継続の希望が多くなっている。

また, 居住地別でも, ほぼ同様の傾向となっている。

※その他の内容

- ・運行本数を増やしてほしい
- ・市電で行ける所を増やしてほしい
- ・バスの路線がわかりづらい
- ・これ以上減ると困る
- ・特になんとも思わない
- ・どちらでもいい(2)

<居住地別>

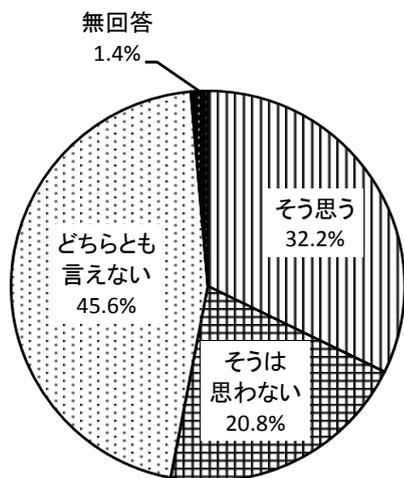


- ☑ 自分がよく利用しているから続けて欲しい
- ☐ 家族がよく利用しているから続けて欲しい
- ☐ 市民の足となっているから続けて欲しい
- ☑ 都市に必要な移動手段だから続けて欲しい
- ☐ 観光客が利用するから続けて欲しい
- ☑ 環境に適しているから続けて欲しい
- ☐ 市電は函館の観光的シンボルだから続けて欲しい
- 無くてよい
- ☑ その他
- ☐ 無回答

## 4 交通施策に対する意識

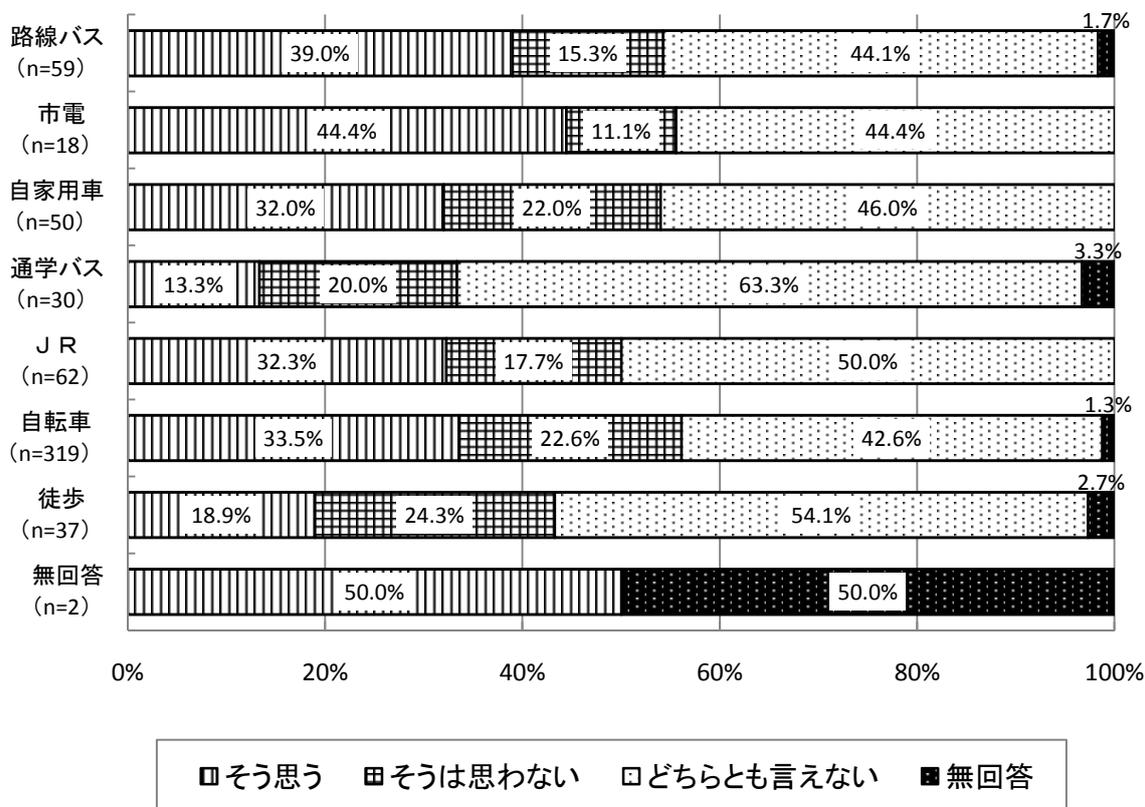
問4 交通問題等に対するお考えをお聞かせください。

問4-1 自動車による騒音や二酸化炭素の排出などの環境問題が生じているため、自家用車利用の自粛や公共交通への利用転換のための施策を積極的に進めるべきである。(n=577)



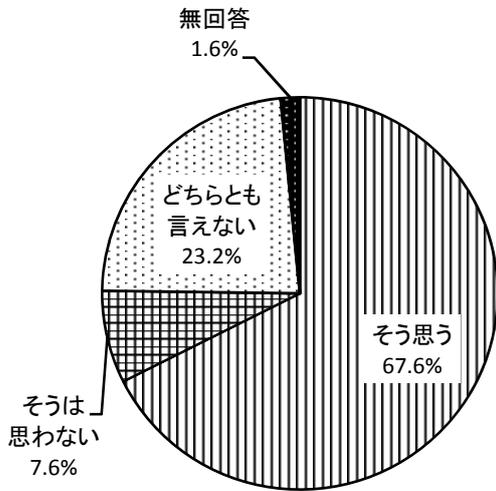
「そう思う」が32.2%となっており、「そうは思わない」の20.8%と比べて高くなっている。移動手段別でみると、路線バス、市電では、「そう思う」がそれぞれ39.0%、44.4%と他の移動手段よりも高くなっている。

### <夏季の移動手段別>



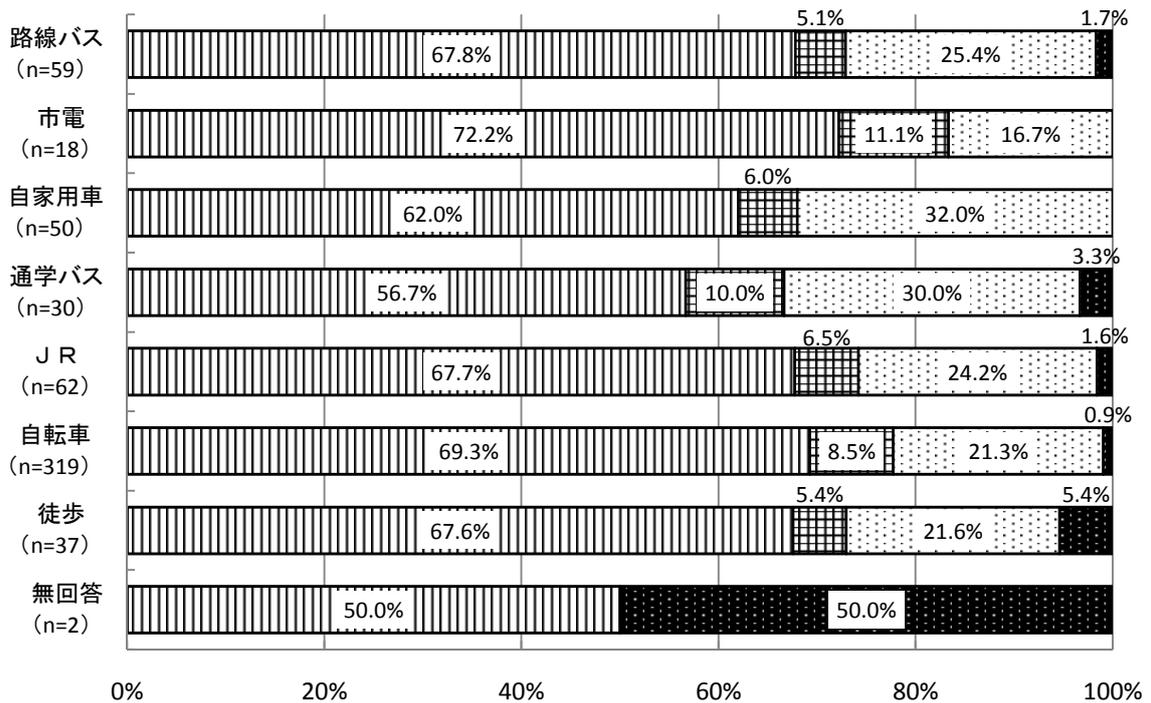
問4-2

今後、さらなる高齢化の進展により公共交通の重要性が高まると考えられることから、公共交通を将来にわたって維持するため、利便性向上のための基盤整備や利用促進の施策に対し、必要な予算措置を行い、それら施策を積極的に進めるべきである。(n=577)



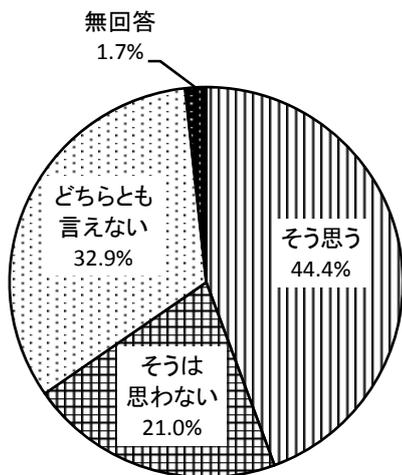
「そう思う」が67.6%と高くなっており、「そうは思わない」は7.6%と低くなっている。また、移動手段別でも、同様の傾向となっている。

<夏季の移動手段別>



□ そう思う   ■ そうは思わない   □ どちらとも言えない   ■ 無回答

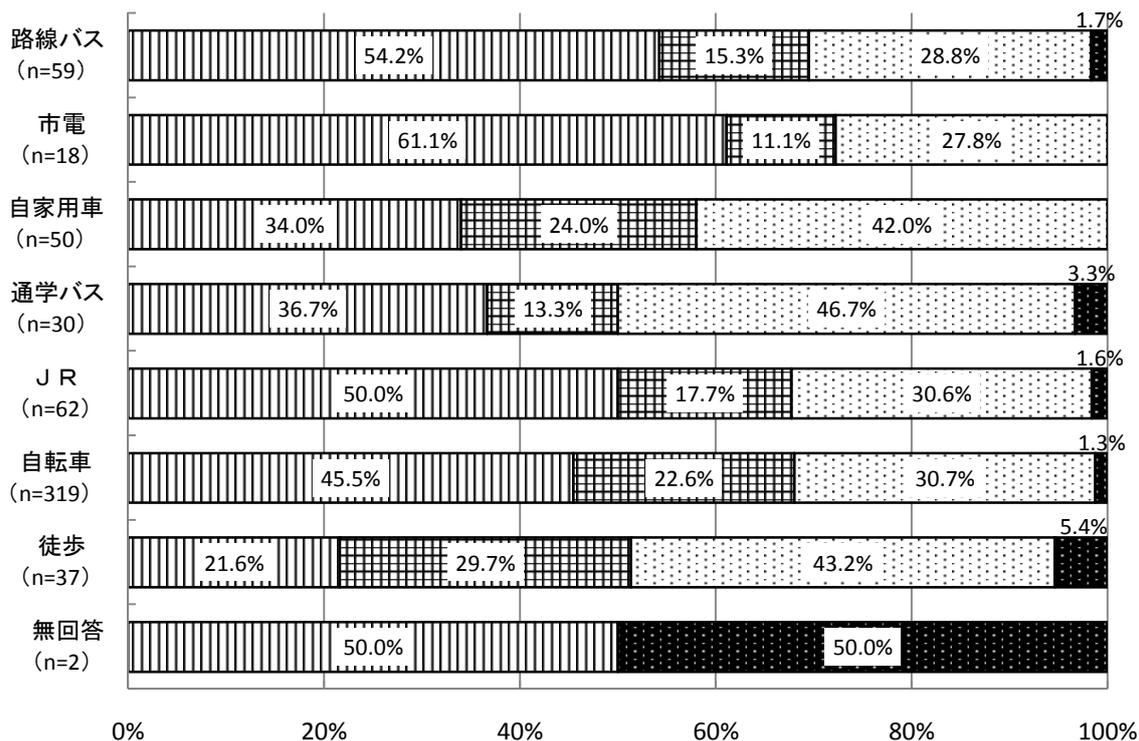
**問4-3** 公共交通の利便性を向上させるため、自家用車利用の自粛やバス専用レーン設置など、自家用車利用の制約のための施策を積極的に進めるべきである。(n=577)



「そう思う」が44.4%となっており、「そうは思わない」の21.0%を上回っている。

移動手段別でみると、路線バスと市電では、「そう思う」がそれぞれ54.2%、61.1%と他の移動手段よりも高くなっている。

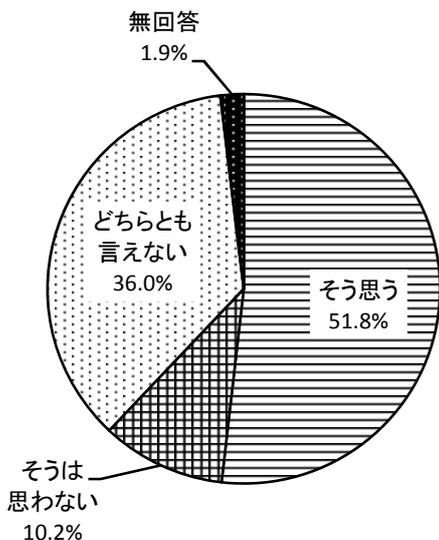
<夏季の移動手段別>



■「そう思う」 ■「そうは思わない」 □「どちらとも言えない」 ■「無回答」

問4-4

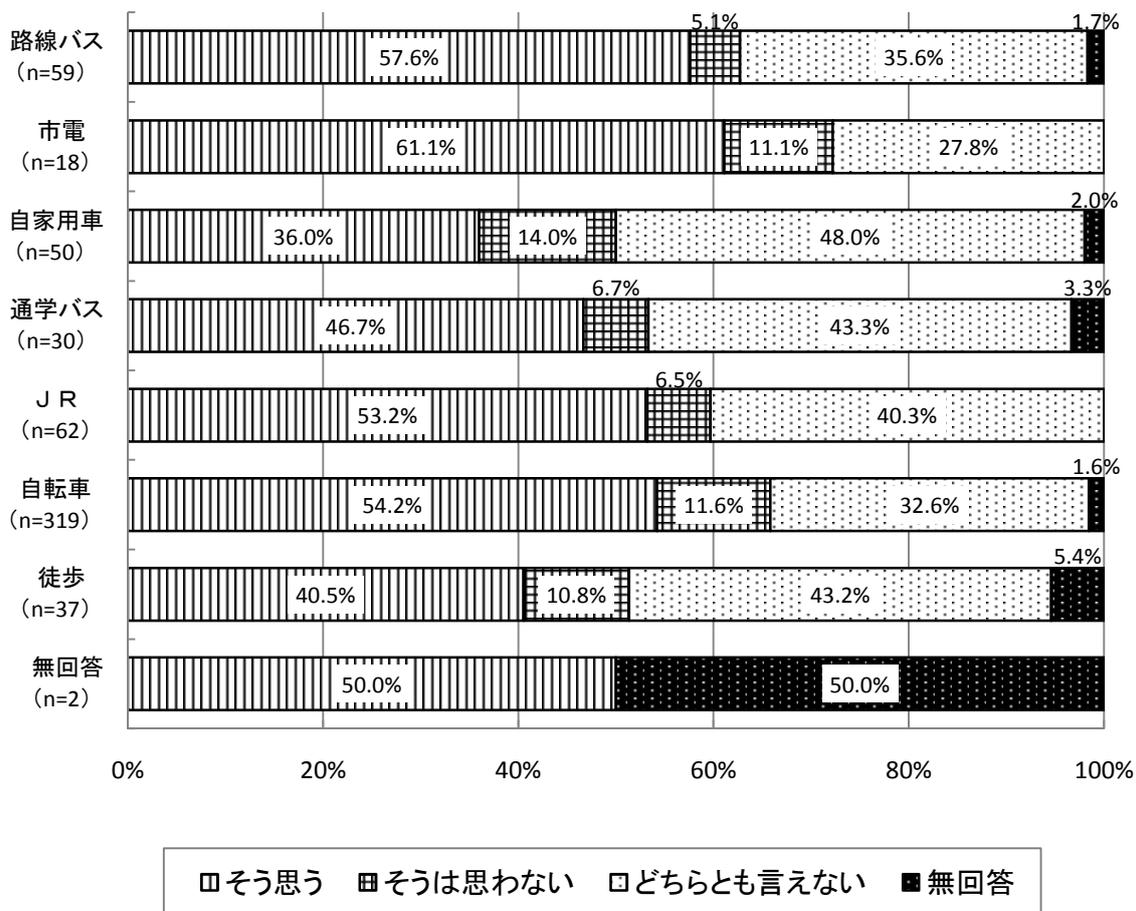
公共交通の利便性や運行効率の向上のためには、駅前や五稜郭などの拠点に、路線バスや市電などの公共交通機関が乗り入れる交通ターミナルなどの整備が必要である。(n=577)



「そう思う」が51.8%となっており、「そうは思わない」の10.2%を大きく上回っている。

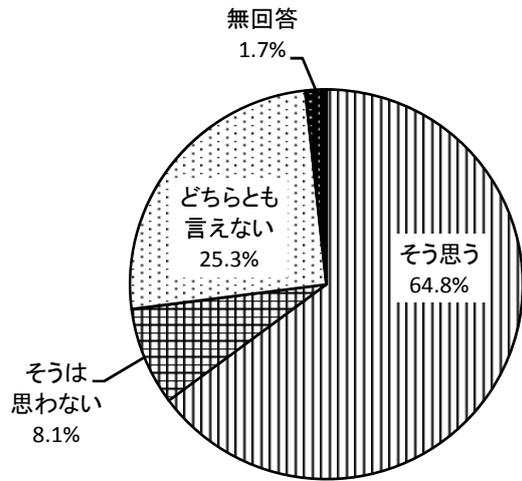
また、移動手段別でも、同様の傾向となっており、特に路線バスと市電では「そう思う」がさらに高くなっている。

<夏季の移動手段別>



問4-5

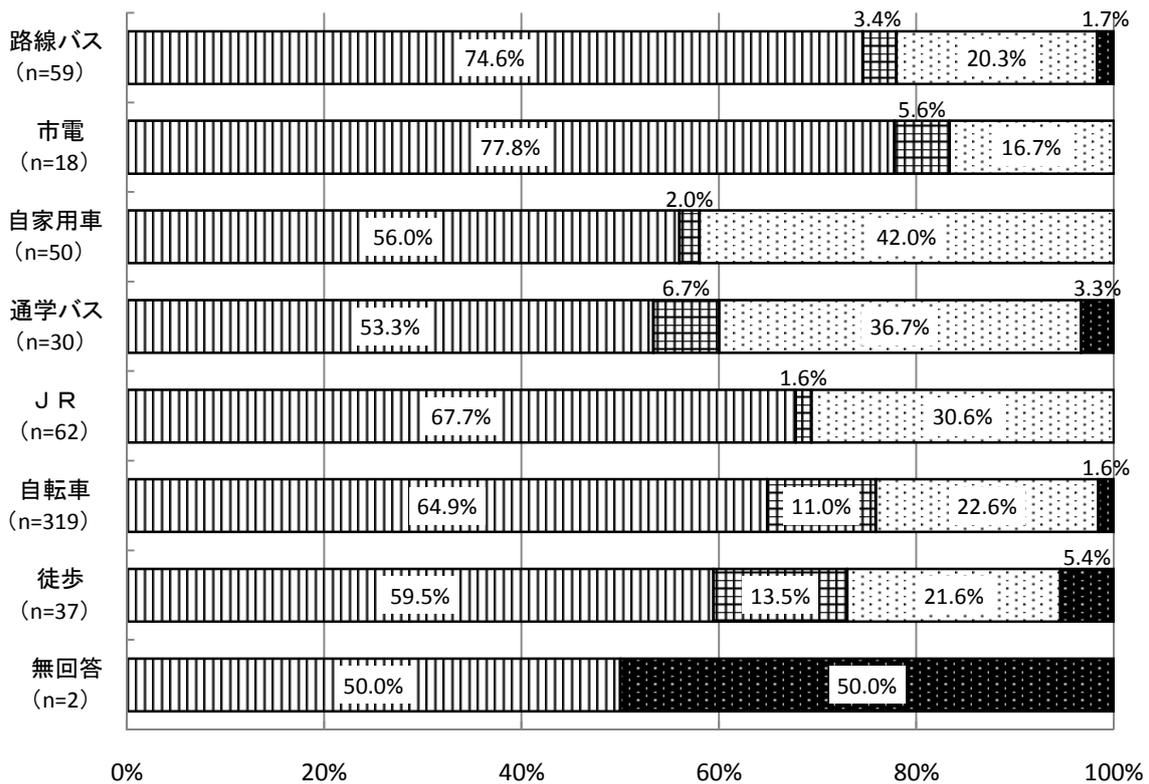
乗り換え環境（快適な待合施設の整備，乗り換えに連動した接続便の設定，乗り換え割引の充実など）が整っていれば，公共交通の乗り換えに対する抵抗感はない。（n=577）



「そう思う」が64.8%となっており、「そうは思わない」の8.1%を大きく上回っている。

また，移動手段別でも，同様の傾向となっており，特に路線バスと市電では「そう思う」がさらに高くなっている。

<夏季の移動手段別>



□そう思う    ▨そうは思わない    ▤どちらとも言えない    ■無回答



## 5 公共交通に関する意見(自由記載) (n=127)

### ○ダイヤに関すること

- ・一日のバスの本数を増やすことで利用客が増え、より便利になると思います。
- ・市内以外のバスやJRの本数をもっと増やしてほしい。
- ・バスを遅くまで走らせて欲しい。
- ・北斗市から函館市行きのバスをもっと増やしてほしい。
- ・バスの時間が不便。利用者の意見を取り入れて運行すべき。

### ○路線に関すること

- ・路線が複雑で分かりにくい。混む車両がだいたい決まっているので大人数でも大丈夫な車両にして欲しい。

### ○市電の延伸に関すること

- ・北斗市まで市電を繋げてほしいです!
- ・パポッツ方面への市電があればいいと思う。学生が良く行く所なので、もしあればすごく便利になると思う。
- ・美原の方にも市電を走らせて欲しいと本当に思っています。函館全域に市電を走らせたなら今よりもっと便利な生活になると思います。

### ○運賃に関すること

- ・運賃100円位にして欲しい。無料の方がもっと良い。
- ・戸井、恵山方面だけバス代が高い。

### ○定時性に関すること

- ・冬場での待ち時間が長いので早くしてほしい。
- ・雨や雪になると来る時間がおそくなるのは解るが、改善してほしい。

### ○利用環境に関すること

- ・冬の電車停留所の除雪を徹底して欲しい。
- ・雨や雪が降っている時に屋根がついていないと困るので、全てのバス停に屋根を付けて欲しい。

### ○車両に関すること

- ・バスや電車をノンステップバスや低床電車にしてほしい。高齢者が大変そう。
- ・バスの座席を増やしてほしい
- ・バスの行き先を系統表示するのではなく、細かい行き先を表示してほしい。
- ・バスの中が混雑している時は、暖房の温度を下げてください。

### ○乗り換えに関すること

- ・JRと市電、バスで協力して、便利なダイヤを作ってください。
- ・乗換の制度であいまいなことが多いと思うので見直してください。
- ・乗り換えの方法が解りづらいです。

### ○情報提供に関すること

- ・お年寄りの人が、冬場にバスが定時に来ずに、寒い中待っているのをよく見るので、到着時刻が解るバス停を増やし、屋根を設置してほしい。
- ・バスが遅れている状況を知る時に携帯やインターネットを用いなければ、知ることができないので、もっと容易に知る方法が欲しい。
- ・バスの接近情報が間違っていて、乗れなかったことがある。

### ○サービスに関すること

- ・運転手の対応がとても良い。親切で優しい。
- ・バスの運転が荒かったり、運転手の機嫌が悪かったりする時があるので、改善した方がいいと思います。仕事なのだから、きちんと切り替えてほしいです。大人なので、大人らしい行動をとって下さい。

### ○走行環境・道路整備に関すること

- ・バスだけの道路を作ったら、車の混雑などが防げることができると思う。
- ・バス停の位置を安全な所にしてほしい。
- ・停留所にバスを止めるスペースを作ってほしい。（交通渋滞の原因となっている）

### ○アイデア

- ・市電は、座席の全てを「優先座席」にした方がいいと思います。そうすれば、老人を優先するという意識が高まり、老人の体にとってもいいと思います。
- ・お金を先に支払う制度にすれば、降りる際スムーズに行くと思う。

### ○存続・廃止に関すること

- ・高齢化が進む中、お年寄りにとってバスなどの公共交通機関は欠かせないものである。函館の経済の発展にも繋がるので、様々な所を通るようにする。本数を増やすなどといったことは是非行って欲しい。
- ・路面電車は函館市のシンボリック的存在だと思うので路面電車は廃止しないで欲しい。

### ○その他

- ・冬のバス混雑をなんとかして欲しい。遅れるのはやむを得ないが、乗れないこともあるので、なんとかして欲しい。
- ・市電の外装の宣伝は、少し風情に欠ける。
- ・友達が他の客にチカンのようなことをされたので、私服警官のような方に乗ってもらい守ってほしい。
- ・高校生や小学生のマナーが悪い。運転手はもっと注意してもいいと思う。

## 通学に関するアンケート(高校生)

### アンケート調査へのご協力をお願い

路線バスや市電などの公共交通は市民の日常生活を支える重要な役割を担っていますが、利用者数は年々減少しており、運行本数の減少や路線の廃止など様々な問題を抱えております。

一方で、今後もさらなる人口減少や高齢化が進むと予想され、公共交通の重要性はさらに高まると考えられます。

そのような中、市では、公共交通をより便利で使いやすいものにし、多くの皆さまに利用していただくため、今後の公共交通のあり方を検討することとしております。

今回のアンケート調査は、函館市の公共交通の将来を考えるうえでの参考とするため、市内の高校に通学する生徒の皆さまの通学状況や、公共交通に対する要望・意見を調査するものですので、ご協力をお願いいたします。

平成25年2月

### 記入方法について

◆ 回答方法は、該当する番号に○を付けるか、具体的な内容を（ ）内に記入して、ご回答ください。質問ごとに「1つ」「3つまで」など、選び方が指定されていますので、ご注意ください。

※ ご記入いただいた内容は、本調査の分析以外の目的には一切使用いたしません。また、回答した個人が特定されることはございません。

### 問い合わせ先

函館市企画部計画推進室政策推進課 担当：長谷山、中釜  
電話 21-3625 / E-mail seisaku@city.hakodate.hokkaido.jp

### 問1 あなた自身のことについて教えてください。

問1-1 あなたが通う高校はどちらですか。 ( ) 高校

問1-2 あなたは何学年ですか。 ① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生

問1-3 あなたの性別はどちらですか。 ① 男子 ② 女子

問1-4 あなたは部活動に参加していますか。 ① 参加している ② 参加していない

問1-5 あなたのお住まいはどちらですか。

- ① 函館市( )町 ( )丁目  
② 北斗市 ③ 七飯町 ④ その他( )町

**問2 通学の状況についてお聞かせください。**

**夏季**における通学状況についてお答えください。

問2-1 通学時にもっともよく利用する移動手段は何ですか。1つ選んでください。

- ① 路線バス    ② 市電    ③ 自家用車    ④ 通学バス  
⑤ JR    ⑥ 自転車    ⑦ 徒歩    ⑧ その他(                      )

<『**路線バス**』か『**市電**』を選んだ方にお聞きます。>

運賃の支払い方法は何ですか。

- ① 定期券    ② プリペイドカード    ③ 回数券    ④ 現金

問2-2 家を出てから学校に着くまでの時間はどのくらいですか。

- ① 10分未満    ② 10～19分    ③ 20～29分    ④ 30～39分  
⑤ 40～49分    ⑥ 50分～59分    ⑦ 60分以上

問2-3 普段の平均的な出発時刻と帰宅時刻を教えてください。

出発(家を出る)	午前 (            )時(            )分頃
帰宅(家に着く)	午後 (            )時(            )分頃

**冬季(積雪時)**における通学状況についてお答えください。

問2-1 通学時にもっともよく利用する移動手段は何ですか。1つ選んでください。

- ① 路線バス    ② 市電    ③ 自家用車    ④ 通学バス  
⑤ JR    ⑥ 自転車    ⑦ 徒歩    ⑧ その他(                      )

<『**路線バス**』か『**市電**』を選んだ方にお聞きます。>

運賃の支払い方法は何ですか。

- ① 定期券    ② プリペイドカード    ③ 回数券    ④ 現金

問2-2 家を出てから学校に着くまでの時間はどのくらいですか。

- ① 10分未満    ② 10～19分    ③ 20～29分    ④ 30～39分  
⑤ 40～49分    ⑥ 50分～59分    ⑦ 60分以上

問2-3 普段の平均的な出発時刻と帰宅時刻を教えてください。

出発(家を出る)	午前 (            )時(            )分頃
帰宅(家に着く)	午後 (            )時(            )分頃



**問4 交通問題等に対するお考えをお聞かせください。**

問4-1 地球環境の保全のため、自家用車の利用をバスや市電などの公共交通へと転換させていく取り組みを積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-2 高齢化が進み、今後ますます公共交通の重要性が高まると考えられることから、公共交通を将来にわたって維持していくため、公共交通をより便利で利用しやすいものにして、利用者を増加させる取り組みを積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-3 公共交通をより便利で利用しやすくするため、バス専用の車線や信号を設置するなど、公共交通を優先する取り組みを積極的に進めるべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-4 公共交通をわかりやすくムダのないものにするため、五稜郭や美原などの拠点に、路線バスや市電などの公共交通が乗り入れる交通ターミナルを整備すべきである。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

問4-5 停留所にベンチや屋根を設置したり、乗り換えの待ち時間を減らしたり、乗り換え割引が充実していれば、乗り換えに対する抵抗感はない。

- ① そう思う                      ② そうは思わない                      ③ どちらとも言えない

**問5 公共交通に関するご意見をお聞かせください。**

函館市の公共交通に関するご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

～いただきましたご意見などに対し、個別の回答は致しませんのでご了承ください。～

～これでアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。～

